

福井鉄道福武線地域公共交通総合連携計画

平成21年2月

福 井 市

鯖 江 市

越 前 市

目 次

1. 背景と経過	1
2. 福武線の現状と課題	3
2-1 福武線沿線地域の概況	3
2-2 福武線の現状	19
2-3 沿線ニーズの把握	30
2-4 課題の整理	31
2-5 課題に基づく施策提案	38
3. 福井鉄道福武線の再建について	59
3-1 再建方向について	59
3-2 再建手法（重要な資産の譲渡による事業構造の変更）	60
4. 課題解決のための具体的施策について	61
4-1 基本方針	61
4-2 計画の区域	63
4-3 計画の目標	63
4-4 目標を達成するために行う事業及びその実施主体等	63
4-5 計画期間	66
(参考資料)	
I 沿線地域住民アンケート結果	1
II 沿線地域事業所（従業員）アンケート結果	15
III 沿線地域事業所（企業担当者）アンケート結果（沿線市計）	21
IV サポート団体からの提案	28

1. 背景と経過

福井鉄道福武線は、昭和8年の運行開始以来、通勤、通学、通院、買い物など沿線住民の生活を支える交通手段として、また、沿線都市である福井市、鯖江市、越前市の中心地におけるシンボリックな役割を果たしている。

近年、モータリゼーションの進展や少子化などの影響により、利用者数は年々減少し、平成19年度は全体で約161万人と、平成元年度292万人のおよそ4割減となっている。

この間、福井鉄道においては、サービスの改善など経営改善への様々な手段を講じてきたが、平成19年9月、事業者単独での再建は困難と判断し、福井県及び沿線市に対して行政支援を求める旨の要請を行った。それを受け、福井県による官民協議の場「福井鉄道福武線協議会」が設けられたが、利用者や地域住民からは「福武線存続問題」として大きな注目を集めることとなった。

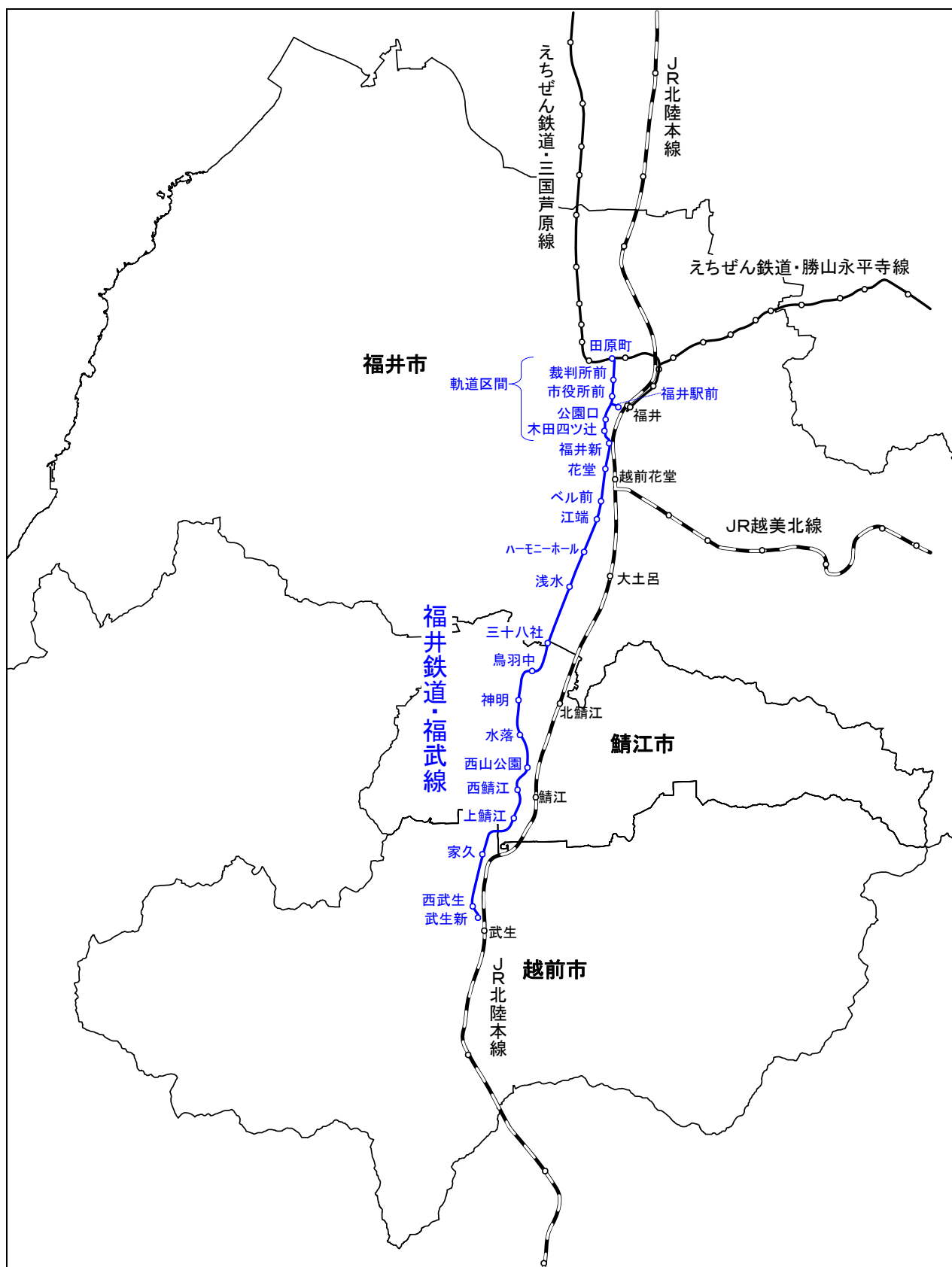
このような中、沿線市の住民の間では福武線存続への熱意が高まり、住民による福武線のサポート団体が結成された。福武線の存続を訴えるかたちとして、12万人近くもの署名が集まった。

一方、福井鉄道福武線協議会の場で再建方向が示され、一定の前進をみたものの、福井鉄道の経営は依然として厳しい状況にある。もし福武線が止まると、普段鉄道を利用している多くの人々に制約が与えられることとなる。特に、交通弱者と言われる学生やお年寄り、身体の不自由な人たちなど、交通代替手段に乏しい人たちには並々ならぬ不利益がもたらされることとなる。また、利用者の家族には、送迎といった肉体的負担や、自転車・自動車利用による事故の心配といった精神的な負担、加えて原油高によるガソリンなどの自動車燃料費が家計を圧迫するという事態が発生することも懸念される。そればかりか、移動手段が自動車に転換すれば、大規模な交通渋滞の発生と、交通事故の増加、CO₂排出量増加に伴う環境悪化など、今まで福武線を利用していない人々にまで重大な影響が及ぶことになるなど、その社会に及ぼす負荷は計り知ることができない。

鉄道は一旦廃線されるとその復活は困難である。福武線を残していくためには、全ての住民が、福武線は地域の貴重な財産であり、まちづくりに必要不可欠なものであることを認識し、一人でも多くの住民が積極的に福武線を活用していくことが重要であり、福武線の活性化と再生に向け、福井鉄道、行政、住民が力を結集し、地域全体で支えていく仕組みが必要である。

福井鉄道福武線は、福井市（田原町駅・福井駅前停留場）と越前市（武生新駅）を結ぶ営業キロ21.4kmの単線（一部複線）鉄道で、鉄道区間（18.1km）と軌道区間（3.3km）との直通運転を行っている。

図 対象地域



2. 福武線の現状と課題

2-1 福武線沿線地域の概況

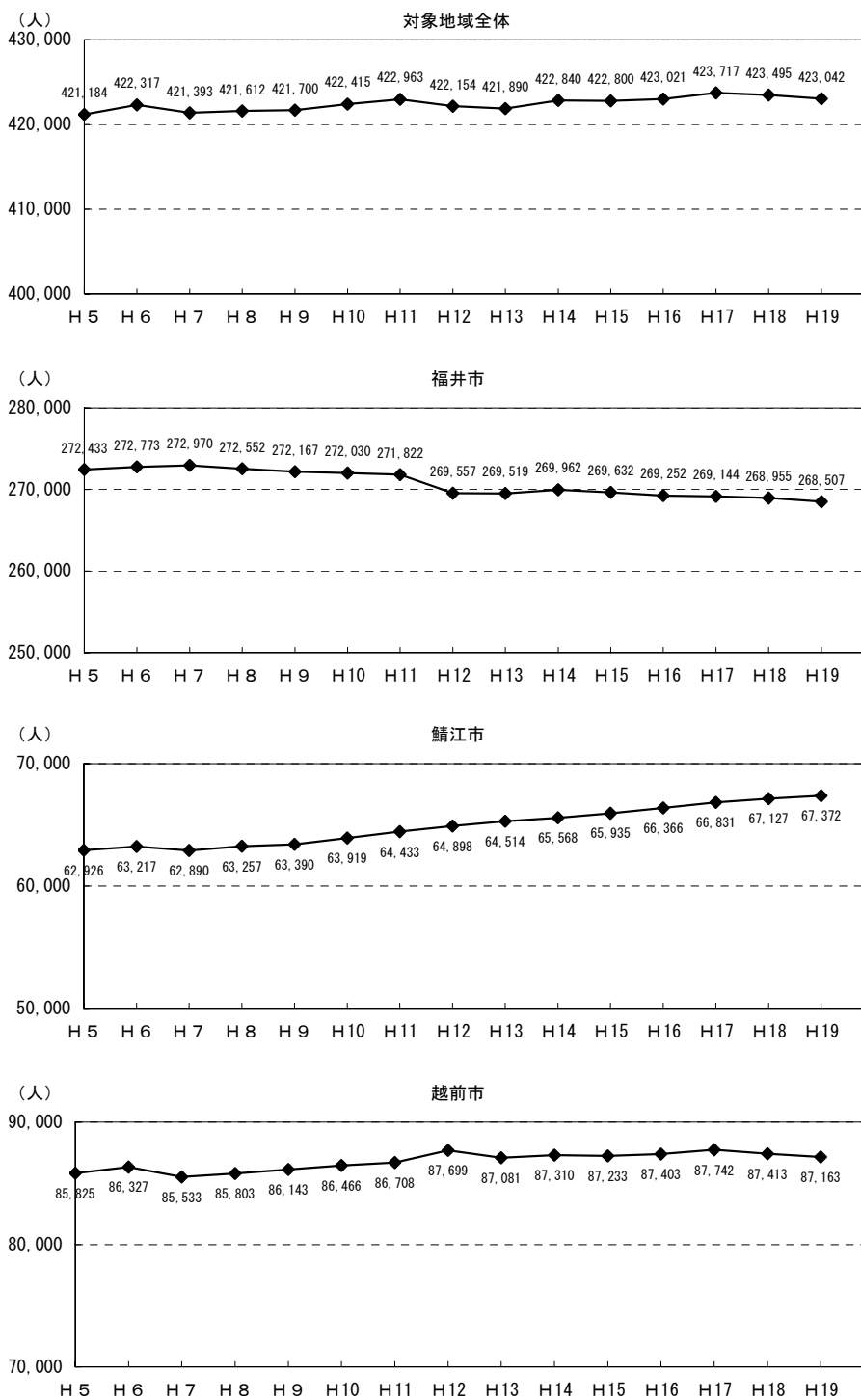
2-1-1 地域概況

(1) 人口

① 総人口

○沿線市の人口推移は、福井市はやや減少傾向、鯖江市は増加傾向、越前市は横ばいであり、地域全体の人口は概ね横ばいに推移している。

図 人口の推移

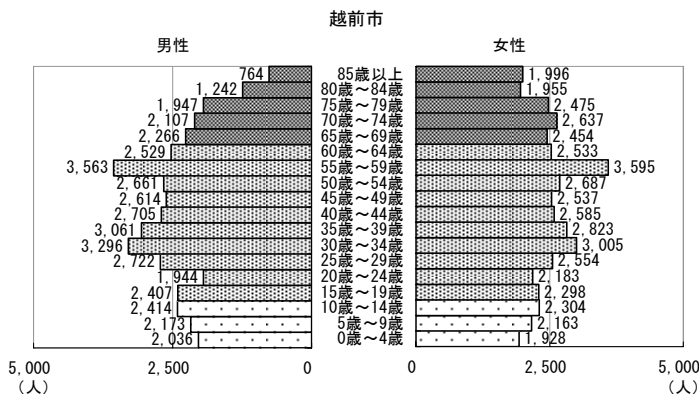
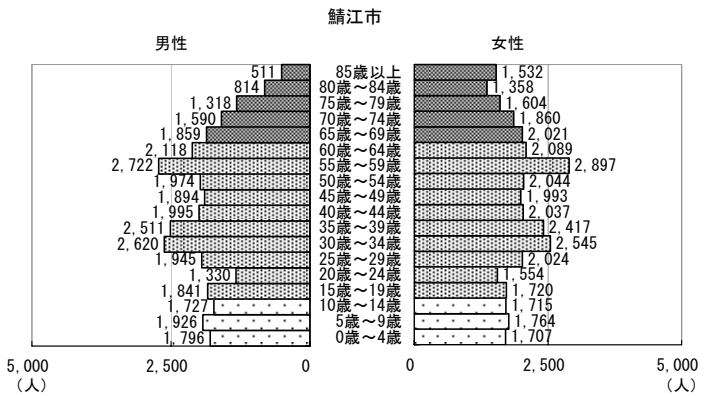
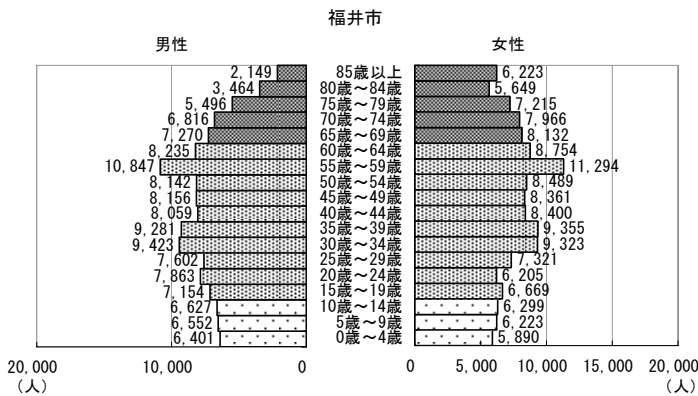
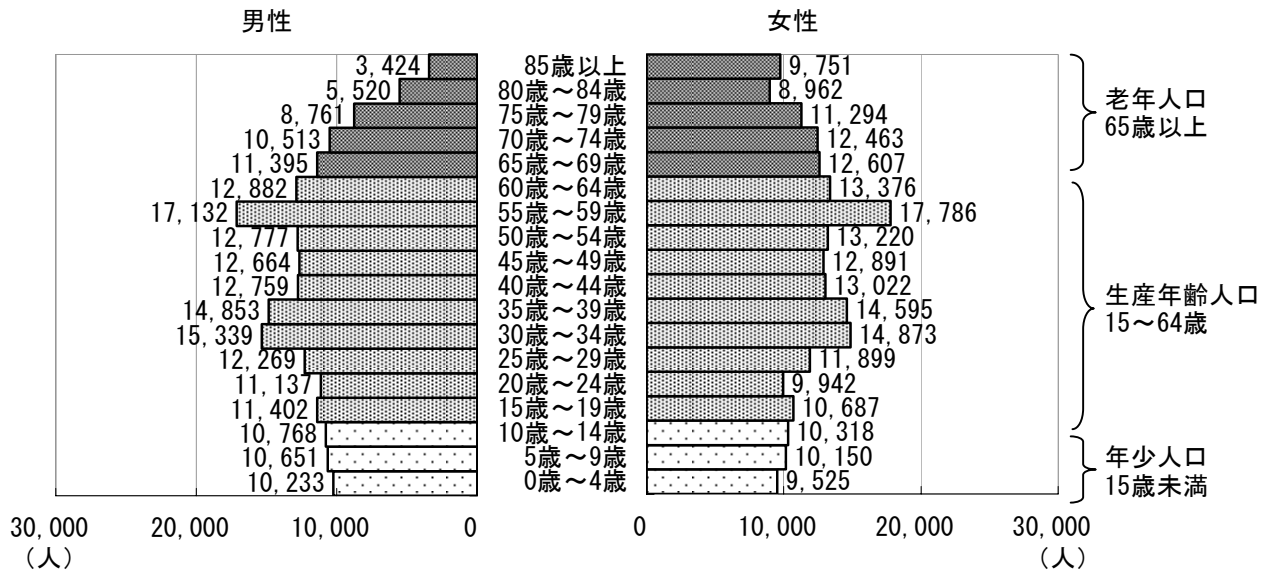


資料：福井県の推計人口 ※福井市、越前市はH19.10.1現在の市域での人口推移

② 年齢構成

○対象地域全体では、「55～59歳」とその子供の世代である「30～34歳」「35～39歳」の人口が多く、年少人口は減少傾向にある。65歳以上の割合は地域全体で22%である。

図 人口ピラミッド（対象地域計、H19.10.1現在）



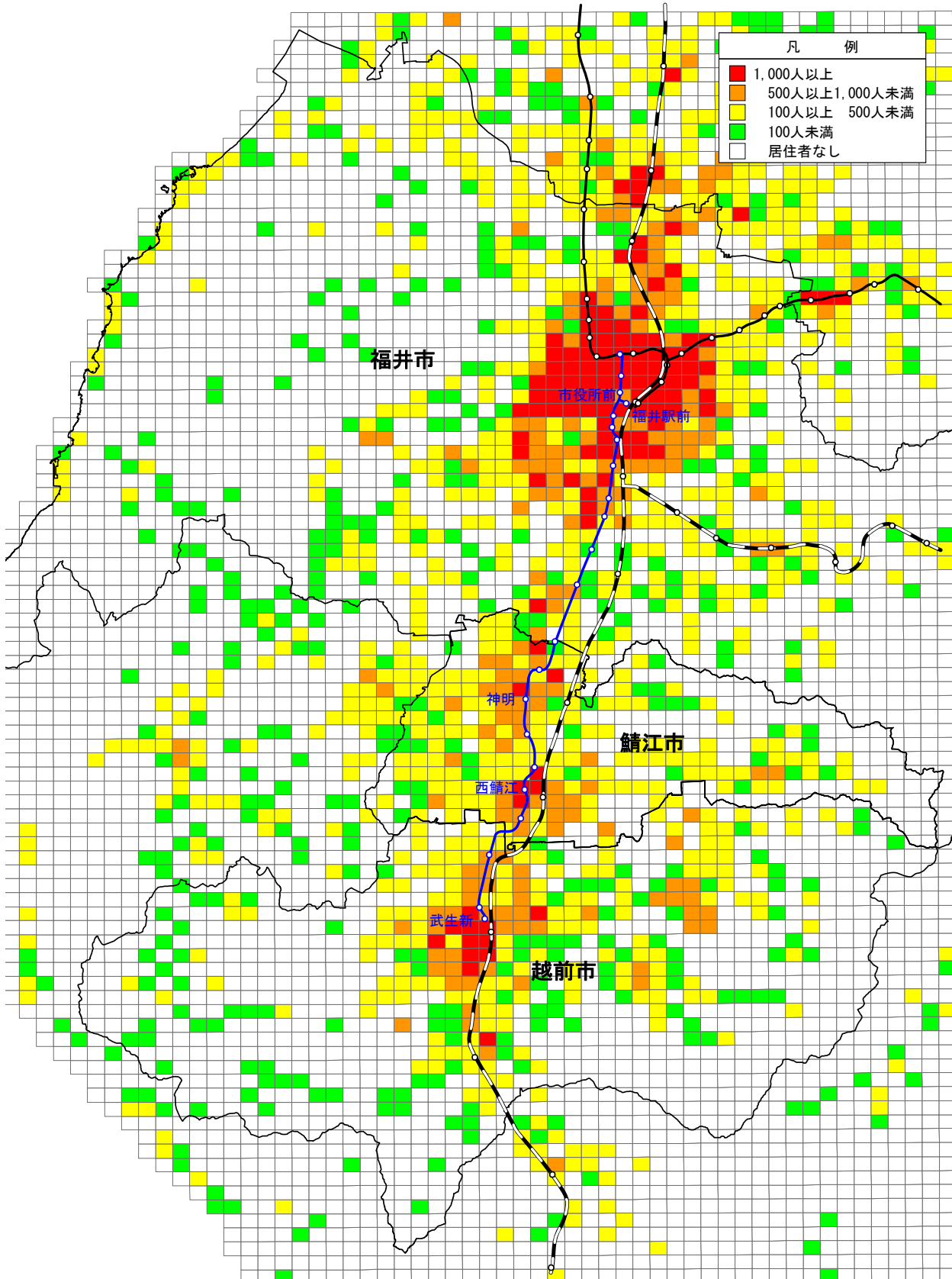
		平成19年			
		15歳未満	15～64歳	65歳以上	合計
人口	対象地域	61,645	265,505	94,690	423,042
	福井市	37,992	168,933	60,380	268,507
	鯖江市	10,635	42,270	14,467	67,372
	越前市	13,018	54,302	19,843	87,163
構成比	対象地域	14.6%	62.9%	22.4%	100.3%
	福井市	14.2%	63.2%	22.6%	100.4%
	鯖江市	15.8%	62.7%	21.5%	100.0%
	越前市	14.9%	62.3%	22.8%	100.0%

資料：福井県の推計人口（平成19年10月1日現在）

③ 人口分布

○福井市ではJ R福井駅を中心に半径約5 km内に人口が集中している。鯖江市では、神明駅や西鯖江駅・J R鯖江駅、越前市では武生新・J R武生駅を中心に半径2～3 km内に人口が集中している。

図 夜間人口の分布（平成12年・500mメッシュ）

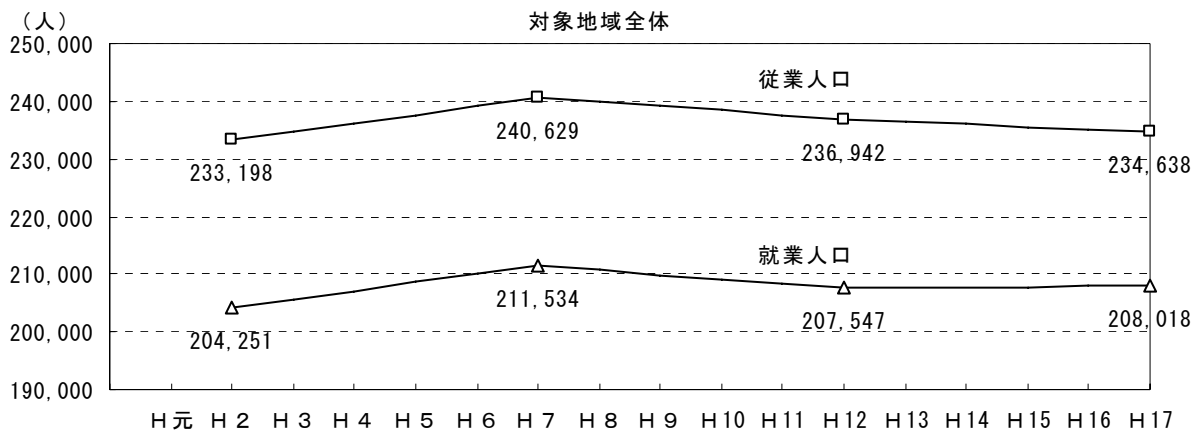


資料：平成12年国勢調査

④ 就業人口・従業員

○対象地域内に居住している就業人口および勤務先が対象地域内である従業員は平成7年以降減少している。

図 就業人口・従業員の推移



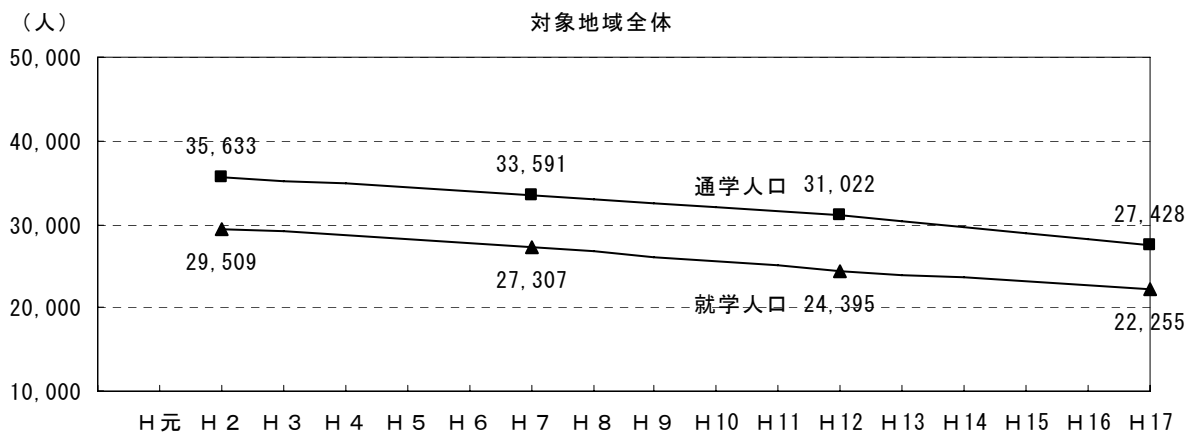
資料：国勢調査

※平成2年～平成12年には旧今立町は含まない。(平成12年の就業人口7,325人、従業員5,133人)

⑤ 就学人口・通学人口

○対象地域内に居住している就学人口(15歳以上)および通学先が対象地域内である通学人口(15歳以上)は平成2年以降減少している。

図 就学人口・通学人口の推移



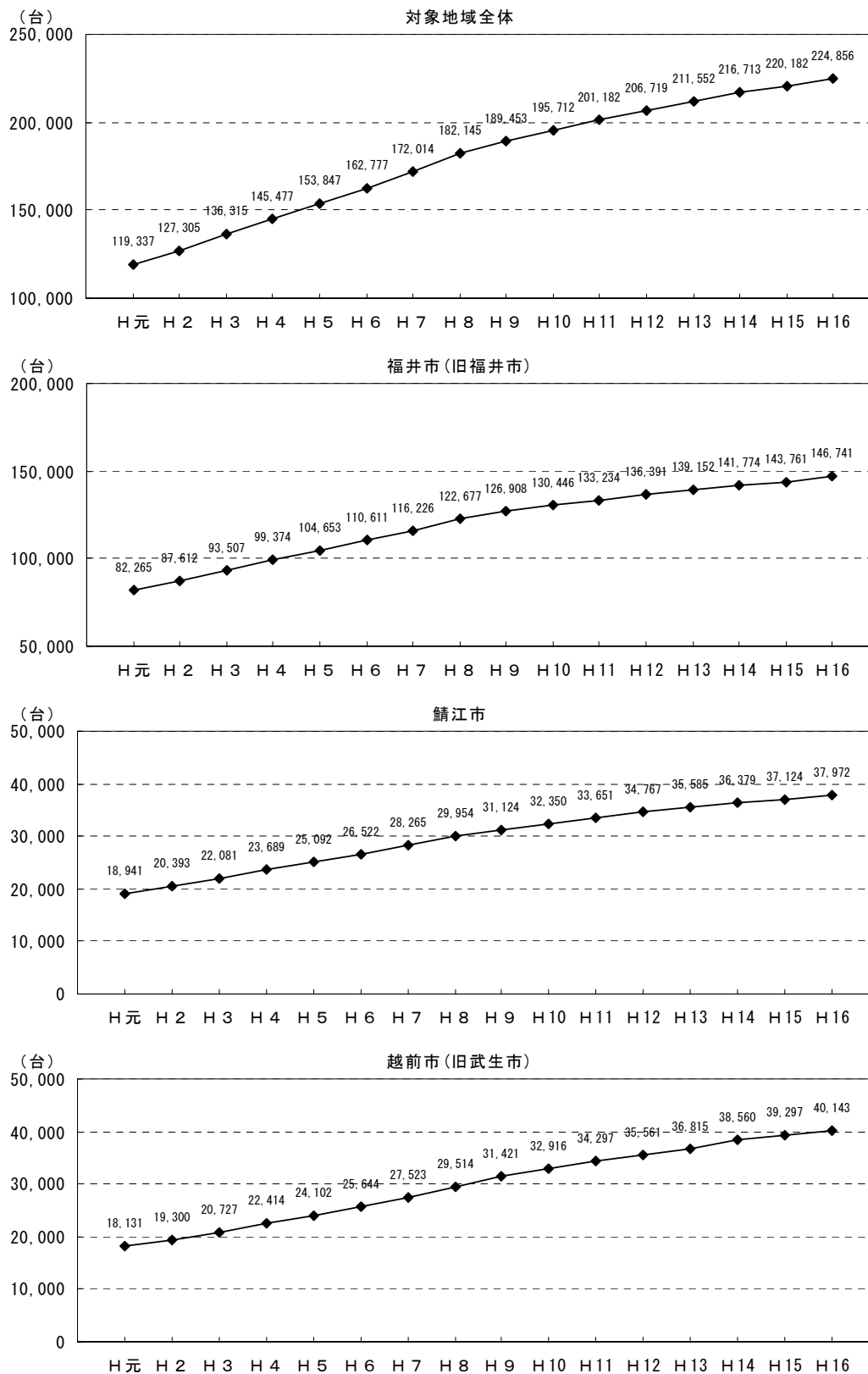
資料：国勢調査

※平成2年～平成12年には旧今立町は含まない。(平成12年の就学人口746人、通学人口123人)

(2) 自動車保有台数

○対象地域における自動車保有台数（普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車の登録台数）は、平成2年から平成12年までの10年間で約1.9倍の増加となっている。

図 自動車保有台数の推移



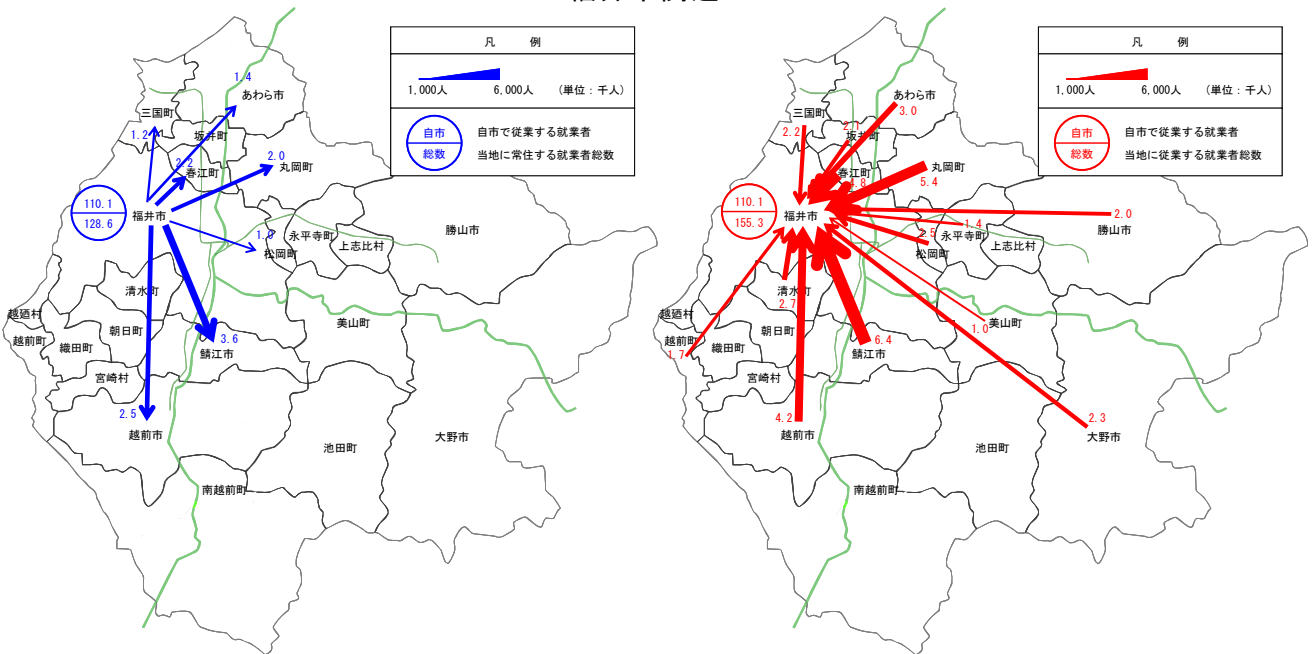
資料：福井運輸支局

(3) 通勤・通学流動

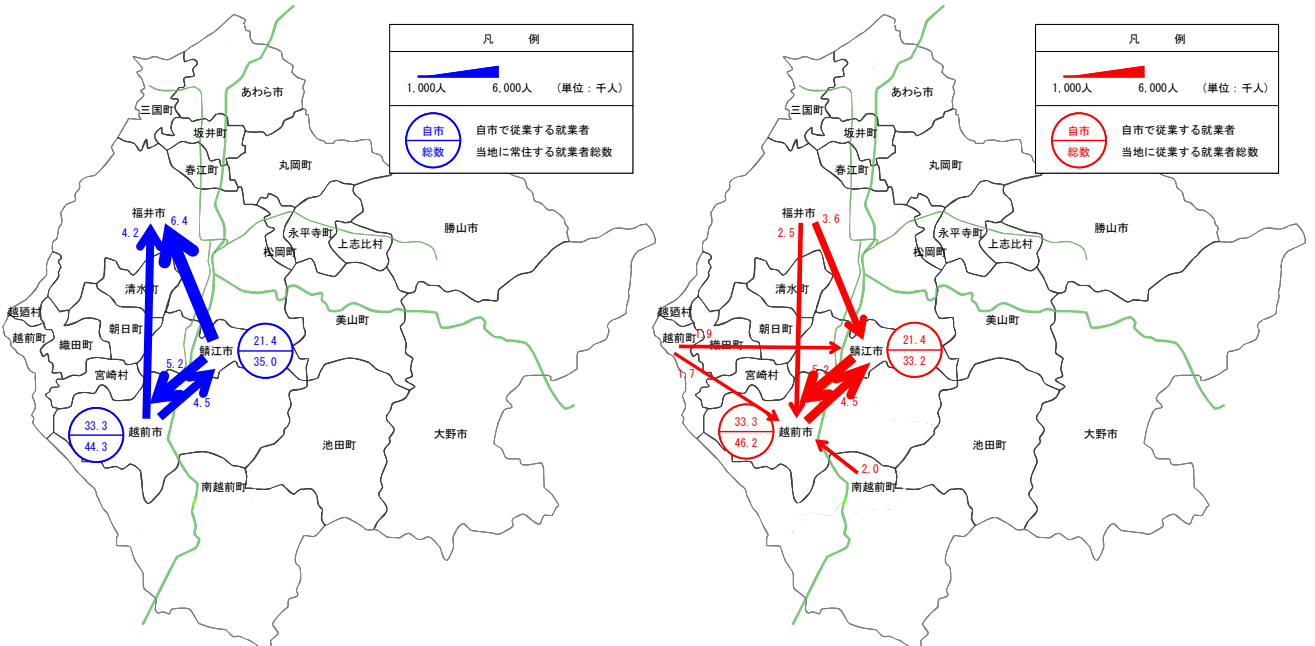
① 通勤流動

- 平成17年の通勤流動をみると、福井市に常住している就業者は86%(110.1/128.6千人)が福井市内に通勤しており、自市以外では鯖江市への通勤が3.6千人と最も多い。一方、福井市への通勤は、鯖江市(6.4千人)、旧丸岡町(現坂井市)(5.4千人)、旧春江町(現坂井市)(4.8千人)、越前市(4.2千人)からが多い。
- 鯖江市に常住している就業者は61%(21.4/35.0千人)が鯖江市内に通勤しており、自市以外では福井市(6.4千人)や越前市(5.2千人)への通勤が多い。
- 越前市に常住している就業者は75%(33.3/44.3千人)が越前市内に通勤しており、自市以外では鯖江市(4.5千人)や福井市(4.2千人)への通勤が多い。

図 通勤流動 (平成17年)
福井市関連



鯖江市・越前市関連

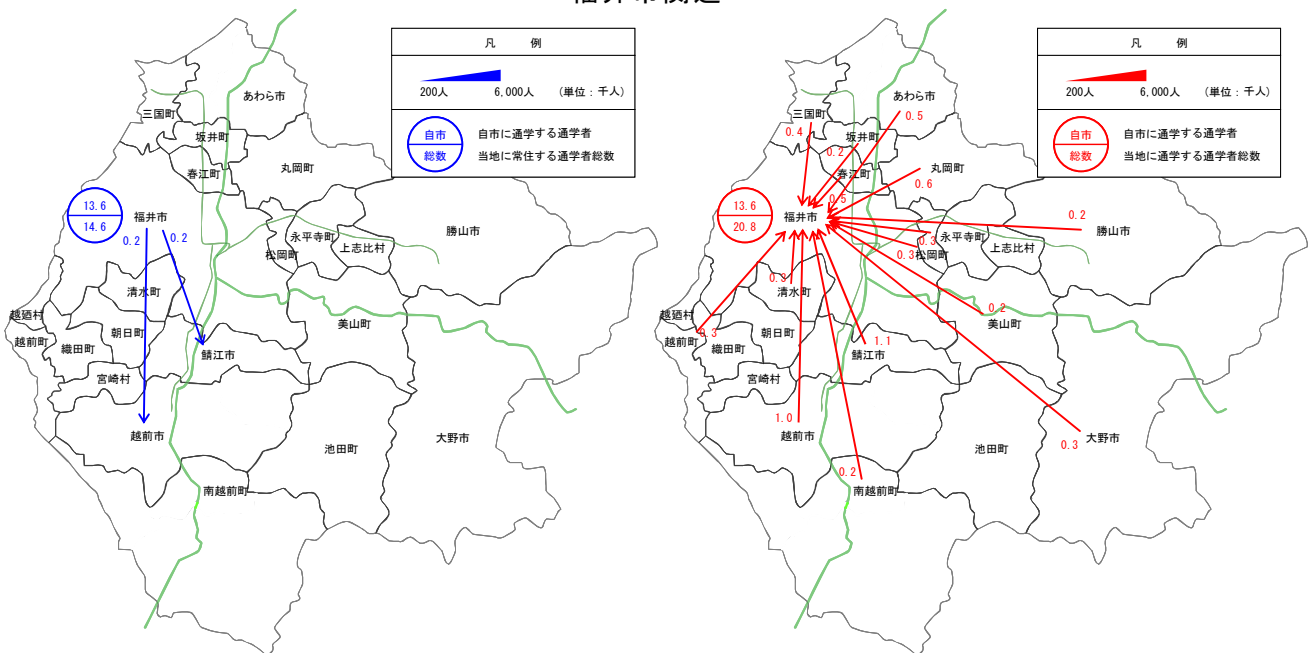


資料：平成17年国勢調査

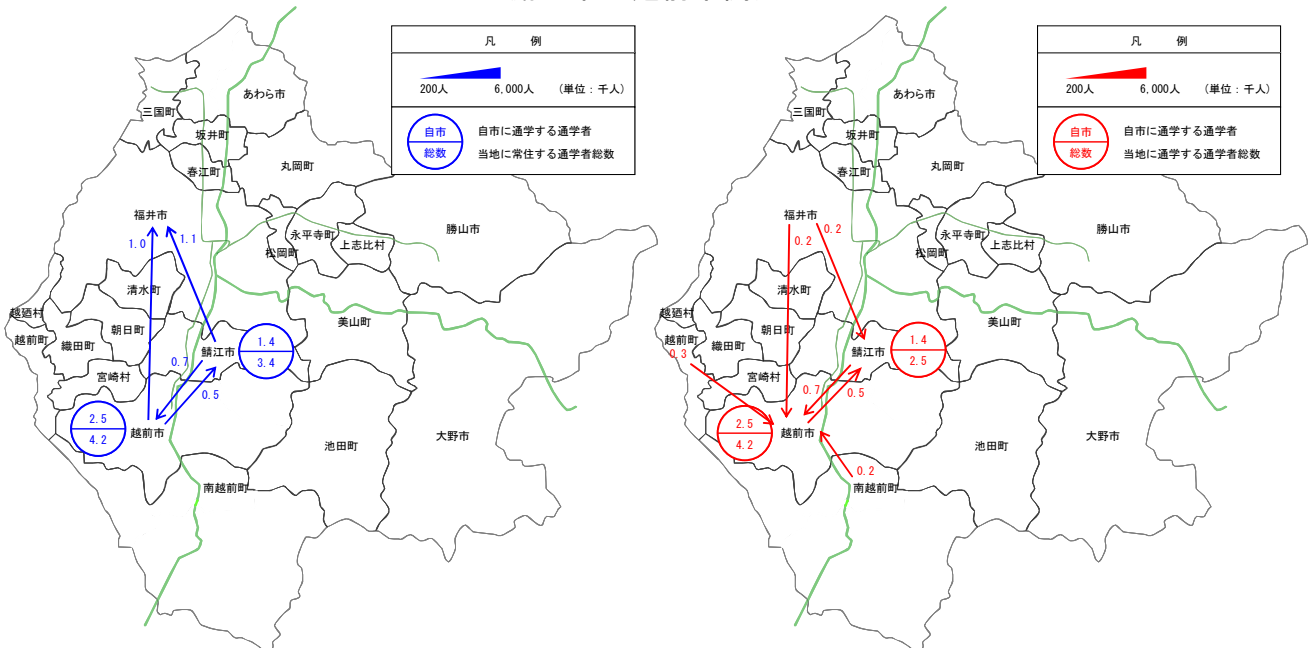
② 通学流動

- 平成17年の通学流動をみると、福井市に常住している通学者は93%(13.6/14.6千人)が福井市内に通学している。一方、福井市への通学は、鯖江市(1.1千人)、越前市(1.0千人)、旧丸岡町(現坂井市)(0.6千人)からが多い。
- 鯖江市に常住している通学者は41%(1.4/3.4千人)が鯖江市内に通学しており、自市以外では福井市(1.1千人)や越前市(0.7千人)への通学が多い。
- 越前市に常住している通学者は60%(2.5/4.2千人)が越前市内に通学しており、自市以外では福井市(1.0千人)や鯖江市(0.5千人)への通学が多い。

図 通学流動（平成17年, 15歳以上通学者）
福井市関連



鯖江市・越前市関連



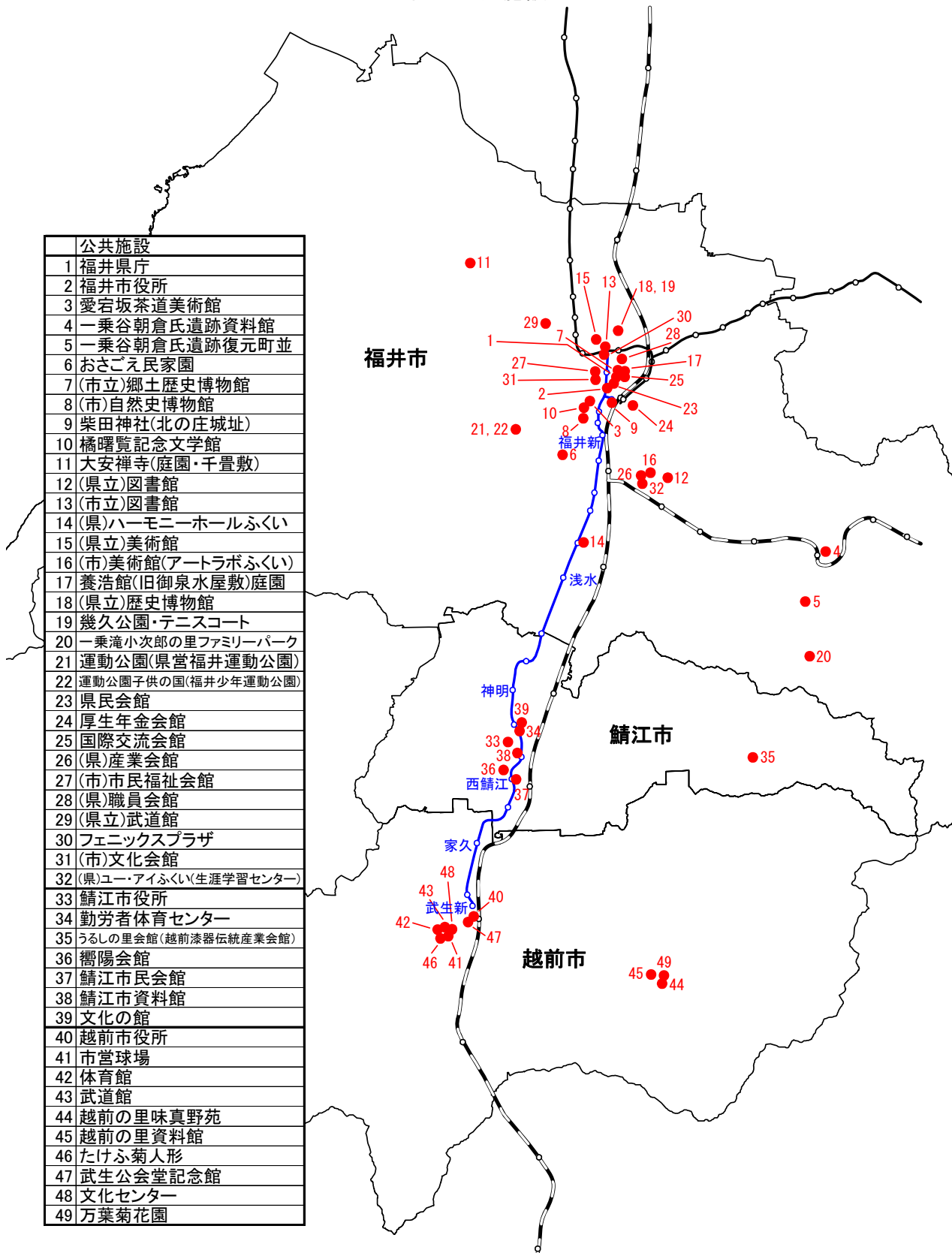
資料：平成17年国勢調査

(4) 主要施設の分布

① 公共施設

○福武線沿線には多くの公共施設があり、特に福井市中心部に集積している。

図 公共施設

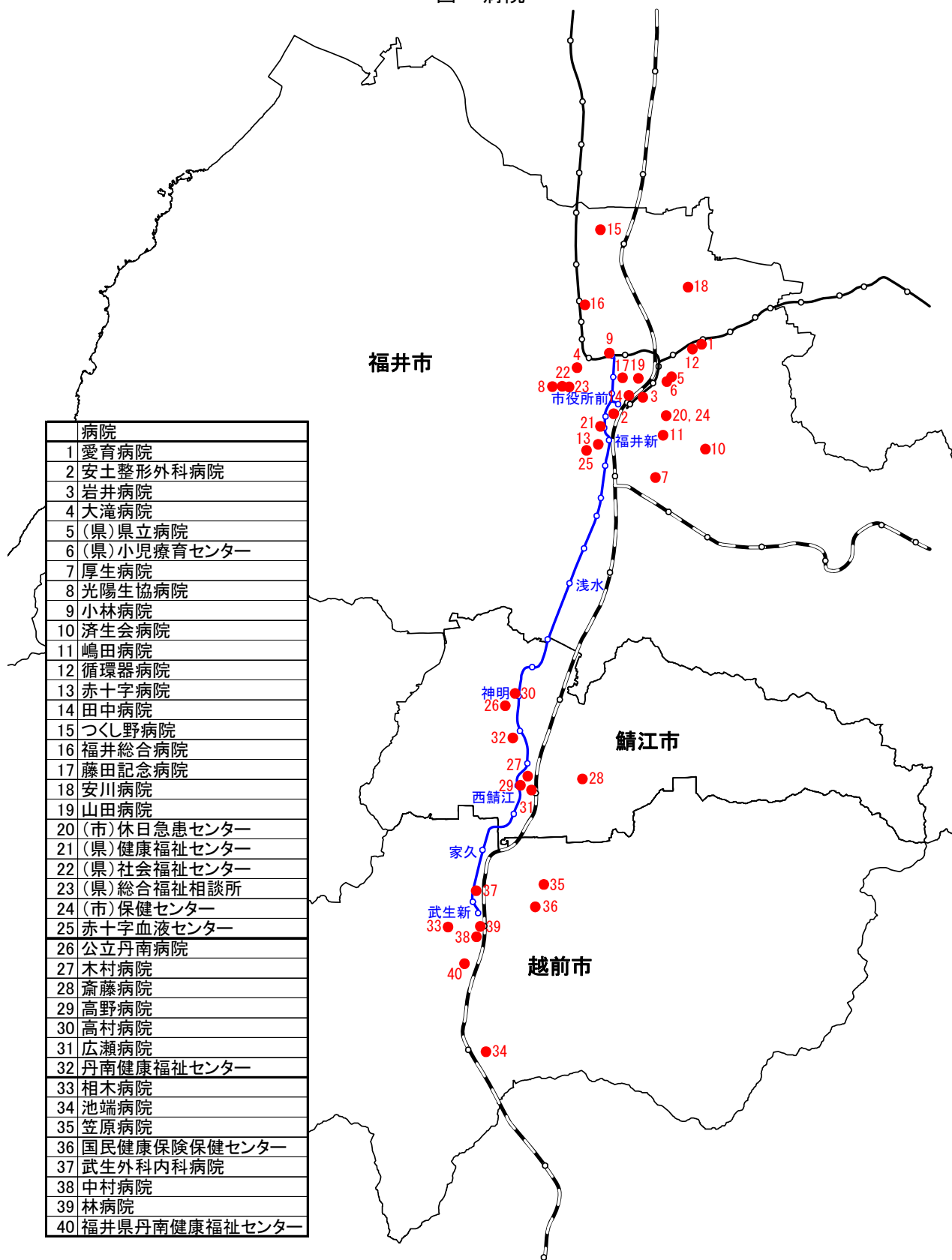


資料：ばすでんしゃねっと・ふくいHP

② 病院

○福武線沿線にも病院は立地しているが、公共施設と比較すると中心部以外での立地がみられる。

図 病院



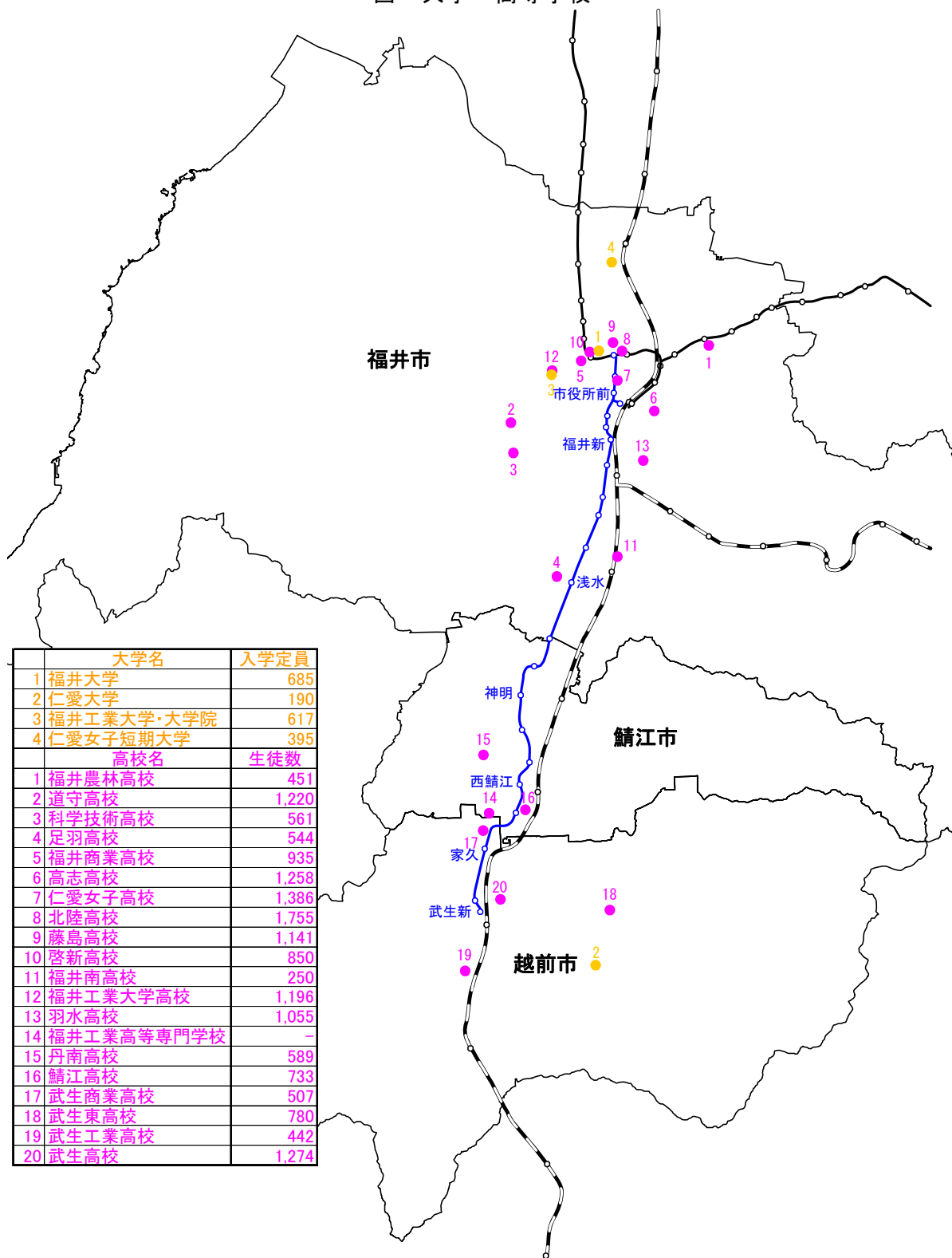
資料：ばすでんしゃねっと・ふくいHP

③ 大学・高等学校

○福井鉄道福武線・田原町駅及びえちぜん鉄道三国芦原線・西福井駅(福井大学前)周辺に学校が集積している。

○その他、福武線の駅から徒歩圏内にある高等学校としては、仁愛女子高校(裁判所前駅)、足羽高校(浅水駅)、鯖江高校(上鯖江駅)、武生商業高校(家久駅)がある。

図 大学・高等学校



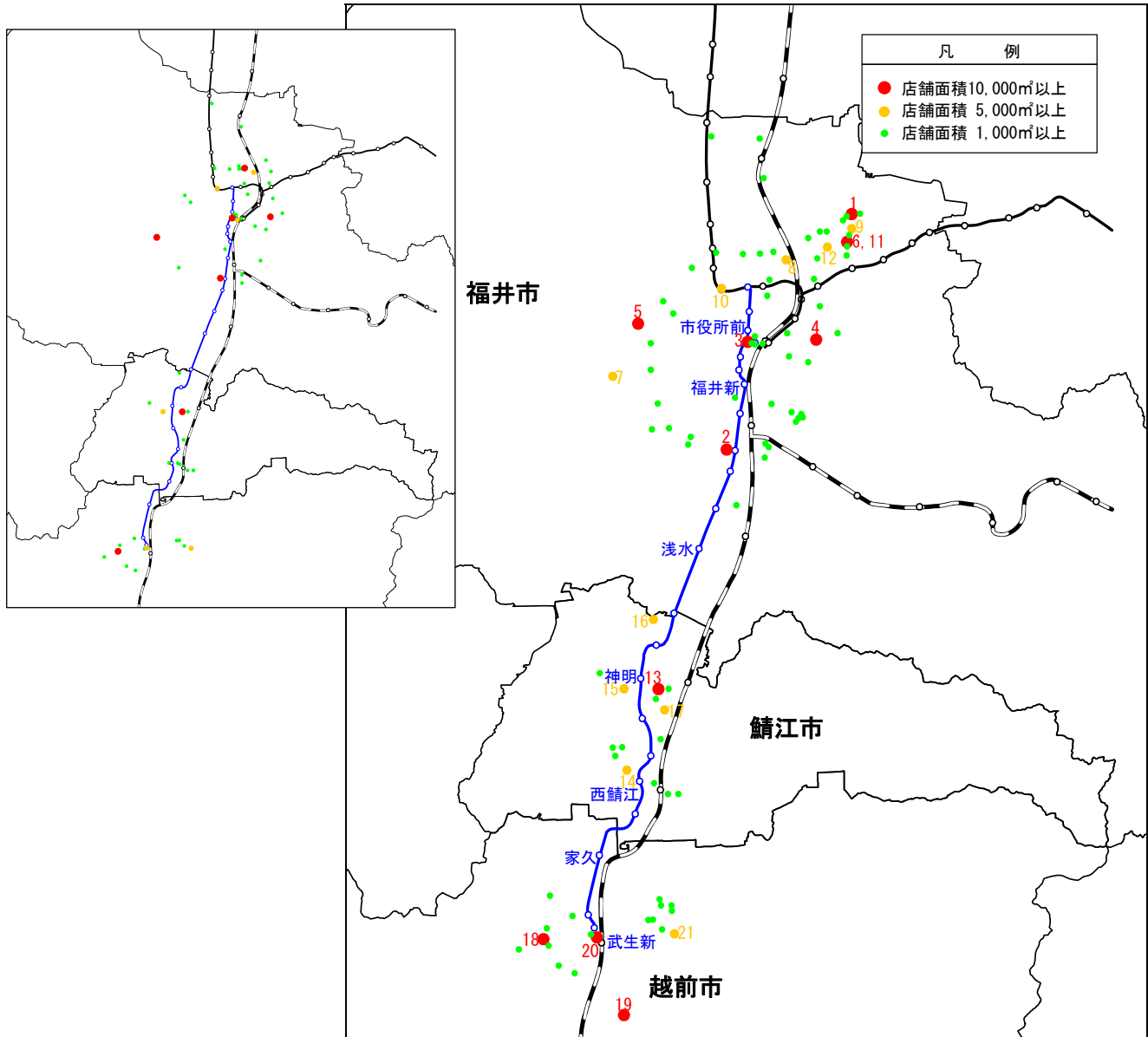
大学名	入学定員
1 福井大学	685
2 仁愛大学	190
3 福井工業大学・大学院	617
4 仁愛女子短期大学	395
高校名	生徒数
1 福井農林高校	451
2 道守高校	1,220
3 科学技術高校	561
4 足羽高校	544
5 福井商業高校	935
6 高志高校	1,258
7 仁愛女子高校	1,386
8 北陸高校	1,755
9 藤島高校	1,141
10 啓新高校	850
11 福井南高校	250
12 福井工業大学高校	1,196
13 羽水高校	1,055
14 福井工業高等専門学校	-
15 丹南高校	589
16 鯖江高校	733
17 武生商業高校	507
18 武生東高校	780
19 武生工業高校	442
20 武生高校	1,274

資料：学校総覧2005

④ 商業施設

○平成6年から平成16年までの10年間で、郊外に立地する大型小売店(店舗面積1,000㎡以上)が増加している。

図 商業施設 (左:平成6年, 右:平成16年)



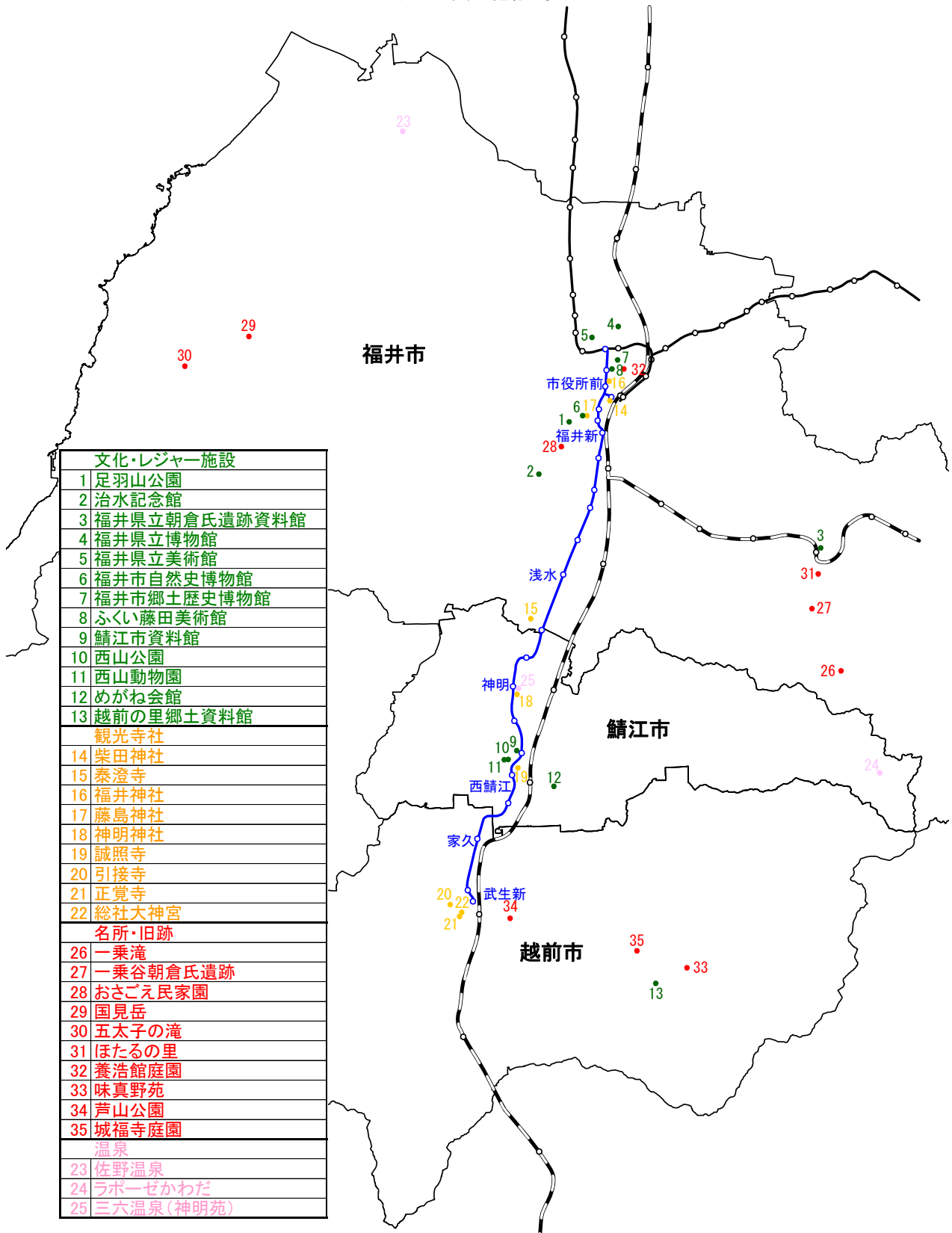
名称	店舗面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	駐車台数 (台)
1 フェアモール福井(アピタ福井大和田店)	44,571		2,845
2 ショッピングシティ・ベル(平和堂ベル店)	37,478	43,973	1,700
3 だるまや西武	22,108	28,620	1,525
4 イーモールパリオ	16,133	29,825	825
5 アピタ福井	15,955	19,621	1,700
6 パワーシティフクイ・ワイプラザ(ヤササキワイホーム新保店)	10,176		811
7 福井西部パワーセンター(ワッセ)	9,413	11,621	684
8 山口伊三郎家具(La136)	7,775	9,415	200
9 ニトリ福井店	6,994		
10 ホームセンターみつわ西福井店	6,716	11,252	238
11 パワーシティフクイ・ワイプラザ(グルメ館新保店)	6,318		290
12 近新福井店	5,984		
13 アル・プラザ鯖江(平和堂鯖江店)	14,540	22,970	1,308
14 パワーシティ ワイプラザ鯖江店	8,840		653
15 神明SC・アゼリヤ(H15.6閉店)	7,601	12,599	350
16 ハイパーTOBA	5,838	14,146	380
17 コメリホームセンター鯖江店	5,471		318
18 武生Sタウン(シビー)	18,913	20,120	870
19 ホームセンターみつわ武生店	11,685		
20 アル・プラザ武生(平和堂武生店)	10,635		598
21 エスカモール武生薬市(ワイプラザ武生店)	7,665	14,278	483

資料: 大型小売店総覧2006

⑤ 観光施設等

○福武線沿線には、多くの文化・レジャー施設、観光寺社がある。

図 観光施設等



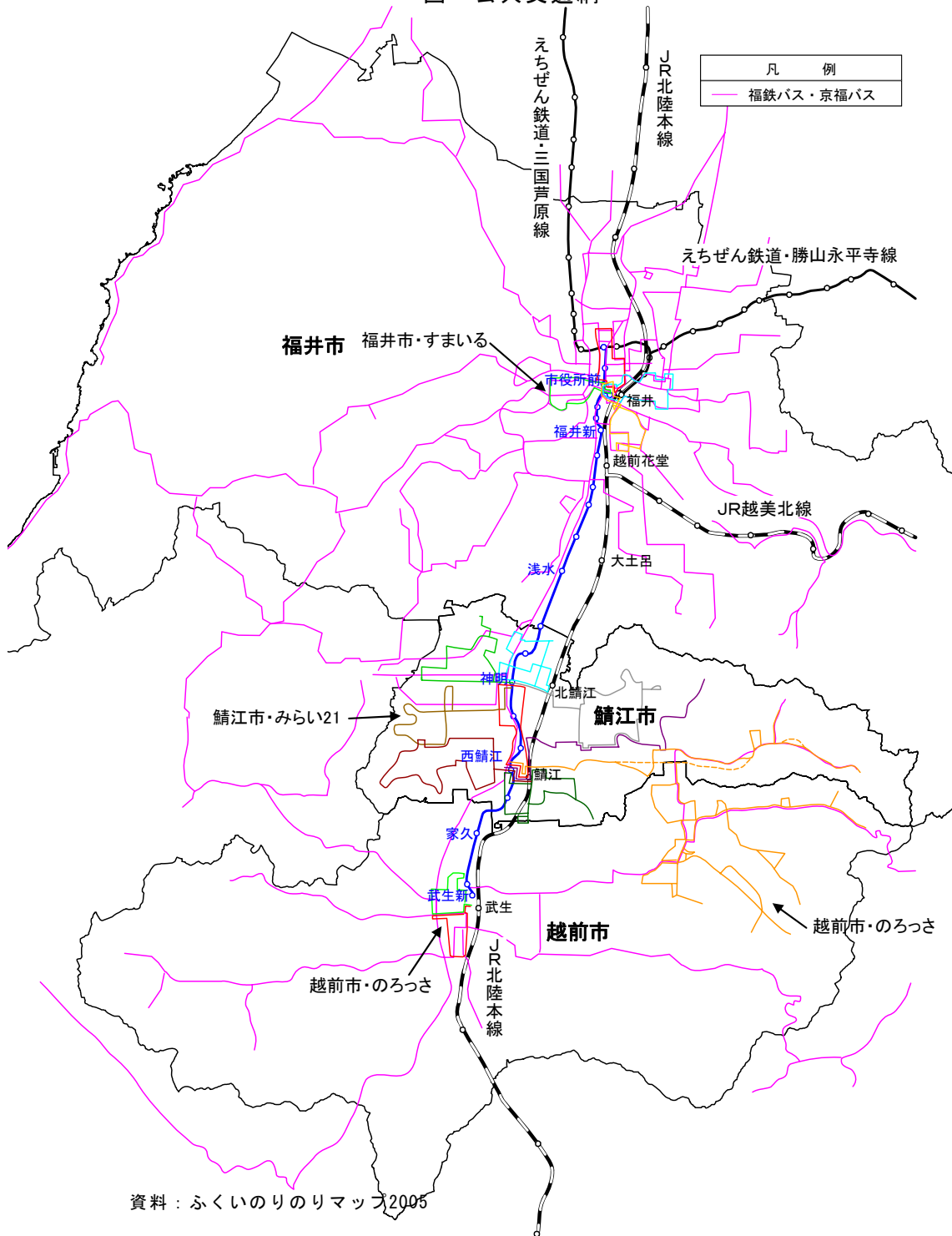
資料：平成16年度福井都市圏総合都市交通体系調査報告書・参考資料－観光施設分布図

2-1-2 交通網

(1) 公共交通網

- 当該地区に関連する鉄道は、当該地区と他都市圏を結ぶJR北陸本線、福井市と三国町・芦原町方面を結ぶえちぜん鉄道・三国芦原線、福井市と勝山市・永平寺町方面を結ぶえちぜん鉄道・勝山永平寺線、福井市と大野市・美山町方面を結ぶJR越美北線、そして本調査で対象となる福井鉄道・福武線が走っている。
- 当該地区に関連するバス路線は、福井市中心部より放射状に伸びている路線が多い。また鯖江市や越前市では、民間バスでカバーされていない地区は市のコミュニティバスがカバーしている。

図 公共交通網

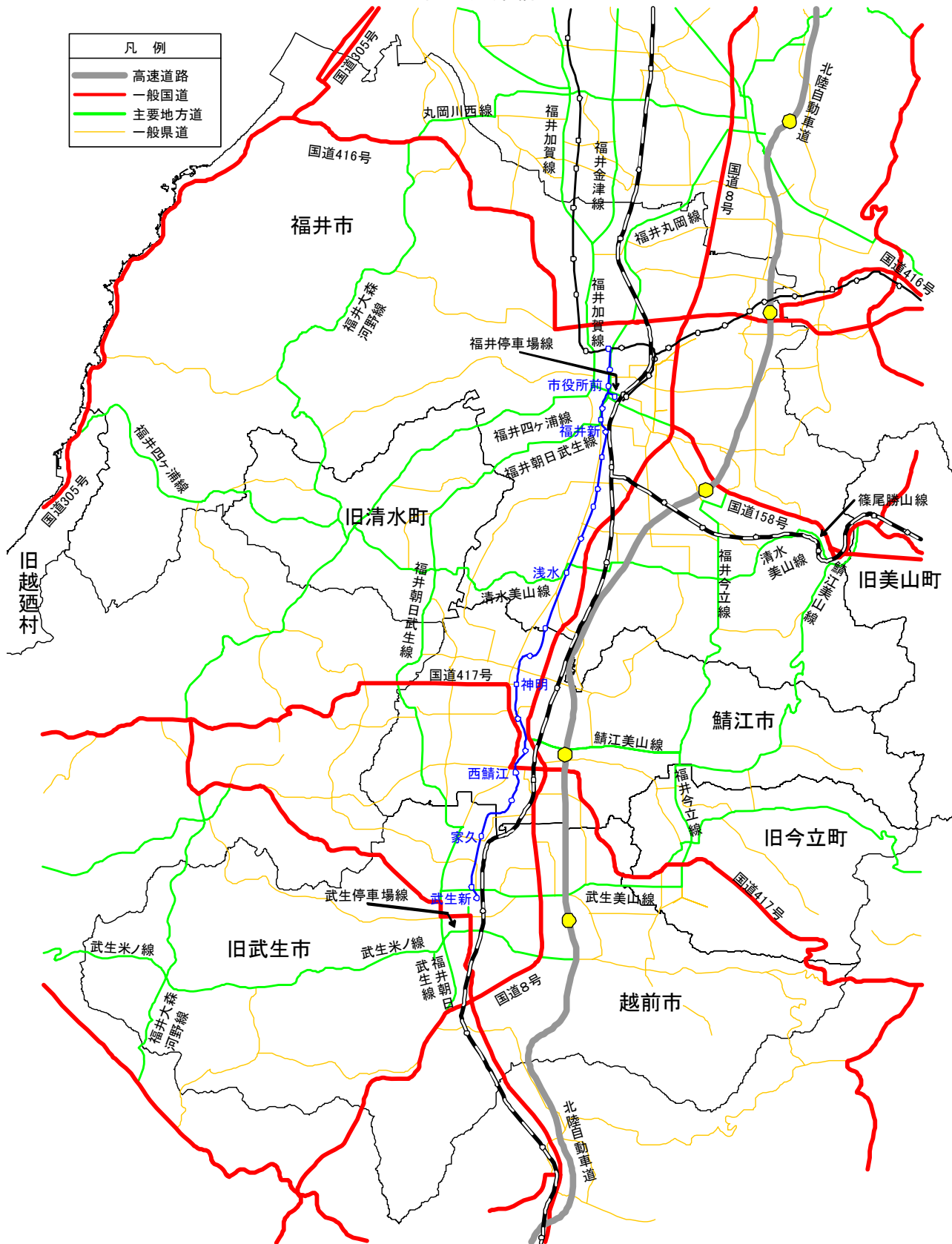


(2) 道路網

○当該地区に関連する道路は、ほぼ中央を北陸自動車道が南北に縦貫し、さらにその西側を国道8号がほぼ並行して縦貫している。

○その他の国道として、国道158号、国道416号、国道417号が整備されている。

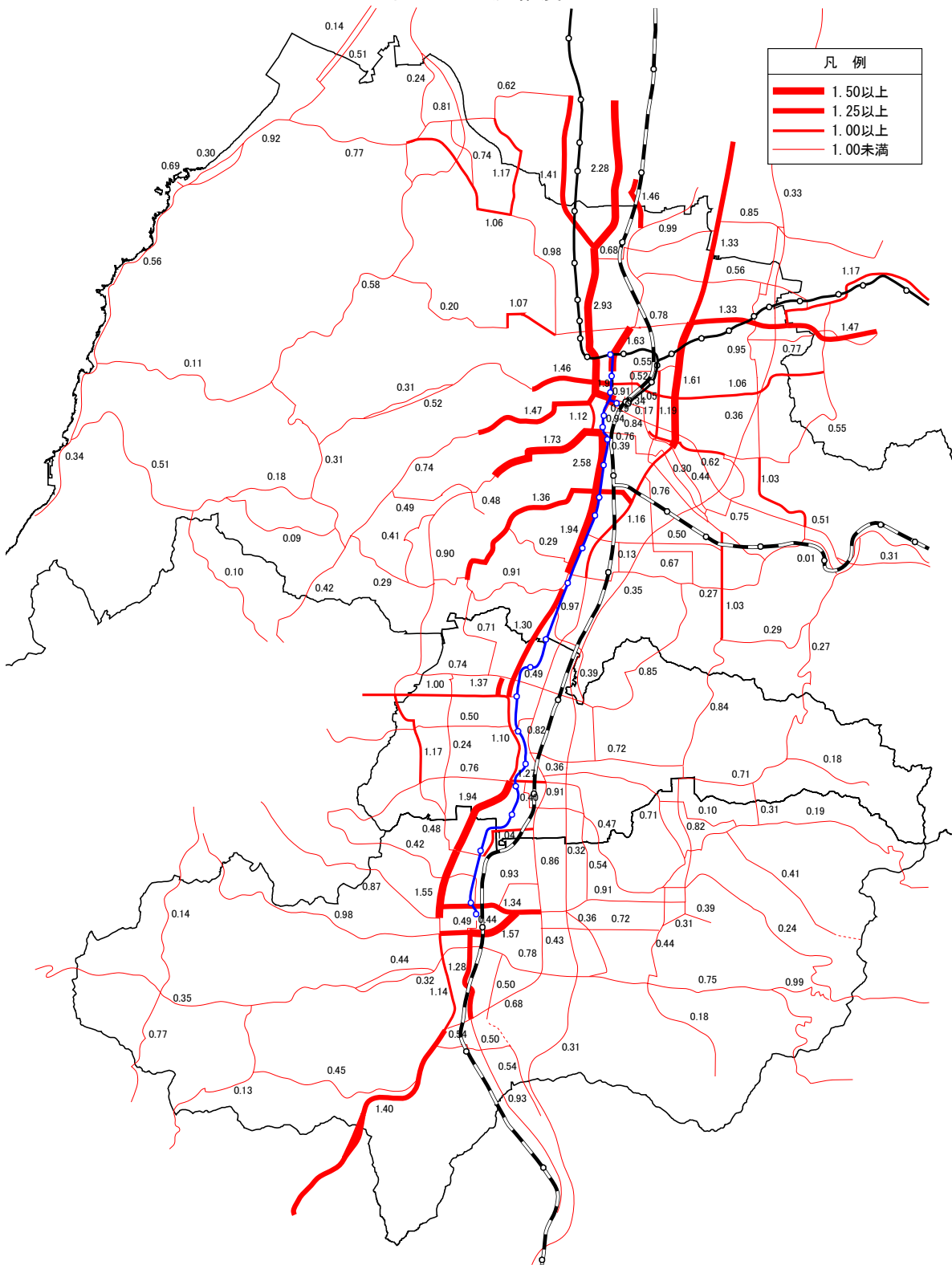
図 道路網



資料：プロアトラスSV

○平成17年道路交通センサスの調査結果をみると、福井市や越前市中心部方面へ伸びる道路で混雑度が1.5以上と高い。

図 平日混雑度



資料：平成17年道路交通センサス

2-2 福武線の現状

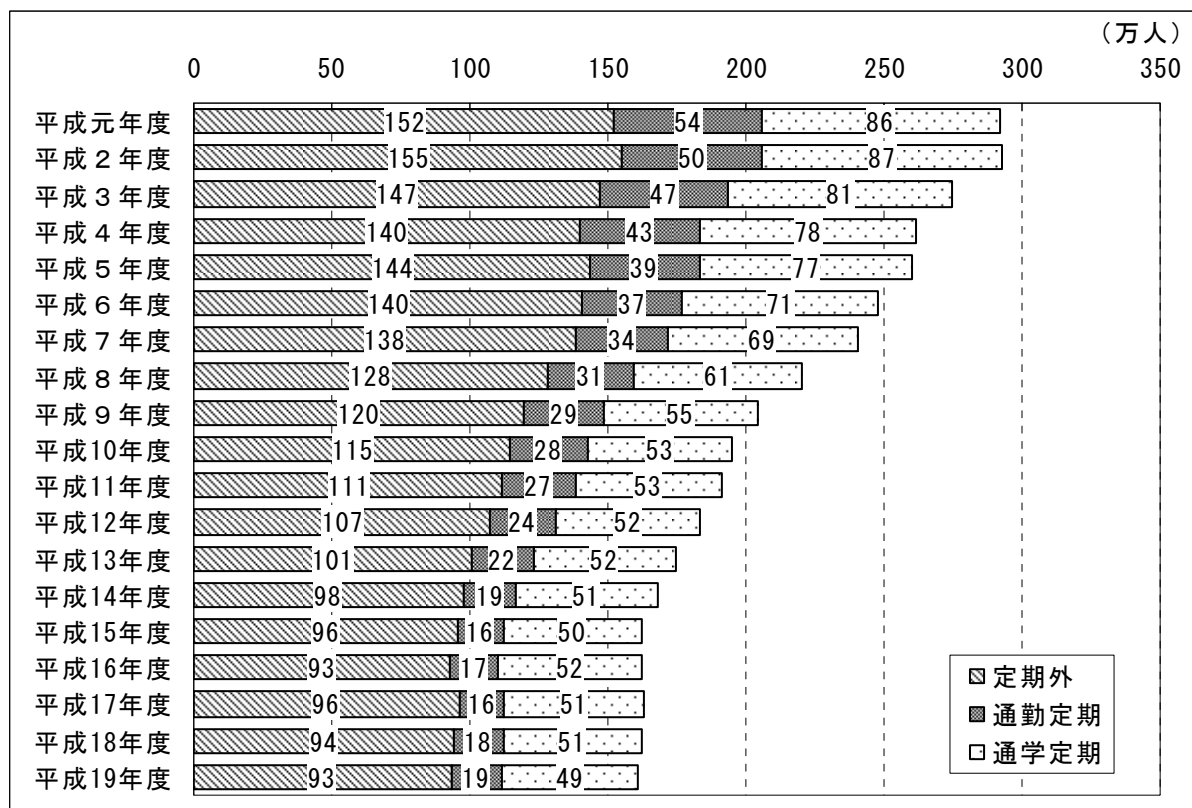
2-2-1 利用状況

(1) 輸送人員

○福武線の輸送人員は年々減少傾向であったが、平成15年度以降は年間162万人前後で推移している。

○平成15年度以降の輸送人員の推移を券種別にみると、定期外は概ね横ばい、通勤定期はやや増加、通学定期はやや減少の傾向となっている。

図 輸送人員の推移



	輸送人員		定期外		通勤定期		通学定期	
	年間(人)	指数	年間(人)	指数	年間(人)	指数	年間(人)	指数
平成元年度	2,922,150	100	1,520,316	100	540,762	100	861,072	100
平成2年度	2,925,312	100	1,551,582	102	504,288	93	869,442	101
平成3年度	2,744,834	94	1,471,178	97	466,146	86	807,510	94
平成4年度	2,614,982	89	1,399,604	92	432,504	80	782,874	91
平成5年度	2,604,916	89	1,437,166	95	393,414	73	774,336	90
平成6年度	2,477,355	85	1,404,297	92	366,540	68	706,518	82
平成7年度	2,402,176	82	1,381,228	91	335,904	62	685,044	80
平成8年度	2,204,463	75	1,282,317	84	312,768	58	609,378	71
平成9年度	2,041,705	70	1,198,819	79	288,768	53	554,118	64
平成10年度	1,952,728	67	1,147,288	75	277,644	51	527,796	61
平成11年度	1,916,468	66	1,114,634	73	267,306	49	534,528	62
平成12年度	1,833,522	63	1,071,606	70	243,546	45	518,370	60
平成13年度	1,746,445	60	1,010,539	66	220,530	41	515,376	60
平成14年度	1,679,703	57	980,163	64	186,420	34	513,120	60
平成15年度	1,623,898	56	957,916	63	164,394	30	501,588	58
平成16年度	1,621,021	55	927,745	61	174,378	32	518,898	60
平成17年度	1,631,882	56	960,716	63	163,566	30	507,600	59
平成18年度	1,625,596	56	940,180	62	179,400	33	506,016	59
平成19年度	1,611,947	55	931,727	61	186,960	35	493,260	57

資料：福井鉄道㈱

(2) 駅別乗車人員

- 平成19年度の駅別乗車人員をみると、鉄道線部分では武生新駅が22.2万人と最も多く、次いで神明駅が19.3万人、浅水駅が14.0万人、西鯖江駅が12.4万人、福井新駅が11.8万人と続いている。軌道線部分（福井市内）は51.7万人である。
- 平成16年度から平成19年度の駅別乗車人員の推移をみると、西武生、西鯖江、水落、浅水、ハーモニーホール、福井新、福井市内は増加、その他の駅は減少傾向である。
- ※浅水駅（45台、H16.4.1～）、水落駅（80台、H16.10.1～）はP&R駐車場が整備

図 駅別乗車人員（平成19年度）

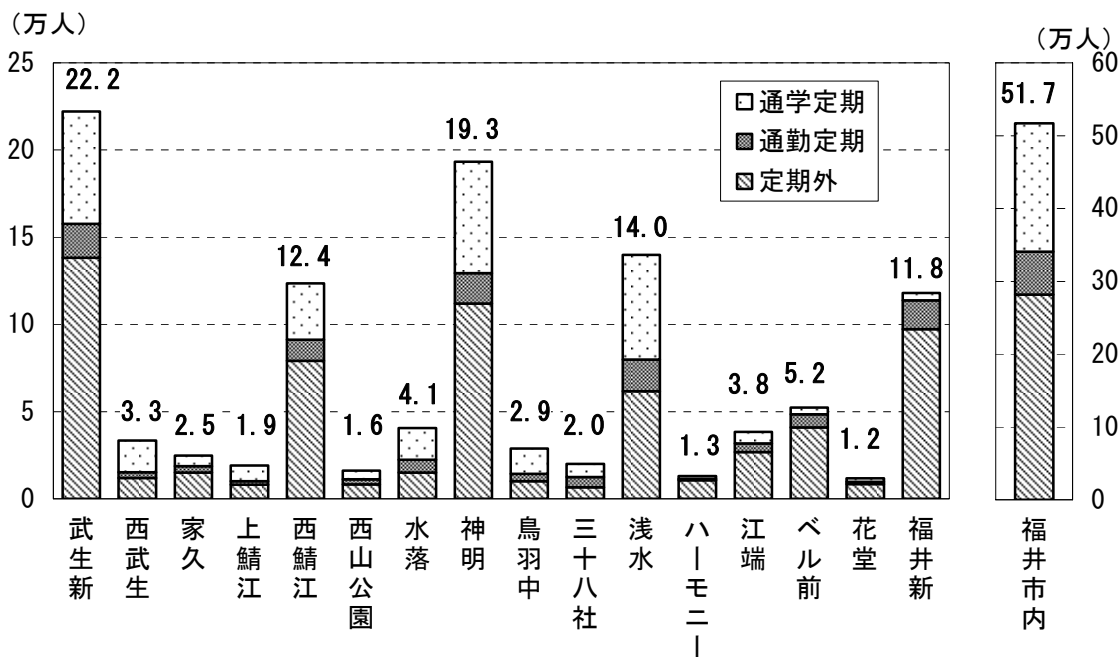


表 駅別乗車人員の推移（H16→H19年度）

単位: 人/年

	平成16年度				平成19年度				H19-H16				増減傾向
	合計	定期外	通勤定期	通学定期	合計	定期外	通勤定期	通学定期	合計	定期外	通勤定期	通学定期	
武生新	230,483	132,494	19,629	78,360	222,051	138,231	19,530	64,290	-8,432	5,737	-99	-14,070	▼
西武生	32,321	12,263	4,458	15,600	33,496	11,926	3,330	18,240	1,175	-337	-1,128	2,640	△
家久	25,517	16,304	3,570	5,643	24,749	14,999	3,720	6,030	-768	-1,305	150	387	▼
上鯖江	23,374	12,607	3,087	7,680	19,056	8,046	2,130	8,880	-4,318	-4,561	-957	1,200	▼
西鯖江	122,695	78,967	10,068	33,660	123,546	79,056	12,240	32,250	851	89	2,172	-1,410	△
西山公園	23,421	16,323	1,998	5,100	16,073	8,213	2,910	4,950	-7,348	-8,110	912	-150	▼
水落	24,276	12,216	3,240	8,820	40,526	15,086	7,320	18,120	16,250	2,870	4,080	9,300	△
神明	196,938	110,208	20,667	66,063	193,292	111,962	17,400	63,930	-3,646	1,754	-3,267	-2,133	▼
鳥羽中	29,283	12,429	3,924	12,930	28,786	10,036	4,230	14,520	-497	-2,393	306	1,590	▼
三十八社	25,895	8,435	4,890	12,570	20,053	6,574	5,979	7,500	-5,842	-1,861	1,089	-5,070	▼
浅水	136,571	61,505	15,348	59,718	139,801	61,621	18,300	59,880	3,230	116	2,952	162	△
ハーモニー	8,556	7,926	240	390	13,006	10,696	690	1,620	4,450	2,770	450	1,230	△
江端	44,777	31,769	5,970	7,038	38,398	26,875	4,923	6,600	-6,379	-4,894	-1,047	-438	▼
ベル前	63,966	52,086	6,960	4,920	52,311	40,971	7,440	3,900	-11,655	-11,115	480	-1,020	▼
花堂	15,403	9,289	1,344	4,770	11,721	8,493	1,308	1,920	-3,682	-796	-36	-2,850	▼
福井新	111,666	86,004	15,882	9,780	117,966	97,236	16,620	4,110	6,300	11,232	738	-5,670	△
福井市内	505,819	266,920	53,103	185,796	517,116	281,706	58,890	176,520	11,297	14,786	5,787	-9,276	△
合計	1,620,961	927,745	174,378	518,838	1,611,947	931,727	186,960	493,260	-9,014	3,982	12,582	-25,578	▼

資料：福井鉄道㈱

※ハーモニー：ハーモニーホール、福井市内：軌道線部分の停留場合計

(3) 都市間利用者数

- 平成19年度の都市間利用者数をみると、全体では鯖江市－福井市(軌道)間や福井市(鉄道)－福井市(軌道)間の利用が多い。
- 通学定期では、特に鯖江市－福井市(軌道)間の利用が多い。

表 都市間利用者数 (平成19年度)

(単位:万人)

総数		着地				合計
		越前市	鯖江市	福井市(鉄道)	福井市(軌道)	
発地	越前市	1.9	9.8	5.9	10.3	28.0
	鯖江市	9.5	4.8	7.5	20.2	42.1
	福井市(鉄道)	6.2	7.4	5.6	20.1	39.3
	福井市(軌道)	10.6	20.5	20.5	0.0	51.7
	合計	28.3	42.5	39.5	50.7	161.1

定期外		着地				合計
		越前市	鯖江市	福井市(鉄道)	福井市(軌道)	
発地	越前市	1.3	5.0	3.8	6.2	16.5
	鯖江市	4.7	4.0	5.2	9.2	23.2
	福井市(鉄道)	4.1	5.1	4.3	11.6	25.2
	福井市(軌道)	6.5	9.5	12.0	0.0	28.1
	合計	16.8	23.6	25.5	27.2	93.1

通勤定期		着地				合計
		越前市	鯖江市	福井市(鉄道)	福井市(軌道)	
発地	越前市	0.2	1.3	0.7	0.4	2.6
	鯖江市	1.3	0.2	0.9	2.2	4.6
	福井市(鉄道)	0.7	0.9	0.7	3.2	5.5
	福井市(軌道)	0.4	2.2	3.2	0.0	5.9
	合計	2.6	4.6	5.5	5.9	18.6

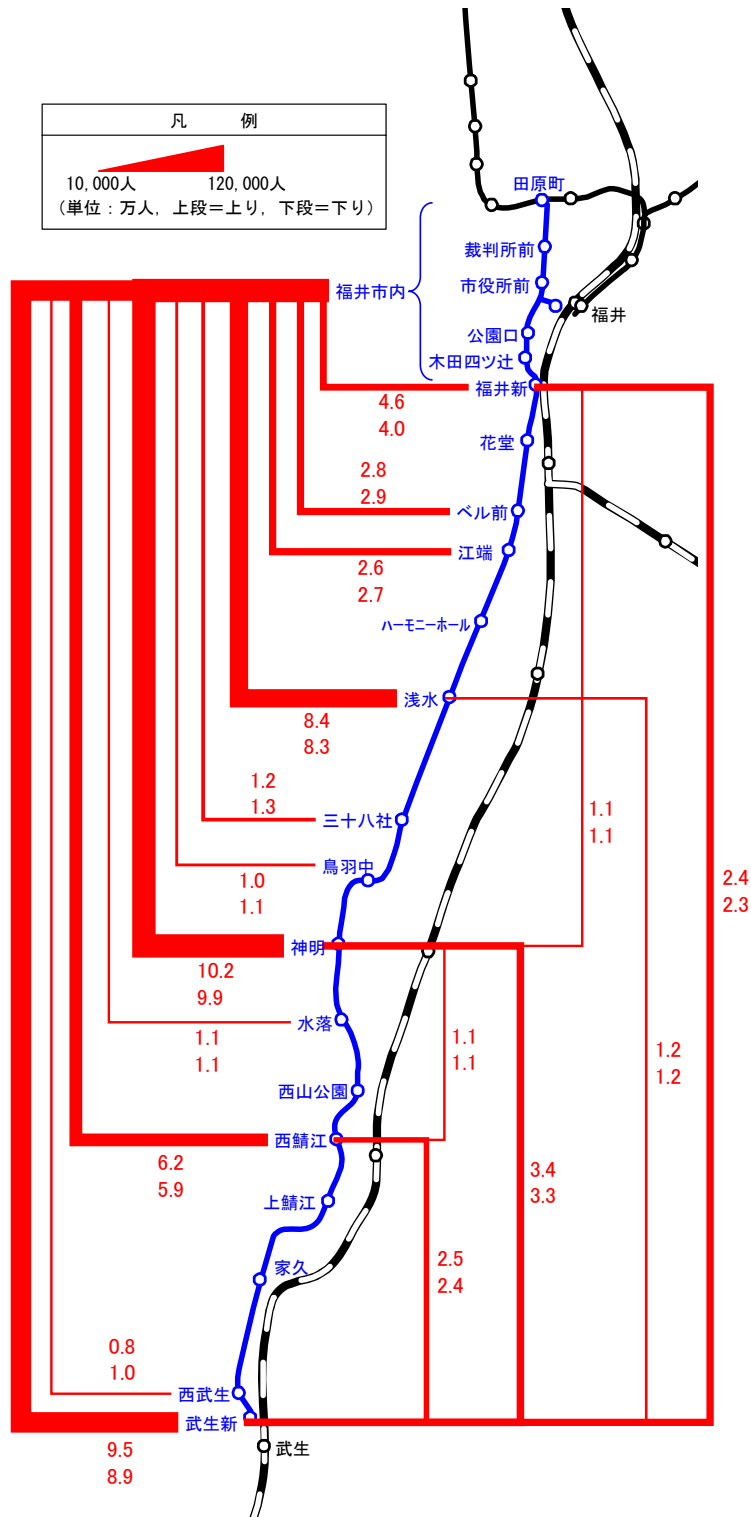
通学定期		着地				合計
		越前市	鯖江市	福井市(鉄道)	福井市(軌道)	
発地	越前市	0.4	3.5	1.3	3.6	8.8
	鯖江市	3.5	0.5	1.4	8.8	14.2
	福井市(鉄道)	1.3	1.4	0.5	5.2	8.5
	福井市(軌道)	3.6	8.8	5.2	0.0	17.6
	合計	8.8	14.2	8.5	17.6	49.3

資料：福井鉄道㈱

(4) 駅間利用者数

- 平成16年度の駅間利用者数をみると、神明－福井市内間の利用が最も多く、上り下りとも約10万人である。その他、武生新－福井市内間、浅水－福井市内間、西鯖江－福井市内間と福井市内関連の利用が多い。
- 福井市内関連以外では、武生新－福井新間、武生新－神明間、武生新－西鯖江間と武生市関連の利用が多い。

図 駅間利用者数（平成19年度）



資料：福井鉄道㈱

2-2-2 サービス水準

(1) 駅別サービス水準

○1日あたりの運行本数は、急行停車駅で約50本、それ以外の駅では約40本であり、朝のピーク時で1時間7本、昼間時で3本である。

○武生新と市役所前間の所要時間は普通が40分、急行が37分と3分の差がある。

表 駅別サービス水準

駅名	距離(km)	急行停車	バス接続	駐車場(台)	駐輪場(台)	運行本数(本)		所要時間(分)		普通運賃(円)	定期6ヶ月(円)	
						上り	下り	普通	急行		通勤	通学
武生新	-	◎	○	69	150	-	52	-	-	-	-	-
西武生	0.6	◎		7	20	51	52	1	1	180	38,660	32,720
家久	2.4	◎		-	35	51	52	4	4	220	47,250	37,850
上鯖江	4.1			-	20	41	40	7	-	260	55,840	37,850
西鯖江	5.3	◎	○	-	214	51	52	9	8	260	55,840	43,790
西山公園	6.0			-	-	41	40	11	-	260	55,840	43,790
水落	7.3	◎		80	20	51	52	13	12	290	61,290	49,790
神明	8.5	◎	○	23	216	51	52	15	14	330	66,740	52,110
鳥羽中	9.7			-	50	41	40	17	-	330	66,740	55,620
三十八社	10.9			-	30	41	40	19	-	350	70,360	55,620
浅水	13.0	◎		88	100	51	52	22	20	360	72,140	57,890
ハーモニーホール	13.8			-	-	41	40	24	-	360	72,140	57,890
江端	15.5			22	70	41	40	27	-	370	73,980	57,890
ベル前	16.1		○	-	20	41	40	28	-	380	75,820	59,080
花堂	16.9		○	29	-	41	40	30	-	380	75,820	60,210
福井新	17.8	◎	○	28	70	51	52	31	27	380	75,820	60,210
木田四辻	18.4		○	-	-	41	40	33	-	390	82,890	60,210
公園口	18.9		○	-	-	41	40	35	-	390	82,890	60,210
市役所前	19.6	◎	○	-	-	51	36	40	37	390	82,890	60,210
福井駅前	20.1	◎	○	-	-	46	16	44	43	390	82,890	60,210
裁判所前	20.2		○	-	-	35	36	42	-	390	82,890	60,210
田原町	20.9		○	62	20	35	-	44	-	390	82,890	60,210

資料：福井鉄道㈱HP

※距離、所要時間、普通運賃、定期は武生新駅まで

※駐車場は水落駅のみ無料、その他の駅は有料

(2) 福武線と他線のサービス水準比較

○運行本数はJR北陸線やえちぜん鉄道よりも約20本多い。所要時間は、JR北陸線と比較すると越前市と福井市間の所要時間は約2倍、普通運賃は約1.2倍である。定期割引率はJR北陸線、えちぜん鉄道より低い水準となっている。

表 福武線・JR北陸線・えちぜん鉄道のサービス水準比較

	福井鉄道・福武線	JR北陸線	えちぜん鉄道・勝山永平寺線	えちぜん鉄道・三国芦原線
比較区間	武生新-市役所前	武生-福井	勝山-福井	三国港-福井
運行本数(終日)	52本(12本)	30本	33本	34本
運行本数(7~9時)	9本(4本)	6本	4本	4本
運行本数(13~15時)	6本(0本)	4本	4本	4本
所要時間	40分(37分)	20分	53分	48分
運賃	390円	320円	750円	750円
通勤定期6ヶ月	82,890円	45,360円	124,740円	124,740円
通勤定期6ヶ月割引率	41.0%	60.6%	53.8%	53.8%
通学定期6ヶ月	60,210円	36,230円	94,070円	94,070円
通学定期6ヶ月割引率	57.1%	68.6%	65.2%	65.2%
始発時刻	(下り)6:15 (上り)6:12	(下り)6:23 (上り)5:30	(下り)6:17 (上り)6:03	(下り)6:34 (上り)6:00
終発時刻	(下り)21:50 (上り)22:10	(下り)23:10 (上り)23:02	(下り)23:13 (上り)21:57	(下り)23:08 (上り)22:10
備考	()内は急行	H20年7月時刻表 特急・快速は除く	H20年9月時刻表	H20年9月時刻表

(3) 運賃サービス

○運賃サービスとしては、下記に示す各種回数券、乗車券、その他企画乗車券（入場券付き乗車券等）の発売を行い、利用促進を図っている。

【乗車区間フリー回数券】

どこで乗って、どこで降りても1乗車1枚で利用可能

発売金額：3,000円で10枚綴り（1枚300円、300円以上の区間での利用がお得）

有効期間：購入日より3ヶ月間

利用制限：特になし

【昼間割引回数券】

お昼の時間に利用できる買い物等に便利な回数乗車券

発売金額：乗車区間の普通運賃の10倍の値段で13枚綴り

（区間によっては、上記乗車区間フリー回数券よりもお得）

有効期間：購入日より3ヶ月間

利用可能時間帯：平日の10時から16時までの間に電車から降りる方

土曜日・日曜日・祝日は終日、毎月第2・第4金曜日のカーセーブデーも終日

【普通回数券】

発売金額：乗車区間の普通運賃の10倍の値段で11枚綴り

有効期間：購入日より3ヶ月間

利用制限：特になし

【1日フリー乗車券】

発売金額：大人500円，小人：250円

利用条件：土曜，日曜，祝日，指定日

利用区間：福武線全線

有効期間：使用当日1日限り

【福井鉄道・えちぜん共通1日フリー乗車券】

発売金額：大人1,200円，小人：600円

利用条件：土曜，日曜，祝日，指定日

利用区間：福武線全線，えちぜん鉄道全線

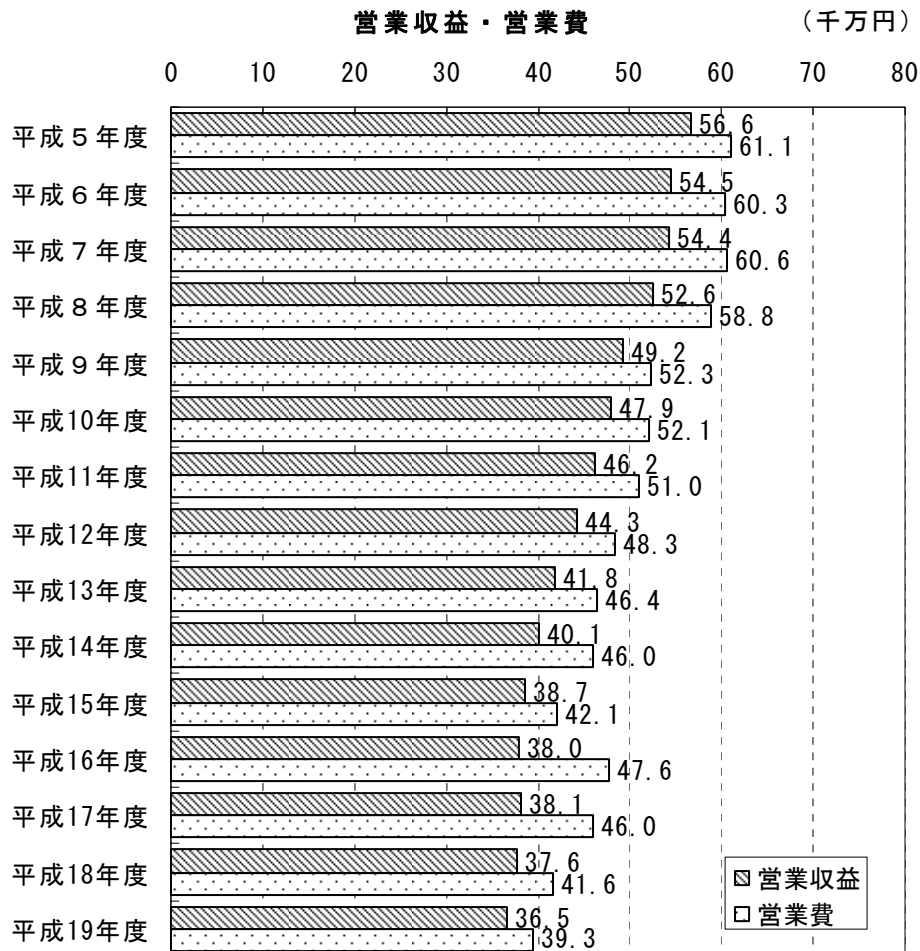
有効期間：使用当日1日限り

2-2-3 経営状況

(1) 経営指標

○近年、営業収益はやや減少しているものの、営業費の削減（減少）が比較的大きく、営業損益は平成17年以降減少し、平成19年度は2.8千万の赤字、営業係数は108となっている。

図 営業収益・営業費・営業損益の推移



	営業収益		営業費		営業損益	営業係数
	年間(千円)	指数	年間(千円)	指数	年間(千円)	
平成5年度	565,826	100	610,510	100	-44,684	108
平成6年度	545,179	96	602,999	99	-57,820	111
平成7年度	543,649	96	606,340	99	-62,691	112
平成8年度	525,982	93	587,936	96	-61,954	112
平成9年度	492,008	87	522,974	86	-30,966	106
平成10年度	478,771	85	520,574	85	-41,803	109
平成11年度	462,385	82	509,641	83	-47,256	110
平成12年度	442,616	78	483,079	79	-40,463	109
平成13年度	417,689	74	464,451	76	-46,762	111
平成14年度	400,996	71	460,083	75	-59,087	115
平成15年度	386,705	68	420,729	69	-34,024	109
平成16年度	379,863	67	476,335	78	-96,472	125
平成17年度	380,727	67	460,182	75	-79,455	121
平成18年度	376,232	66	415,759	68	-39,527	111
平成19年度	365,388	65	393,464	64	-28,076	108

資料：鉄道統計年報

(2) 施設・設備の老朽化の現状

- 福井鉄道では、これまで全線において自動列車停止装置（ATS）、列車集中制御装置（CTC）を整備するほか、重軌条化、コンクリート枕木化などの整備を実施した。
- 一方、京福電鉄の事故を契機として、国が、全国の中小鉄道事業者に対し、第3者機関による鉄道施設等の「安全性緊急評価」を実施し、その結果、福井鉄道は改善の必要性を指摘された事項について、平成17年度から平成20年度にかけて「緊急保全整備事業」を実施し、道床交換による軌道道床の強化や日野川橋梁をはじめとした橋梁の改修に取り組み、今後の長期的な鉄道事業の継続のため、施設強度の向上に努めることとしている。

表 「安全性緊急評価」による福井鉄道における必要な対策

区分	必要な対策
軌道	道床交換（285m）
	分岐器の交換、（福井新駅 2組）
	軌道整備（継目落ち整正、バラスト補充 等）
	踏切の改修（武生新第1、西武生第1、第2等 8踏切）
橋梁	橋桁、塗装、橋台、橋脚の改修（日野川橋梁ほか 7橋梁）
	合成枕木化、重軌条交換（日野川橋梁、元三大師橋梁）
電気	連動装置の改良（10駅）、通信ケーブルの更新
車両	車両の連結化（600型）
	車両の修繕（ブレーキ弁・非常弁の交換、主抵抗器カバー取付）
	測定器の購入（圧力計測定器、フランゲージ測定器、絶縁試験器）

- 一方、軌道部は、敷設から50年以上経過し、自動車の乗入れや経年劣化により、路面、路盤が著しく損傷しており、車両の動揺が大きく、利用者に不快感を与えているとともに、都市景観を損ねている。
- 電停が流入部にあるため、右折車線と競合し、本来必要な幅員が確保されていない。
- 交差点部の軌道路面の著しい損傷により、自動車の安全な交通を阻害しており、福井鉄道のイメージを損なう原因となっている。

築50年以上経過し、老朽化の著しい軌道敷



裁判所前駅

右折レーンと競合するため、狭く危険な電停



公園口駅（電停幅75cm）

（3）福武線の整備状況

福井鉄道・福武線の平成17年度以降の整備状況は以下のとおりである。

表 福武線の整備状況（平成17年度～平成19年度）

年度	整備計画	整備内容	備考
17	車両の更新	低床車両 2両	L R T補助対象
	停留場の整備	ホームの切り下げ 17駅	L R T補助対象
	変電所	田原町駅 新設（福井新 廃止）	L R T補助対象
	車両の更新	小型車両 8両	再生計画
	軌道道床の硬質化	道床交換（一部近代化補助）	保全計画
	保安度の向上	終端駅・曲線部にA T S設置 10箇所	近代化補助対象
	分岐器交換	福井新駅 2箇所（重軌条化）	保全計画
	橋梁改修	元三大師 合成枕木・重軌条化	保全計画
18	車両の更新	小型車両 10両	再生計画
	交差点部軌道改良	裁判所前	
19	軌道道床の硬質化	道床交換	保全計画
	橋梁の改修	福武線全般の橋梁 橋桁・橋台・橋脚の補修 幸橋の改修	保全計画
	交差点部軌道改良	セーレン前、田原町	
	変電所の更新	江端変電所 1箇所	再生計画

2-2-4 これまでの利用促進に向けた取り組み

(1) 福井県

項目(事業名)	具体的な内容・実績及び成果
福井鉄道福武線活性化検討協議会の開催	福井県、沿線3市、福井鉄道、学識経験者、経済界、利用者からなる協議会を開催し、利用促進策、支援策等について検討
車両への更新	福井鉄道が行う低床車両等への更新及びホーム改修に対し、国、沿線3市と協調して支援
安全対策への支援	安全性緊急評価の結果を受けて実施する緊急保全整備事業やJR福知山線の脱線事故を受けて実施する急曲線対策などの安全対策やサービス改善に向けた設備整備に対して支援
定時性・安全性の確保	交差点において右折車が軌道敷内で停車しないよう対策を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・歩車分離方式信号の導入（東下交差点） ・右折誘導線、電車注意の標識 自動車の不陸が著しい交差点の改修 <ul style="list-style-type: none"> ・大名町交差点、新木田交差点
アクセス・乗り継ぎの改善	P & R用駐車場の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・浅水駅45台、水落駅80台

(2) 福井市

項目(事業名)	具体的な内容・実績及び成果
車両への更新	福井鉄道が行う低床車両等への更新に対し、国、県、鯖江市、越前市と協調して支援
田原町駅トイレ改修	平成16年に老朽化したトイレを更新して、RC建てのトイレを建設（県の補助金を活用）
イベント会場への福井鉄道無料利用券の作成及び参加者への配布	平成16年に福井市が行った「まちづくり全国交流大会」の会場であるフェニックスプラザへの参加者輸送のために、福井市で福井鉄道・えちぜん鉄道共通利用券を作成し、イベント参加者へ無料配布
ノーマイカーデー推進	沿線自治会、小・中学校、市職員に参加依頼 各種団体の会議、イベント等で要請
広報活動	福井鉄道が利用できるイベント、情報を市内LANで市職員へ周知
時刻表の配布	平成16年10月1日のダイヤ改正に伴い、周辺地区で時刻表の回覧
入場券付き一日フリー乗車券	一日フリー乗車券に市内公共施設の無料入場券をつける <ul style="list-style-type: none"> ・ふくい春まつりで養浩館、橘曙覧記念文学館、愛宕坂茶道美術館、自然史博物館の無料入場券
啓発用品の作成・配布	沿線3市でクリアファイルを6,000部作成、通勤通学者や福井鉄道関連行事で配布
無料レンタサイクル	平成17年6月11日よりレンタサイクルを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・浅水駅3台、福井新駅2台

(3) 鯖江市

項目(事業名)	具体的な内容・実績及び成果
駅施設の維持管理	トイレ及び駐輪場の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・西鯖江駅のトイレ清掃、修繕 ・上鯖江駅、西鯖江駅、神明駅、鳥羽中駅の駐輪場の維持管理
P & R の推進	水落駅駐車場の利用促進について広報誌などによる啓発を実施
コミュニティバスとの連携	現在運行されているコミュニティバス(低床バス4台、市内全域9路線)を市民の足としてさらなる利便性向上を図るため、福武線等との連絡をよりきめ細やかに設定できるよう検討
鯖江公共交通・観光振興市民の会の活動支援	利用促進に向けた乗る運動等の広報・イベントへの協力
市職員の利用促進・啓発	乗車区間フリー回数券を購入し、沿線地域へ出張の際に福武線を利用するよう周知 福井鉄道が利用できるイベント、情報を市内LANで市職員へ周知

(4) 越前市

項目(事業名)	具体的な内容・実績及び成果
市職員の利用促進	乗車区間フリー回数券を購入し、福井市内等へ出張時には福武線を利用
入場券付き一日フリー乗車券	たけふ菊人形の入場券と一日フリー乗車券をセットにして割安で販売 <ul style="list-style-type: none"> ・大人1,000円、中人700円、小人500円
児童・生徒の利用促進	保育園、幼稚園及び小学校の遠足に福武線利用を依頼 児童の体験乗車を実施
広報活動	福井鉄道が利用できるイベント、情報を市内LANで市職員へ周知
コミュニティバスとの連携	現在運行されているコミュニティバス(市民バス・のろっさ、市内全域11路線)を市民の足としてさらなる利便性向上を図るため、福武線等との連絡をよりきめ細やかに設定できるよう検討

2-3 沿線ニーズの把握

沿線の福武線の活性化に対するニーズ等を把握するとともに、福武線の利用促進を目的とする沿線住民及び主要事業所を対象としたアンケート調査を実施した。

(1) 沿線住民アンケート

- 対象：福武線沿線住民（配布5,554世帯、回収11,239人）
- 方法：サポート団体を通じた配布・回収
- 内容：福武線の利用状況
福武線のサービスに対する満足度・改善重要度
福武線の活性化策に対するニーズ（駐車場整備、バス結節改善、駅・電停の新設）
福武線の利用を促すための行動プラン

(2) 沿線企業アンケート

1) 従業員向け

- 対象：福武線沿線の主要事業所（配布35事業所、回収532人）
- 方法：沿線三市、サポート団体等を通じた配布・回収
- 内容：福武線の利用状況
福武線のサービスに対する満足度・改善重要度
福武線の活性化策に対するニーズ（駐車場整備、駅・電停の新設）
福武線の利用を促すための行動プラン

2) 企業担当者向け

- 対象：福武線沿線の主要事業所（配布35事業所、回収35事業所）
- 方法：沿線三市、サポート団体等を通じた配布・FAXによる回収
- 内容：事業所の概要
事業所の通勤状況や自動車通勤に対する方針

2-4 課題の整理

(1) 住民アンケート

- 福武線のサービスについて、「朝・夕の運行本数」「普通運賃」「駅の駐車場台数」「JRとの乗継ぎ利便性」「終発の時刻」等の改善が「非常に重要」と回答する割合が高く、これらのサービスの改善を図ることが重要と考えられる。
- 「朝・夕の運行本数」や「運賃」「電車の遅れ」等は利用頻度が高いほど改善要望が強い。
- 「駅の駐車場台数」は利用頻度が低いほど「非常に重要」と回答する割合が高く、パーク&ライドは利用頻度が低い利用者の整備要望が強い傾向がみられる。
- 福武線のサービス改善や各施策に対する意向、今回実施したモビリティ・マネジメントについてのアンケート結果の概要は以下のとおりである。

区分	項目	アンケート結果の概要
福武線のサービス改善について	ダイヤ	朝・夕の運行本数については、本数増・容量拡大による混雑緩和、急行列車の運行等のダイヤの見直しに対する意見が比較的多くみられた。
	運賃	運賃は、福武線と並行するJRと比べ高いことに対する不満が大きい。
	駅・電停・接続	車両の揺れや汚れ、老朽化などに対する不満の声が多い。
各施策について	駐車場の整備	利用する割合：46% 整備してほしい駅：神明、西鯖江、武生新、家久等
	駅へのバス路線の増便・新設	利用する割合：29% 整備してほしい駅：神明、西鯖江、武生新、浅水等
	駅・電停の移設・新設	利用する割合：25% 整備してほしい駅区間：ハーモニーホール～江端、西武生～家久、家久～上鯖江、三十八社～浅水等
モビリティ・マネジメント	通勤でのクルマ以外の交通手段の利用可能性	クルマ以外の交通手段の利用可能性：33%（利用できる） 福武線の利用可能性：16% 行動プラン記入率：40% 実行意図：77%（是非やりたい～少し思う）
	中心市街地へ出かける場合のクルマ以外の交通手段の利用可能性	クルマ以外の交通手段の利用可能性：39%（利用できる） 福武線の利用可能性：35% 行動プラン記入率：76% 実行意図：88%

図 福武線のサービスに対する改善重要度（沿線住民アンケート調査）

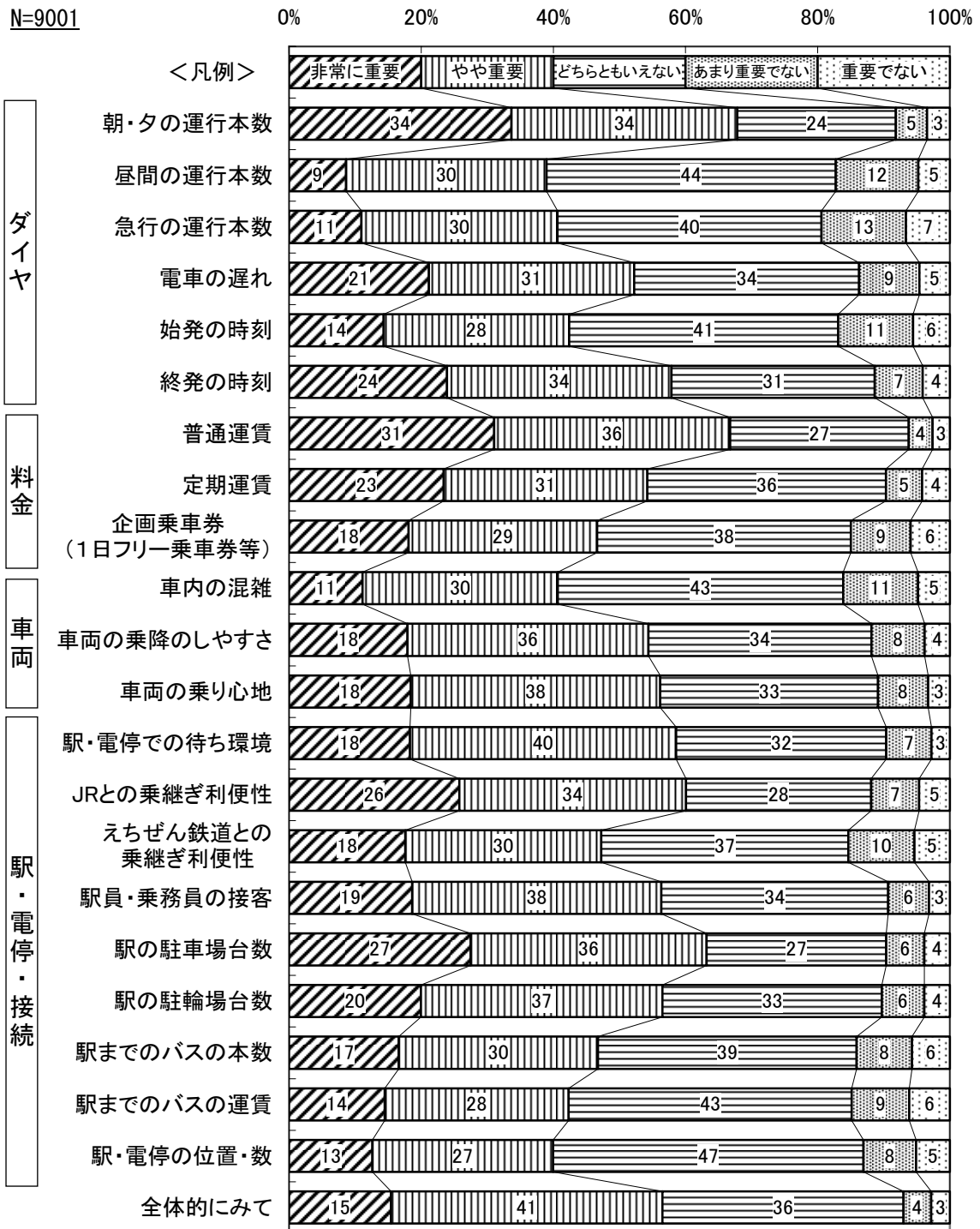
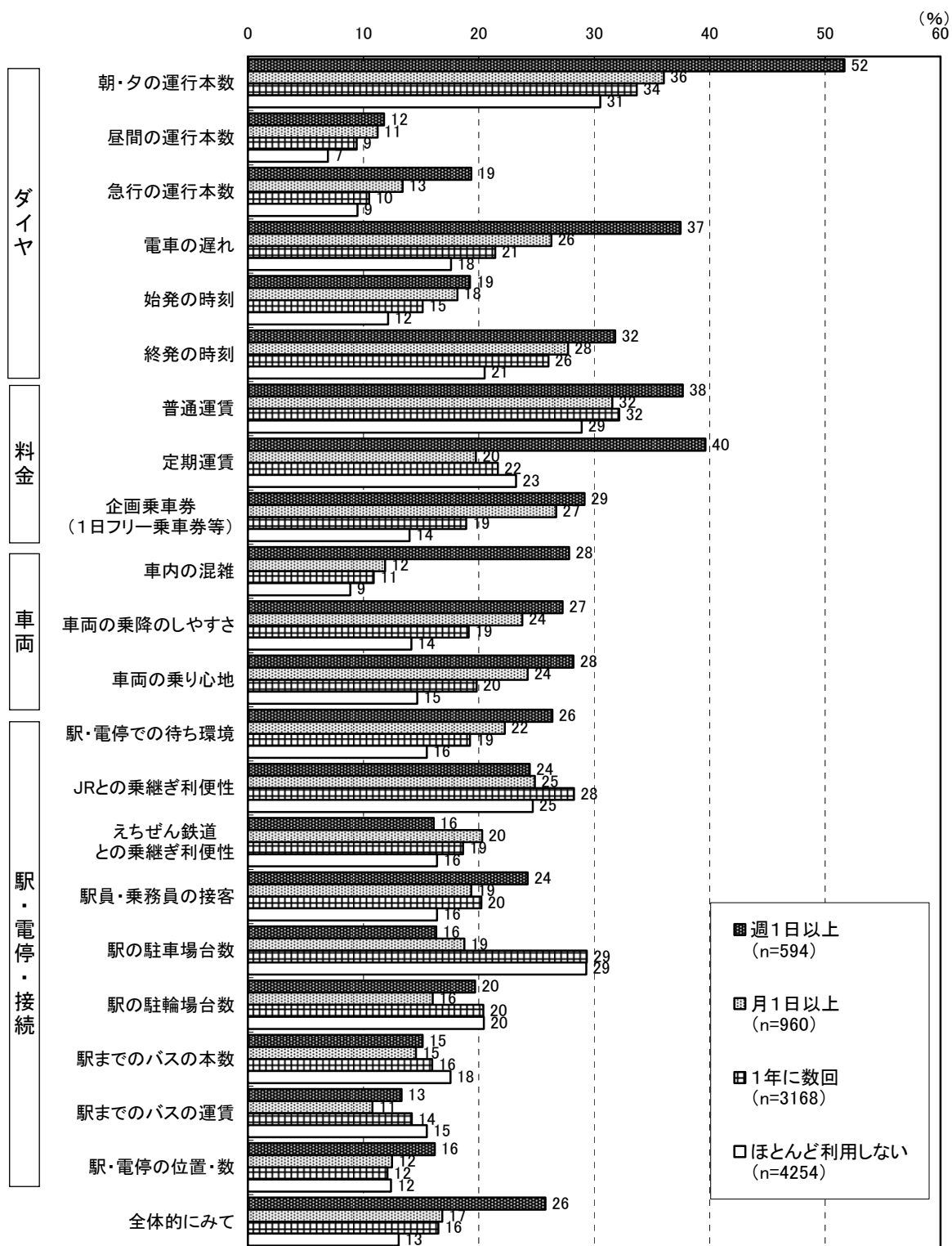


図 利用頻度別にみた「改善することが非常に重要」の割合

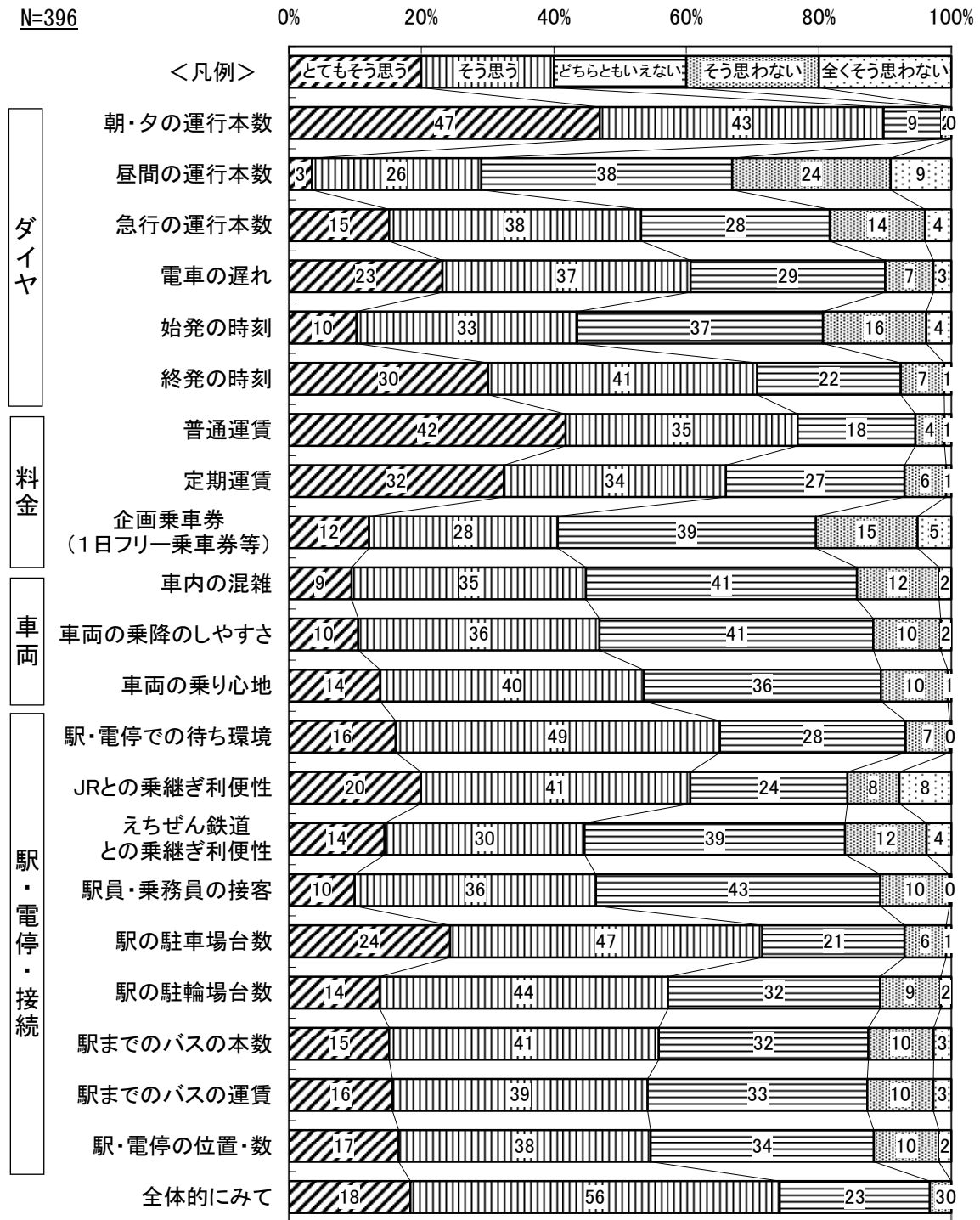


(2) 従業員アンケート

- 福武線のサービスについて、「朝・夕の運行本数」「普通運賃」「定期運賃」「終発の時刻」「駅の駐車場台数」等の改善が「非常に重要」と回答する割合が高く、これらのサービスの改善を図ることが重要と考えられる。住民アンケート結果と概ね同様の結果となっている。
- 通勤手段の利用、福武線のサービス改善や各施策に対する意向、今回実施したモビリティ・マネジメントについてのアンケート結果の概要は以下のとおりである。

区分	項目	アンケート結果の概要
通勤手段の利用	通勤手段の現状	自動車79%、自転車10%、徒歩3%、福武線3%、JR3%、バス1%
福武線のサービス改善について	ダイヤ	朝・夕の運行本数については、改善が非常に重要な割合が47%であり、住民の34%に比べ13ポイント高い。
	運賃	運賃は、福武線と並行するJRと比べ高いことに対する不満が大きい。
	駅・電停・接続	車両の揺れや汚れ、老朽化などに対する不満の声が多い。
各施策について	駐車場の整備	利用する割合：48% 整備してほしい駅：神明、西鯖江、武生新、家久等
	駅・電停の移設・新設	利用する割合：40% 整備してほしい駅区間：ハーモニーホール～江端、三十八社～浅水等
モビリティ・マネジメント	通勤でのクルマ以外の交通手段の利用可能性	クルマ以外の交通手段の利用可能性：26%（利用できる） 福武線の利用可能性：34% 行動プラン記入率：72% 実行意図：81%（是非やりたい～少し思う）

図 福武線のサービスに対する改善重要度（従業員アンケート調査）



(3) サポート団体からの提案

サポート団体からの提案を項目別に整理すると以下のとおりである。なお、類似する提案はまとめて表示した。

区 分	項 目	提案概要
安全対策 について	安全かつ快適な輸 送の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心（揺れ等）のための快適性向上（3） ・新車両の導入（2）
福武線の サービス 改善につ いて	ダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・終発時刻の繰り下げ（3） ・朝・夕の運行本数の増（2） ・急行本数の増 ・所要時間の短縮
	運賃	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃料金の改定（2） ・企画切符の拡充（2）
	駅・電停・接続	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎の改築（2） ・駐輪場の整備 ・サイクルトレイン ・駅までのバスの運行改善（2） ・駅アクセスの改善 ・えちぜん鉄道との相互乗り入れ
各施策に ついて	駐車場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク&ライド駐車場の整備（3）
	駅・電停の移設・ 新設	<ul style="list-style-type: none"> ・新駅の設置（2）
その他	利用促進等	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民等のマイレール運動 ・親子や子どもが参加する企画イベントの実施 ・沿線の既存イベントとの連携 ・魅力あるまちづくりの推進および商店街活性化 ・カーセーブ運動の取り組み強化・意識改革 ・福井鉄道の人材育成（2） ・市民への情報提供

（注）カッコ内は意見数、具体的意見は参考資料参照

(4) 課題の整理

アンケート結果、サポート団体からの提案等を踏まえ、福武線の主要課題を整理すると以下のとおりである。

1) 安全対策

- ・福武線については、線路、電気設備、橋梁等の施設の老朽化がみられ、安全で快適な運行が損なわれている。
- ・老朽化した施設の維持修繕、設備更新による安全・安定で快適な輸送の確保が課題

2) 福武線のサービス改善からみた課題

(ダイヤ)

- ・朝夕の運行本数の増加（急行運転の見直し）
- ・終電の繰り下げ

(運賃)

- ・利用者本位のリーズナブルな運賃体系の見直し
- ・企画切符の拡充

(駅・電停・接続)

- ・駅舎の改築
- ・車両更新
- ・パーク&ライド駐車場の整備
- ・自転車利用環境の整備
- ・駅までのバス接続改善
- ・JRとの乗り継ぎ利便性

3) その他利用促進

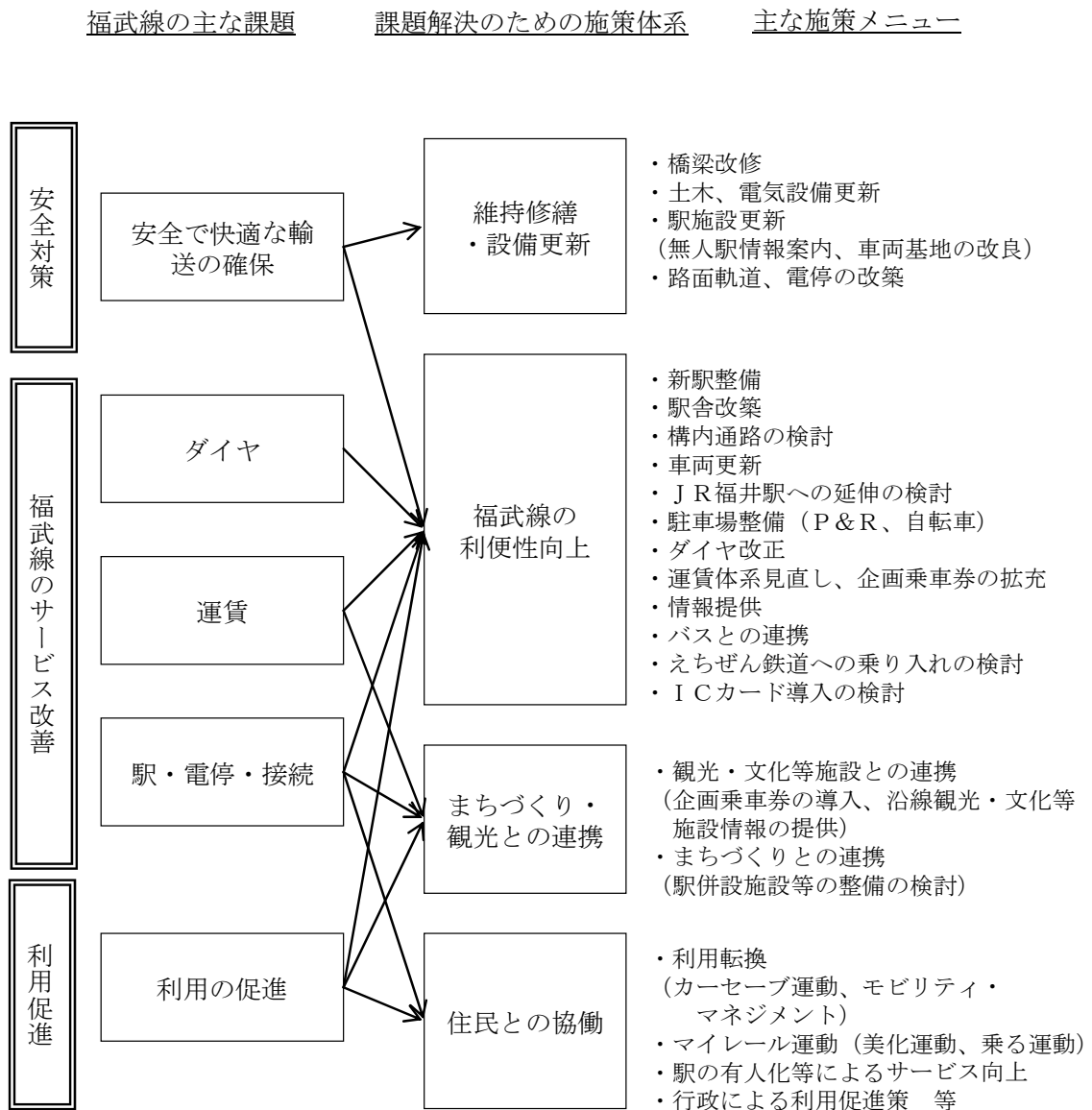
- ・沿線住民等のマイレール運動
- ・イベントの実施、既存イベントとの連携
- ・魅力あるまちづくりの推進
- ・カーセーブ運動の取り組み強化、意識改革
- ・情報提供の拡充 等

2-5 課題に基づく施策提案

(1) 施策の方向性

アンケート結果等を踏まえ、福武線の課題解決のために必要な施策の方向性を整理すると以下のとおりである。

図 施策の方向性（案）



(2) 施策メニューの提案

1) 維持修繕・設備更新

福武線については、線路、電気設備、橋梁等の施設の老朽化がみられ、安全で快適な運行が損なわれている。沿線住民アンケートにおいても電車の揺れの改善等に対する意見が多く、またサポート団体からも安全で快適な運行の確保に対する強い要請がある。そのため、地域の公共交通機関として、安全かつ安定した運行、乗り心地の改善等の対策を最優先で実施することが必要である。

施策	具体的な内容
橋梁改修	<p>○平成15年度に実施した安全性評価で、国から「緊急保全整備事業（H16～H20）による改修が必要と判断された日野川橋梁を抜本的に改修し、安全で快適な輸送の確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部工・下部工の改良 ・レール・マクラギ交換 ・架線柱の交換
土木設備更新	<p>○老朽化した土木設備を更新し、電車の揺れの改善等、快適で安全な運行を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道床交換 ・重軌条化（4.2km） ・分岐器重軌条化（16箇所）
電気設備更新	<p>○雷対策や運行の高度化に対応するため、老朽化した電気施設を更新し、安定的かつ快適な輸送を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継電連動装置の改良（10駅） ・通信ケーブルの改良（18km）
路面軌道・電停の改築	<p>○築50年以上経過し、老朽化の著しい路面軌道及び狭小な電停をバリアフリー化も含め改善することにより、走行・利用者の安全・快適化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路面軌道の改善 ・電停の改善

日野川橋梁（現状写真）



全景



橋梁腐食



橋台劣化

軌道部の状況（現状写真）

狭小で危険な電停



公園口駅（電停幅75cm）



木田四ツ辻駅（電停幅75cm）



裁判所前（電停幅75cm）



老朽化の激しい敷石軌道



福井駅前 整備済み電停

2) 福武線の利便性向上による利用促進策

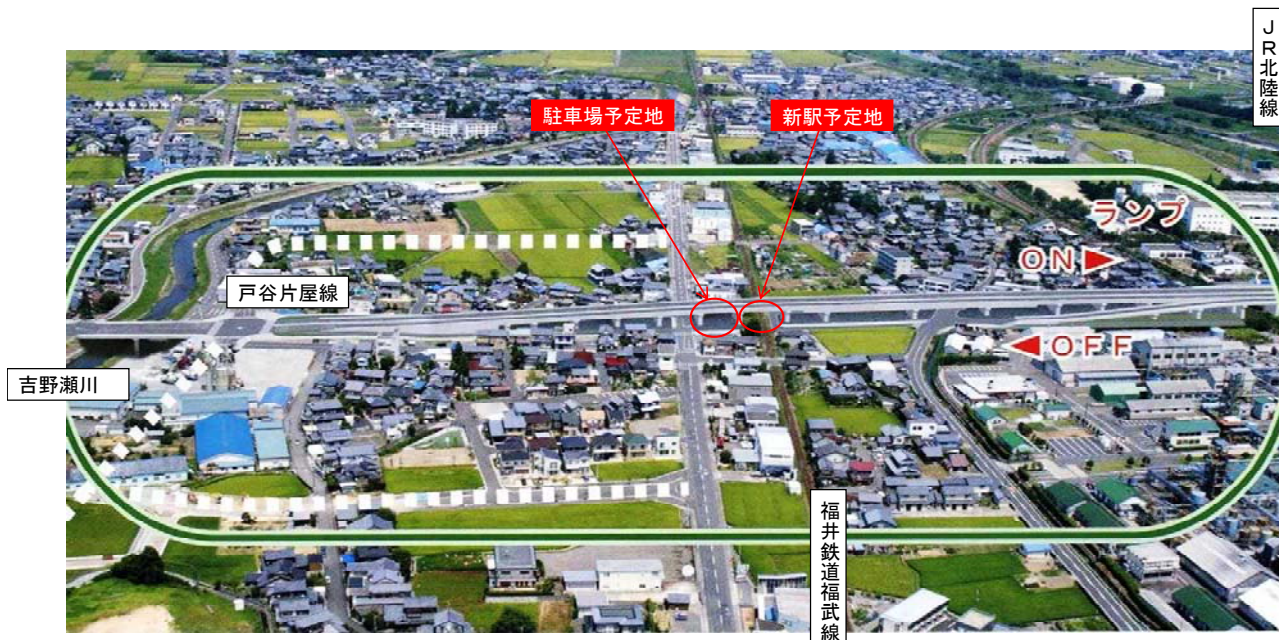
① 新駅の設置（4駅）

住民アンケート及びサポート団体からの提案を踏まえ、沿線からの要望の強い駅区間において、新規需要を掘り起こすため、新駅を設置する。

施策	具体的な内容
新駅の設置	<p>○新駅の設置（4駅）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武生駅～家久駅間 ・ハーモニーホール駅～江端駅間 ・三十八社駅～浅水駅間 ・家久駅～上鯖江駅間 <p>※福井鉄道・福武線の平均駅間距離は973m（営業キロ21.4km、駅数22駅）であるが、上記区間は、西武生駅～家久駅間（1.8km）、三十八社駅～浅水駅間（2.1km）、ハーモニーホール駅～江端駅間（1.7km）、家久駅～上鯖江駅間（1.7km）と駅間距離が長い上位4区間であり、沿線からの新駅設置の強い要望があった。</p>

□新駅（西武生駅～家久駅間）整備イメージ

都市計画道路戸谷片屋線高架下を活用し、新駅および駐車場を整備する。



戸谷片屋線完成イメージ図（戸谷片屋線パンフレットより）

② 駅舎の改築

現在の駅舎には著しく老朽化したものもあり、駅施設の老朽化によって福武線のイメージが低下している面もある。利用した人が引き続き利用したいと思うように車両だけでなく駅施設も快適な空間とすることが必要であり、地域に愛される駅として整備を図り、利用促進につなげる。

施策	具体的な内容
駅舎の改築	<p>○老朽化した駅舎の改築（13駅）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武生駅、家久駅（越前市） ・上鯖江駅、西山公園駅、水落駅、神明駅、鳥羽中駅（鯖江市） ・三十八社駅、江端駅、ベル前駅、花堂駅、福井新駅、田原町駅（福井市） <p>※武生新駅、西鯖江駅、浅水駅は改築済み、ハーモニーホール駅は平成9年開業</p>

駅舎の現状



西武生駅



家久駅



上鯖江駅



西山公園駅



水落駅



神明駅



鳥羽中駅



三十八社駅



江端駅



ベル前駅



花堂駅



福井新駅



田原町駅

③ 無人駅情報案内装置の整備

無人駅における利用者サービス向上を図るため、遅延情報の提供など、安心して快適な運行を行うため、無人駅において情報案内装置を整備する。

施策	具体的な内容
無人駅情報案内装置の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○無人駅情報案内装置の整備（無人駅） ・西武生駅、家久駅、上鯖江駅、西山公園駅、水落駅、鳥羽中駅、三十八社駅、ハーモニーホール駅、江端駅、ベル前駅、花堂駅

④ 車両基地の改良

現在、著しく老朽化した西武生駅にある車両基地を改良し、車両整備等の環境改善を図る。

施策	具体的な内容
車両基地の改良	<ul style="list-style-type: none"> ○車両基地の改良 ・西武生駅

⑤ 構内通路の検討

片側ホームの駅へのアクセス改善を図るため、構内通路の設置を検討する。

施策	具体的な内容
構内通路の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○構内通路の検討（例）ベル前駅

⑥ 車両更新

福武線においては、平成17～18年度に低床車両（2両）や小型車両（18両）を導入し、利用しやすい車両への転換を行ってきた。今後も年式の古い車両を、順次新型車両に更新し、安全で快適な運行を確保する。

施策	具体的な内容
車両更新	○車両の更新 ・新型車両の導入（4編成）



小型車両（床面の高さ80cm）18両導入済み



低床車両（床面の高さ42cm）2両導入済み



大型車両（床面の高さ115cm）4編成



（補助ステップで乗降）

⑦ パーク＆ライドの推進

パーク＆ライド駐車場については、現在、水落駅で80台、浅水駅で45台の県営駐車場が整備されている。カーセーブ運動や車通勤から電車通勤への転換を促進するため、住民アンケートやサポート団体からの要望を踏まえ、パーク＆ライド駐車場の整備を図る。また、整備に当たっては、駅周辺の遊休地の活用や、商業施設や公共施設との連携によってパーク＆ライド駐車容量の整備・確保を図る。

施策	具体的な内容																				
パーク＆ライドの推進	<p>○パーク＆ライドの推進 (候補駅)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武生駅、家久駅、上鯖江駅、神明駅、三十八社、ハーモニーホール駅、花堂駅、江端駅 等 <p>【パーク＆ライド駐車場の整備目標量(台)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>整備済</th> <th>整備予定</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福井市</td> <td>45</td> <td>128</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td>鯖江市</td> <td>80</td> <td>30</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>越前市</td> <td>0</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>125</td> <td>268</td> <td>393</td> </tr> </tbody> </table>		整備済	整備予定	計	福井市	45	128	173	鯖江市	80	30	110	越前市	0	110	110	計	125	268	393
	整備済	整備予定	計																		
福井市	45	128	173																		
鯖江市	80	30	110																		
越前市	0	110	110																		
計	125	268	393																		

(今後、整備予定の駐車場)

	駐車場	設置者	管理者	収容台数	料金	備考
福井市	商業施設	商業施設 サポート団体	商業施設	50台程度	無料 (買物券)	サポート団体が商業施設と連携
	ハーモニーホールふくい 駐車場	福井県	ハーモニーホール ふくい	48台	無料	公共施設との連携(試 行実験中)
	駅周辺遊休地 (花堂、江端)	協議中	福井鉄道	30台程度	無料	駅周辺の遊 休地活用
鯖江市	駅周辺遊休地 (上鯖江、神明、鳥 羽中、三十八社)	協議中	福井鉄道	30台程度	無料	駅周辺の遊 休地活用
越前市	新駅 駐車場 (西武生～家久)	福井県	越前市	20台程度 (将来40台 程度)	無料	道路高架下 の活用
	西武生駅 駐車場	協議中	協議中	70台程度	無料	駅周辺の遊 休地活用
合計				268台程度		

**ハーモニーホール駅を使って
福鉄電車で通勤しよう！**

**福井鉄道ハーモニーホール駅に
パーク&ライド駐車場ができました**

平成20年10月より、ハーモニーホールふくいの駐車場は、福井鉄道ハーモニーホール駅をパークアンドライドで利用する方も利用できるようになります。
福井鉄道の定期券または回数券をお持ちであれば**無料**です！是非ご利用ください。

位置図

約150m

お申し込み、お問い合わせは...
ハーモニーホールふくい事務局
電話：0776-38-8280

時刻表

福井方面 → 福井市内まで15分
6:39 7:09 7:30 7:43 8:04 8:37 9:06 以降20分間隔で運行

武生方面 → 鯖江市内まで20分、越前市内まで30分
6:34 6:58 7:37 8:09 8:17 8:42 9:01 以降20分間隔で運行



上鯖江駅周辺 遊休地を活用したP & R駐車場の整備



西武生駅 遊休地を活用したP & R駐車場

⑧ 駐輪場整備、レンタサイクルの拡充

駐輪場については、多くの駅で整備されているものの整備水準に差があることから、十分なスペースの確保と合わせて上屋の整備などより利用しやすい駐輪場にしていくことが必要である。また、放置自転車を活用したレンタサイクルの拡充を図り、福武線利用者の拡大を図っていく。

施策	具体的な内容
駐輪場整備、レンタサイクルの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○駐輪場の整備 ○レンタサイクルの拡充（武生新、神明、浅水、福井新駅で実施）

⑨ 運行本数の増便

住民アンケートで改善要望が最も高い「朝夕の運行本数」については、急行運転の見直しによって現在普通駅における運行本数を増便する。

なお、急行の運行本数の増便を要望する意見もみられたが、住民アンケート結果から、利用頻度が高い利用者ほど、「急行の運行本数」より「朝夕の運行本数」の改善要望が非常に大きいことから、朝夕の運行本数の確保を重視する。

施策	具体的な内容
ダイヤ改正	<ul style="list-style-type: none"> ○普通駅における運行本数の増便 <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕のピーク時間帯における急行運転の見直しによって、普通駅における運行本数を確保 (参考：現在の朝ピーク時運行本数) ・急行停車駅：ピーク時6本/時 ・普通停車駅：ピーク時3本/時

⑩ 終電の繰り下げ

住民アンケートで比較的改善要望が高い「終電の繰り下げ」について、現在21～22時台の終電を繰り下げし、利用者利便性の向上を図る。

施策	具体的な内容
ダイヤ改正	<ul style="list-style-type: none"> ○終電の繰り下げ <ul style="list-style-type: none"> ・現在21～22時台の終電を繰り下げし、利用者利便性の向上を図る。 (参考：現在ダイヤ) ・武生新発下り（田原町方面行） 終電21:50 ・田原町発上り（武生新方面行） 終電22:10

⑪ 運賃体系の見直し

住民アンケートで改善要望が高い「運賃」については、利用者本位のリーズナブルな運賃体系に改善する。

施策	具体的な内容				
運賃体系の見直し	<p>○運賃体系の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑な運賃体系の簡素化 ・初乗り運賃の見直し ・高齢者割引制度の導入 等 <p>(参考：えちぜん鉄道との運賃比較)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>福武線</th> <th>えちぜん鉄道</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田原町～福井駅前 180円 (福井市内区間・初乗り区間)</td> <td>田原町～福井 150円 (初乗り区間)</td> </tr> </tbody> </table>	福武線	えちぜん鉄道	田原町～福井駅前 180円 (福井市内区間・初乗り区間)	田原町～福井 150円 (初乗り区間)
福武線	えちぜん鉄道				
田原町～福井駅前 180円 (福井市内区間・初乗り区間)	田原町～福井 150円 (初乗り区間)				

⑫ 企画切符の拡充

学生や高齢者など利用頻度の高い利用者向け、観光客・イベント対応などの各種企画乗車券・定期券の拡充を図る。

施策	具体的な内容
企画切符の拡充	<p>○企画切符の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日昼間割引の拡充（昼間割引回数券は導入済み） ・1日フリー乗車券の拡充（バスと電車の連携等） ・法人無記名定期券の導入

⑬ 遅延情報の提供

住民アンケートでは利用頻度の高い利用者ほど「電車の遅れ」に対して高い改善要望がみられた。そのため、増便による混雑緩和や運賃体系の簡素化等によって遅れを改善するとともに、利用者心理の面から、駅で遅延情報を提供することによって、利用者利便性の向上を図る。

施策	具体的な内容
遅延情報の提供	<p>○遅延情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅延情報の提供による利用者利便性の向上 <p>※無人駅情報案内装置の整備参照</p>

⑭ 広報・営業活動の拡充

広報活動の基本となる時刻表の配布を拡充するとともに、各種企画切符等の広報・営業活動を拡充し、認知度向上とともに利用拡大を図る。

施策	具体的な内容
広報・営業活動の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○広報・営業活動の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・福武線時刻表の配布拡大 ・企画切符等の広報拡充 (実施例) 福井鉄道感謝祭 ※平成20年は11月9日開催 <ul style="list-style-type: none"> ・電車ですごろくゲーム（小学生対象） ・電車の運転体験（小学生対象） ・誠市・ご縁市・寺deラテ・越前ぶらりツアー・府中園遊会と福鉄電車のコラボレート ・福鉄グッズ・鉄道・車両部品の展示・販売

⑮ バスとの接続改善

主要駅を中心とし、路線バスやコミュニティバスとの連携を強化し、交通結節の改善による利便性向上を図る。

施策	具体的な内容
バスとの接続改善	<p>○バスの接続改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスとの連携 ・主要団地等からのアクセス確保（浅水駅等） ・駅を中心とした循環型路線の検討（ベル前駅等） ・イベント時における臨時便運行（上鯖江駅～サンドーム間等）

（主なバス結節駅）



武生新駅・バス停留所



西鯖江駅・バス停留所（つつじバス）



神明駅・バス停留所（つつじバス）



福井駅前・バス停留所（すまいるバス）



サンドームイベント時の上鯖江駅の状況

⑩ 他の鉄道との接続の検討

施策	具体的な内容
他の鉄道との接続の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○ えちぜん鉄道への乗り入れの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 田原町駅を經由し、えちぜん鉄道三国芦原線への直通運転の検討を行う。 ○ J R 福井駅への延伸の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ J R 福井駅西口駅前広場拡張に合わせ、J R 福井駅まで線路延伸の検討を行う。

⑪ I Cカード導入の検討

施策	具体的な内容
I Cカード導入の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○ I Cカード導入の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り継ぎ等、更なる利便性の向上を図るため、I Cカード導入の検討を行う。

3) まちづくり・観光との連携による利用促進策

① 観光・文化等施設との連携

沿線に立地する観光・文化等の施設や、地域イベントと連携し、企画乗車券やイベント列車の運行等を行い、利用促進を図る。

施策	具体的な内容
観光・文化等施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○企画乗車券の導入（入場券付き1日フリー乗車券等） （実施例） <ul style="list-style-type: none"> ・たけふ菊人形の入場券と1日フリー乗車券をセット販売 ・路面電車サミット2008福井大会開催記念1日フリー乗車券を発売 ・福鉄電車で湯ったり温泉めぐり（入浴料の割引） ○ショッピングセンター等との連携 ○イベント列車の運行 （実施例） <ul style="list-style-type: none"> ・ビア電 ・若者の出会いの場、ラブ電車 ・福井春祭りさくら電車 ○沿線観光・文化等施設情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレット等

恋特急「ラブ電」



平成20年3月15日、電車を利用しての出会いの場イベント「恋は電車に乗ってやってくる、ラブ電」が、福井鉄道「福武線」の越前市武生新駅から福井市田原町駅間を、独身男女など75名を乗せて走った。この電車は、越前市の後援と、越前市出会いの場創造事業補助金を受け、「ラブ電」実行委員会が主催。協力10団体と数多くの個人協力、市民参加の中で実現したもので、当日は午後4時半にチラシヤマスコミ、実行委員会の呼びかけなどで公募した独身男女それぞれ30名（合計60名）と実行委員会スタッフ15名が乗車し、男女の出会いの場が創出された。



福井春祭りさくら電車

② まちづくりとの連携（駅併設施設等の検討）

駅利用者の利便性を向上させる施設を駅に併設するなど、人が集まる駅を核としたまちづくりによって、利用促進を図る。

施策	具体的な内容
まちづくりとの連携	○ 駅併設施設等の検討 例) 店舗、託児施設 等



西鯖江駅 1階が駅、2階が桜町公民館「さくらんぼ会館」

4) 住民・行政との協働による利用促進策

① カーセーブ運動

福井県では、クルマから排出されるCO₂（二酸化炭素）が地球温暖化など環境に悪影響を及ぼしていることに注目し、クルマの利用をできるだけ控え、代わりに、CO₂排出量の少ない公共交通機関や自転車の利用する「カーセーブ」を推進している。

特に、第2、第4金曜日を「カーセーブデー」とし、県下一斉の運動日としている。現在、「カーセーブ」の趣旨に賛同した約120社（平成20年9月現在）の企業・団体が参加している。また、福井鉄道の昼間回数券が使用できることにより連携を図っている。

施策	具体的な内容
カーセーブ運動	<p>○カーセーブ運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成11年度から実施していたノーマイカーデー（毎月1日・16日）を、平成20年度からカーセーブデー（毎月第2・第4金曜日）の取組みへ拡大 ・福井鉄道の昼間回数券が利用可能（昼間回数券） <p>金額：利用区間の普通運賃10倍の値段で13枚綴り（普通回数券は11枚）</p> <p>利用：平日の10時～16時、土曜日・日曜日・祝日及び指定日、「カーセーブデー」には終日利用可</p>

② モビリティ・マネジメント

モビリティ・マネジメントとは、住民等に対し、公共交通の利用が環境、健康、安全等に好影響をもたらすことや、公共交通の便利な利用方法等を効果的に情報提供することにより、交通行動をマイカーから公共交通利用へ自発的な転換を期待するコミュニケーションを中心とした交通施策のことである。

住民及び従業員アンケート結果から、福武線沿線住民の通勤交通、中心市街地へ出かける場合、沿線企業へ通勤する従業員についての、クルマ以外の交通手段の利用可能性やその実行意図が確認された。今後は、住民に対しては継続的な利用のPRや啓発、及び交通情報（時刻表等）の提供を行うことが重要である。また、企業に対しては、従業員へのPR・啓発とあわせ、企業の通勤制度の見直しなどの働きかけを行っていく必要がある。

施策	具体的な内容
モビリティ・マネジメント	<p>○モビリティ・マネジメントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民への働きかけ（利用PR、啓発、交通情報の提供） ・企業への働きかけ（利用PR、啓発、通勤制度の見直し要請） <p>例）公共交通運賃の全額支給 マイカー利用の許可基準の設定 等</p>

③ マイレール運動等

福武線においては、各種支援団体による「駅の美化運動」「乗る運動」等のマイレール運動が展開されており、引き続き、福井鉄道、沿線市、サポート団体が連携を図りながら持続的な運動を展開する。

施策	具体的な内容
マイレール運動等	<ul style="list-style-type: none"> ○住民による駅の美化運動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の身近な駅として地域住民等が清掃活動や花いっぱい運動を実施する。 ○住民、サポート団体等による乗る運動 <ul style="list-style-type: none"> ・町内の集会、会議、イベント開催時等に福武線を積極的に活用する。 ○サポート団体によるパーク&ライド駐車場設置 <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設等と連携したパーク&ライドの実施 ○駅の有人化等によるサービス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア駅長 ○行政による利用促進政策 <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関への関心を高め、地域における公共交通機関の果たす役割や重要性を学習することを目的とした、行政利用促進策の展開（実施例） ・福武線利用促進補助事業の活用 <ul style="list-style-type: none"> 小学生以下の児童等を対象に福武線利用により野外学習等を行う事業に対し運賃の一部を助成する。 ・福鉄電車で鯖江街中ハイキング 等

【住民による駅の美化運動】



(鯖江市西山公園駅美化運動)

8/20 読売新聞

家久駅地域で整備

越前市・吉野地区

経営再建問題に揺れる福井鉄道を地域で支援しようと、越前市の吉野地区自治振興会は、地区内にある福鉄福武線の家久駅で、駐輪場を駅舎に隣接して設けるといった整備計画を進めている。

吉野地区は鯖江市と接する越前市北部にあり、人口は約7600人。福鉄と並行してJR北陸線が走っているが、地区内にはJRの駅がないため、家久駅は地区唯一の鉄道



駐輪場の移転といった整備計画が進められている家久駅（越前市で）

防犯灯設置や駐輪場移設

駅として通勤や高校生らの通学などで利用されている。70年以上前に建てられたという木造の駅舎はレトロな雰囲気だが親しまれているが、照明が少ないため、防犯面での課題が指摘されていた。整備計画では、駅の南約10分の場所にある駐輪場を駅舎南隣に移し、防犯のために照明を設ける。予算は90万円、市の地域自治振興事業の特別事業に採択されたため、60万円の交付金を受けける。整備事業を提案した長谷川淳一・家久町区長は「家久駅は地区にとって今後もなくはない場所。今使っている人だけの問題ではない」としており、福鉄鉄道部は「ありがたい話。少しでも良くなるよう、整備事業に協力したい」としている。

(家久駅 地域住民が整備)

【行政による利用促進策】

(福井鉄道福武線利用促進野外学習等事業補助制度 (鯖江市))

平成20年5月



福井鉄道福武線利用促進野外学習等事業補助制度の創設について

1 目的

福武線沿線の本市および福井市・越前市域の小学校低学年以下の児童等を対象に、福武線利用により野外学習等を行う事業に対し運賃の一部助成を行い、利用促進に繋げるとともに、公共交通機関への関心を高め、地域における公共交通機関の果たす役割や重要性を学習することを目的とする。



2 補助金交付対象団体等(別表第1)

対象団体	対象事業
福井鉄道福武線の沿線の本市および福井市、越前市域に所在する保育所、幼稚園、小学校(第1学年および第2学年に限る。)、子ども会その他の児童などにより構成される団体(ただし、児童は5人以上とする。)	1 福武線を利用し、本市内、福井市または越前市内から鯖江市内の自然、歴史および伝統などの体験または見学を行う事業
	2 福武線を利用し、本市内に所在する保育園、幼稚園または小学校と交流を行う事業
	3 福武線を利用し、本市内から福井市および越前市への観光地および公共施設等で体験学習を行う事業

3 補助対象経費等

補助対象経費	補助率	補助金の限度額
別表第1の対象事業における児童および引率者の鉄道運賃	1/2以内	1人あたり390円

4 問い合わせ

鯖江市商業観光課観光交通グループ Tel 0778-53-2230 Fax0778-51-8153



3. 福井鉄道福武線の再建について

3-1 再建方向について

福井鉄道福武線の再建方向について、「福井鉄道福武線協議会」において以下のとおり確認された。

平成20年5月22日 第7回福井鉄道福武線協議会で確認

福井鉄道福武線の再建方向について

1 福武線運行の基本方針

会社自らの再建努力に加え、関係者からの支援を得て、福井鉄道が福武線の運行を継続する。

2 累積債務の圧縮方法

福井鉄道の抱える累積債務を、名古屋鉄道および行政の支援により極力圧縮するとともに、金融機関の協力を得て、健全な財務状況に戻していく。

債 務	対 応 策
福井銀行	資産取得 約12億円
福邦銀行	名古屋鉄道による増資 約10億円
中小企業金融公庫等	銀行債権の償却 約6億円 (財産処分等)
計 約28億円	計 約28億円

3 将来10年間の経費負担の考え方

福武線の存続を図るため、地域鉄道に対する国の支援の動向やえちぜん鉄道の存続スキーム等も踏まえ、県と沿線3市で支援内容と負担のあり方を検討

項 目	支 援 額
設備更新関係 (国庫約10億円を含まず)	約21億円
維持修繕関係	約12億円

3-2 再建手法（重要な資産の譲渡による事業構造の変更）

福武線の今後の事業運営方式は以下のとおりであり、「鉄道事業者による経営の改善」「地域の支援」、及び「重要な資産の譲渡」の取り組みによって、事業の再構築、利用促進を図ることとなった。

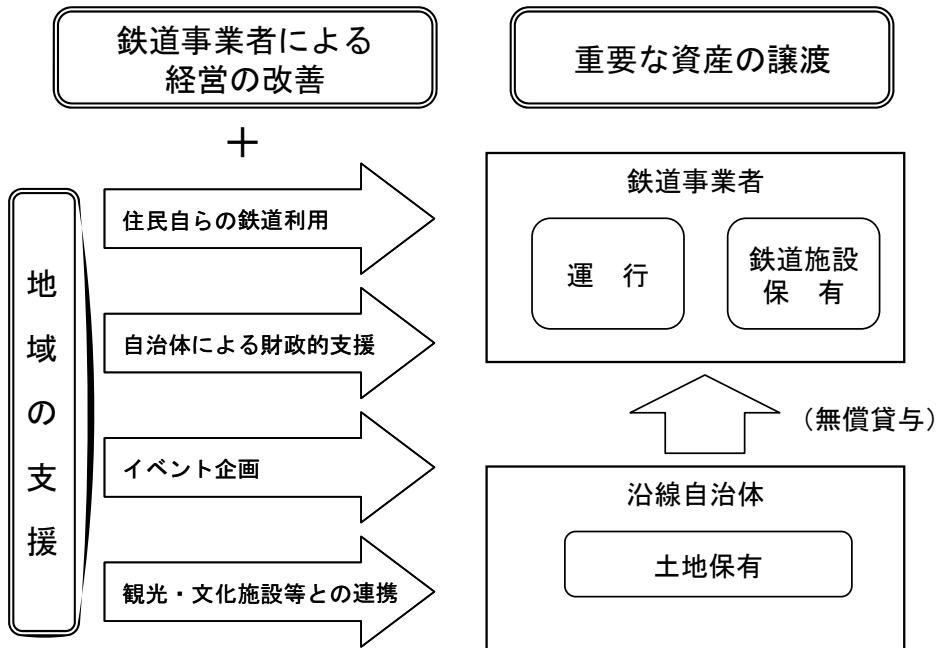


図 福井鉄道福武線の再建手法

□ 事業構造の変更

沿線自治体が土地等の重要な資産を保有して鉄道事業者の負担を軽減すること等によって事業構造の変更を行い、事業の再構築を図る。

□ 鉄道事業者による経営の改善

鉄道輸送の維持に向け、鉄道事業の最大の使命である輸送の安全を確保した上で、運賃改定や経費節減努力をはじめとする経営合理化策はもとより、利用者のニーズを反映した運行ダイヤ改善や車両更新、駅機能の高度化等、利用促進のためのサービス改善に向けた取り組みを行うことによって増収を図ること等により、経営改善を図っていく。

□ 地域の支援

地域は、設備投資や維持修繕等に対する財政的支援の他、コミュニティバスやパーク&ライド等のアクセス改善、また、住民による利用促進、観光・文化施設等との連携による利用促進策等、様々な取り組みを実施する。

4. 課題解決のための具体的施策について

4-1 基本方針

【基本目標】

「地域に親しまれ共に歩む鉄道」の実現

福井鉄道福武線は、通勤、通学、通院、買い物など日常生活に不可欠な地域住民の足として、貴重な公共交通としての役割を担っている。沿線にはイベントホールなどの公共施設や、多数の観光地も立地しており、県内外からの来訪者にも利用されており、地域活性化の一翼も担っている。また、地球環境問題が深刻化する中、環境にやさしい交通手段として、鉄道の社会的資産としての価値が見直されている。

しかしながら、近年、鉄道事業の経営は非常に苦しくなり、平成19年9月に福井鉄道株式会社は、福井県、福井市、鯖江市、越前市に対し、福武線存続のための協議の場の設置について要請し、同年11月に福井県を中心として福井鉄道福武線協議会が設置された。この協議会において、平成20年5月22日には、福武線の再建方向を確認した。また、この間沿線三市住民の間では、福武線存続への熱意が高まり各市に福武線のサポート団体が結成された。

このような中、福井鉄道福武線協議会で示された福武線の再生と活性化への取り組みを確実に実施していくため、沿線三市は、行政、サポート団体、事業者で構成する福井鉄道福武線活性化連携協議会を設置した。

本協議会では、沿線住民や企業のアンケートも実施しながら、住民の目線にたった、新しい福井鉄道の経営計画を住民や行政がどのように支援していくかについて検討し、今後10年間の具体的な設備投資計画や利用促進策をまとめた。

福武線を残していくためには、全ての住民が、福武線は地域の貴重な財産であり、まちづくりに必要不可欠なものであることを認識し、一人でも多くの住民が積極的に福武線を利活用していくことが重要であり、「地域に親しまれ共に歩む鉄道」として、福武線の活性化と再生に向け、福井鉄道、行政、住民が力を結集し、地域全体で支えていく仕組みを構築することを目標とする。

【主要施策】

1. 福井鉄道福武線の経営改善

(1) 基本理念

①安全性・安定性の確保

- ・公共交通機関として、安全かつ安定した運行に取り組み、「誰もが」「いつでも」「安心」して利用できる環境を整備する。

②地域への貢献

- ・高齢者や学生など「車を利用しない人」「出来ない人」にやさしい公共交通機関にする。
- ・教育現場との連携を深め、社会見学や職場体験を通して地域に密着した鉄道・バスの必要性をアピールする。
- ・沿線地域のイベント等との連携を深め、地域振興に貢献する。

③営業戦略の強化

- ・沿線支援団体との連携を強化し、「福鉄に乗る運動」を展開する。
 - ・利便性を向上するためにパークアンドライドの推進や駐輪場の整備を行う。
 - ・利用者の利用動向を分析し、利用しやすい企画乗車券等の整備を図る。
- ④地球温暖化問題への貢献
- ・環境にやさしい公共交通機関としてエコ活動に貢献する。
- ⑤健全性の確保
- ・公共交通機関の担い手として健全性を確保するため、業務の合理化・効率化に努めるとともに財務体質の向上を目指す。

(2) 鉄道用地取得を伴う行政の支援

福井鉄道福武線協議会で確認された福井鉄道福武線の再建方向に基づき、沿線三市が福武線の鉄道用地を取得し、福井鉄道の債務の軽減を図り、福井鉄道の財務体質の向上を図る。また、この用地を福井鉄道に無償貸与することにより、公租公課負担の軽減が図られることにもなり、金利の軽減ともあいまって収益の向上が図られる。

この鉄道用地の取得にあたって沿線三市は、鉄道が三市にとって共通の重要な社会的資産であるとの認識にたち土地を共有する。

さらに、今後10年間の設備更新にかかる費用を県が支援し、また維持修繕費を沿線三市が支援することにより、福武線の継続をより一層確実なものにする。

(3) マイレールとしての住民支援

福武線がマイレールであるとの認識のもと、三市に結成された福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会、福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議、越前市・福武線を応援する連絡協議会の三市サポート団体は、サポート団体相互に連携するとともに福井鉄道、行政とも連携しながら、さまざまな「乗る運動」を展開していく。また、駅舎美化運動、サポート団体自身によるパーク&ライド駐車場設置の検討、駅舎改善の検討など福武線を側面から支えていく。

2. 安全対策

福井鉄道は、安全性・安定性の確保を経営の基本理念の第一に掲げており、県及び沿線市も、一定の期間、福井鉄道が必要とする設備更新や維持管理にかかる費用を負担し、安全輸送の確保を図る。

3. 利用促進に関する施策

福井鉄道、県、沿線市、サポート団体は、他の公共交通機関等との結節強化、まちづくり・観光との連携、住民・行政との協働による利用促進など様々な取り組みを実施する。

- (1) 他の公共交通機関等との結節強化による利用促進策
- (2) まちづくり・観光との連携による利用促進策
- (3) 住民・行政との協働による利用促進策

【連携計画実施主体】

福井鉄道株式会社

福井県

沿線3市（福井市、鯖江市、越前市）

サポート団体

- ・ 福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会
設立：平成20年5月29日
会長：加畑一三（福井市自治会連合会会長）
- ・ 福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議
設立：平成20年5月24日
会長：斉藤啓介（鯖江市区長会連合会会長）
- ・ 越前市・福武線を応援する連絡協議会
設立：平成20年5月24日
会長：大柳 登（越前市区長会連合会会長）

4-2 計画の区域

福井市、鯖江市、越前市の福井鉄道福武線沿線

4-3 計画の目標

主要施策の実施により、平成29年度において、年間200万人台の輸送人員の確保を目標とし、財務の健全化（収支均衡）を図り、将来にわたり安全で安定した運行を継続する。

（平成19年度）年間161万人⇒（平成29年度）年間200万人台

4-4 目標を達成するために行う事業及びその実施主体等

【鉄道事業再構築事業】

I 旅客鉄道事業の経営の改善に関する事項

1 安全対策の強化

行政の支援を得て老朽化した設備を更新し、快適で安全な運行を確保する。

- （1）設備更新の充実（実施主体：福井鉄道、福井県）
- （2）維持修繕の充実（実施主体：福井鉄道、沿線3市）

2 営業の強化と利便性向上（ソフト面）

- （1）運賃全般の見直し
 - ・ 企画乗車券の充実（実施主体：福井鉄道）
 - ・ 高齢者割引制度の導入（実施主体：福井鉄道）

- ・運賃体系の見直し（実施主体：福井鉄道）、等
- (2) 地域との連携
 - ・沿線サポート団体等との連携強化（実施主体：福井鉄道、サポート団体）
 - ・地域イベントとの連携強化（実施主体：福井鉄道、沿線3市）
 - ・カー・セーブデーの推進（実施主体：福井鉄道、福井県）
 - ・法人利用の促進（実施主体：福井鉄道）、等
- (3) 利便性向上
 - ・終電の繰り下げ（実施主体：福井鉄道）
 - ・急行運行の見直し（実施主体：福井鉄道）、等
- (4) サービス向上
 - ・社員のマナー、接客サービスを再度徹底するなど、利用者本位のサービス提供に努め、地域に親しまれる鉄道を実現する。（実施主体：福井鉄道）
 - ・駅舎改築、車両の更新等サービス向上のための設備の充実（実施主体：福井鉄道、福井県）

3 利便性向上（ハード面）

(1) 駅の新設

沿線の宅地化や商業施設の郊外化が進んでいる状況に鑑み、住民ニーズ等を踏まえた新駅を設置し、新たな需要を開拓する。（実施主体：福井鉄道、福井県）

《設置予定》 4箇所

(2) パークアンドライド駐車場の新設・増設

パークアンドライドの拠点を整備・強化することにより、通勤や買物などでの車を併用した電車利用を促進する。（実施主体：福井鉄道、福井県、サポート団体）

《設置予定》

- ・行政支援による設置（4箇所）
- ・地域連携による設置（1箇所）
- ・その他福井鉄道自社整備による設置（6箇所程度）

II 市町村その他の者による支援の内容

1 沿線3市による鉄道用地の取得、保有

沿線3市が、県の支援を受けて平成20年度末までに福井鉄道から鉄道用地を取得し、同社に無償で貸し付ける「上下分離方式」へ転換することにより、鉄道事業者の負担を軽減し、鉄道の安定運行に資する。

これにより、福井鉄道の鉄道用地保有に係る固定資産税・都市計画税の負担軽減を図るとともに、用地売却代金を借入金返済に充当し、支払利息を軽減さ

せる。

※沿線3市は、地方自治法第96条第1項第6号の規定に基づき、各市議会において鉄道事業者への無償貸付に係る議決を得る。

2 県および沿線3市による設備更新、維持修繕費用に対する支援

(1) 設備更新費への支援（平成29年度まで）

レール、枕木、道床交換や車両更新等の設備更新に係る経費で、本来鉄道事業者が負担すべき経費を県が補助することにより、鉄道事業者の負担を軽減し、鉄道の安定運行に資する。

(2) 維持修繕費への支援（平成29年度まで）

線路保存・電路保存に係る経費や鉄道資産に対する固定資産税等に対し、沿線3市が一定額を補助することにより、鉄道事業者の負担を軽減し、鉄道の安定運行に資する。

3 利用促進策への支援

(1) 新駅設置、P&R駐車場新設・増設にかかる支援

- ・県が、新駅設置にかかる経費を補助する。（4箇所予定）
- ・県が、道路事業等によりP&R駐車場を整備する。（3箇所予定）
- ・県有施設の駐車場を活用したP&R駐車場を設置する。（1箇所予定）

(2) 遠足等の利用促進支援

- ・沿線3市が、福武線利用による児童・幼児を対象とした野外学習等を行う事業に対し運賃の一部助成を行うことにより、電車の利用促進を図るとともに、公共交通機関への理解と関心を高める。

(3) カー・セーブデーによる意識醸成

- ・県が中心となり、毎週金曜日に過度の車利用を控え、公共交通機関による通勤等を促す「カー・セーブデー」の推進を図ることにより、沿線企業や市町の参加の下、公共交通機関に対する意識醸成と利用の促進を図る。

(4) 地域のマイレール運動等

- ・駅の美化運動（実施主体：福井鉄道、沿線3市、サポート団体）
- ・乗る運動（実施主体：福井鉄道、沿線3市、サポート団体）
- ・駅の有人化等（実施主体：福井鉄道、サポート団体）

Ⅲ 旅客鉄道事業の事業構造の変更の内容

1 重要な資産の譲渡

沿線3市（福井市・鯖江市・越前市）が、福武線の鉄道用地を取得・保有し、これを福井鉄道に無償で使用させることにより、地域が支える事業構造に変更する。（前Ⅱ. 1の通り。）

IV その他鉄道事業再構築事業実施のために必要な事項（重大な関係事項）

1 他の鉄道との接続の検討

(1) えちぜん鉄道への乗り入れの検討

田原町駅を經由し、えちぜん鉄道三国芦原線への直通運転の検討を行う。

(2) J R 福井駅への延伸の検討

J R 福井駅西口駅前広場拡張に合わせ、J R 福井駅まで線路延伸の検討を行う。

2 I C カード導入の検討

乗り継ぎ等、更なる利便性の向上を図るため、I C カード導入の検討を行う。

V その他鉄道事業再構築事業実施のために必要な事項（関連する事業）

1 他の公共交通機関等との結節強化

(1) バスとの連携

・バスの接続改善（実施主体：バス事業者、沿線3市）

(2) 自転車の利用促進

・駐輪場整備（実施主体：福井鉄道、沿線3市）

・レンタサイクルの拡充（実施主体：福井鉄道、沿線3市）

2 まちづくり・観光との連携

(1) 沿線観光・文化施設等

・観光・文化等施設情報の提供（実施主体：福井鉄道、沿線3市）

3 住民・行政との協働

(1) 公共交通機関への利用転換推進

・モビリティ・マネジメント（実施主体：福井鉄道、福井県、沿線3市、サポート団体）

4-5 計画期間

平成20年度～平成29年度

目標を達成するために行う施策、実施主体及びスケジュール

→ 事業実施・継続

---> 事業内容検討（実施年度未定）

I 旅客鉄道事業の経営の改善に関する事項

1 安全対策の強化

方策	項目	実施主体	施策実施スケジュール									備考		
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	
設備更新の充実	橋梁関係 (日野川橋梁)	上部工・下部工の改良	福井鉄道、福井県	→										
		レール、マクラギ交換	福井鉄道、福井県	→										
		架線柱の交換	福井鉄道、福井県	→										
	土木関係	道床交換	福井鉄道、福井県						→					
		重軌条化	福井鉄道、福井県											→
		分岐器重軌条化	福井鉄道、福井県											→
	電気関係	継電連動装置の改良	福井鉄道、福井県						→					
		通信ケーブルの改良	福井鉄道、福井県						→					
維持修繕の充実	線路・電路等維持修繕の実施	福井鉄道、沿線3市											→	

2 営業の強化と利便性向上（ソフト面）

方策	項目	実施主体	施策実施スケジュール									備考		
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		H29	
運賃全般の見直し	企画乗車券の充実	福井鉄道												→
	高齢者割引制度の導入	福井鉄道												→
	運賃体系の見直し	福井鉄道												→
地域との連携	沿線サポート団体等との連携強化	福井鉄道、サポート団体												→
	地域イベントとの連携強化	福井鉄道、沿線3市												→
	カー・セーブデーの推進	福井鉄道、福井県												→
	法人利用の促進	福井鉄道												→
利便性向上	終電の繰り下げ	福井鉄道												→
	急行運行の見直し	福井鉄道												→
サービス向上	社員のマナー、接客サービスの再度徹底	福井鉄道												→
	駅舎改築	福井鉄道、福井県												→
	無人駅情報案内装置整備	福井鉄道、福井県		→										
	車両基地の改良	福井鉄道、福井県							→					
	車両の更新	福井鉄道、福井県						→						→

3 利便性向上（ハード面）

方策	項目	実施主体	施策実施スケジュール										備考	
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
駅の新設	西武生駅～家久駅間	福井鉄道、福井県		→										
	三十八社駅～浅水駅間	福井鉄道、福井県			→									
	ハーモニーホール駅～江端駅間	福井鉄道、福井県			→									
	家久駅～上鯖江駅間	福井鉄道、福井県										→		
P&R駐車場の 新設・増設	行政支援	ハーモニーホール駅48台	→											
		家久駅暫定20台	→											
		新駅(西武生～家久駅間)20台		→										
	地域連携	西武生駅70台		→										
		商業施設50台	福井鉄道、サポート団体	→										
	その他福 鉄自社整 備	西武生駅、神明駅20台	福井鉄道	→										
		花堂駅、江端駅30台	福井鉄道		→									
上鯖江駅、三十八社駅10台		福井鉄道		→										

II 市町村その他の者による支援の内容

1 沿線3市による鉄道用地の取得、保有

方策	実施主体	施策実施スケジュール										備考	
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
沿線3市による土地保有	沿線3市	→											
沿線3市による土地無償貸付	沿線3市												→

2 県および沿線3市による設備更新、維持修繕費用に対する支援

方策	実施主体	施策実施スケジュール										備考	
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
設備更新費への支援	福井県												→
維持修繕費への支援	沿線3市												→

3 利用促進策への支援

方策	項目	実施主体	施策実施スケジュール										備考
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
新駅設置、P&R駐車場新設増設にかかる支援	新駅設置にかかる経費の補助	福井県		→	→								→
	道路事業等によるP&R駐車場の整備	福井県	→	→									
	県有施設の駐車場を活用したP&R駐車場	福井県	→										
遠足等の利用促進支援	野外学習等事業に対し運賃一部助成	沿線3市											→
意識醸成	カー・セーブデーの推進	福井県											→
地域のマイレール運動等	駅の美化運動	福井鉄道、沿線3市、サポート団体											→
	乗る運動	福井鉄道、沿線3市、サポート団体											→
	駅の有人化等	福井鉄道、サポート団体											→

III 旅客鉄道事業の事業構造の変更の内容

1 重要な資産の譲渡

方策	項目	実施主体	施策実施スケジュール										備考
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
重要な資産の譲渡	沿線市による土地保有	沿線3市	→										
	沿線市による土地無償貸付	沿線3市											→

Ⅳ その他鉄道事業再構築事業実施のために必要な事項（重大な関係事項）

1 他の鉄道との接続の検討

方策	実施主体	施策実施スケジュール										備考	
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
えちぜん鉄道への乗り入れの検討		---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	▶	
J R 福井駅への延伸の検討		---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	▶	

2 ICカード導入の検討

方策	実施主体	施策実施スケジュール										備考	
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
ICカード導入の検討		---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	▶	

Ⅴ その他鉄道事業再構築事業実施のために必要な事項（関連する事業）

1 他の公共交通機関等との結節強化

方策	項目	実施主体	施策実施スケジュール										備考	
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
バスとの連携	バスの接続改善	バス事業者、沿線3市											▶	
自転車の利用促進	駐輪場整備	福井鉄道、沿線3市											▶	
	レンタサイクルの拡充	福井鉄道、沿線3市											▶	

2 まちづくり・観光との連携

方策	項目	実施主体	施策実施スケジュール										備考	
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
観光・文化等施設	沿線観光・文化等施設情報の提供	福井鉄道、沿線3市											▶	

3 住民・行政との協働

方策	項目	実施主体	施策実施スケジュール										備考	
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
利用転換推進	モビリティ・マネジメント	福井鉄道、福井県、沿線3市、サポート団体											▶	

参 考 资 料

I 沿線地域住民アンケート結果

1. 配布回収結果

	配布世帯数	回収個人票	母集団（推定） ^注	回収率
福井市	1, 884世帯	3, 486票	4, 333人	80.5%
鯖江市	1, 900世帯	4, 332票	4, 940人	87.7%
越前市	1, 770世帯	3, 443票	4, 442人	77.5%
合計	5, 554世帯	11, 239票	13, 715人	81.9%

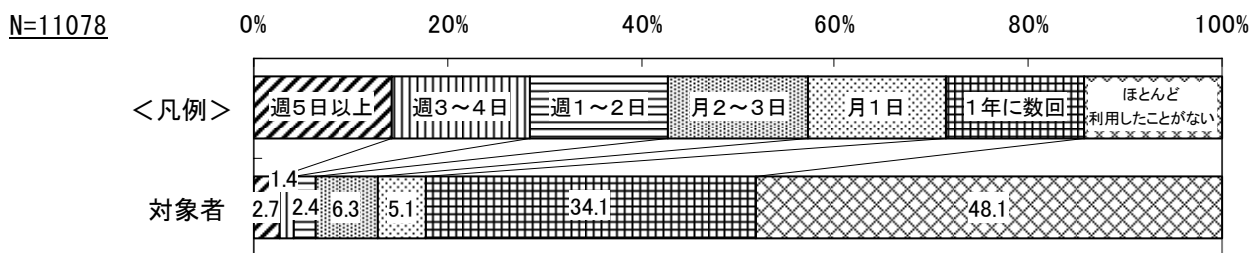
（注）市の18歳人口、世帯数から1世帯当たり18歳人口を算出し母集団を推定した。

2. 集計結果

問1. 普段の福武線の利用状況について

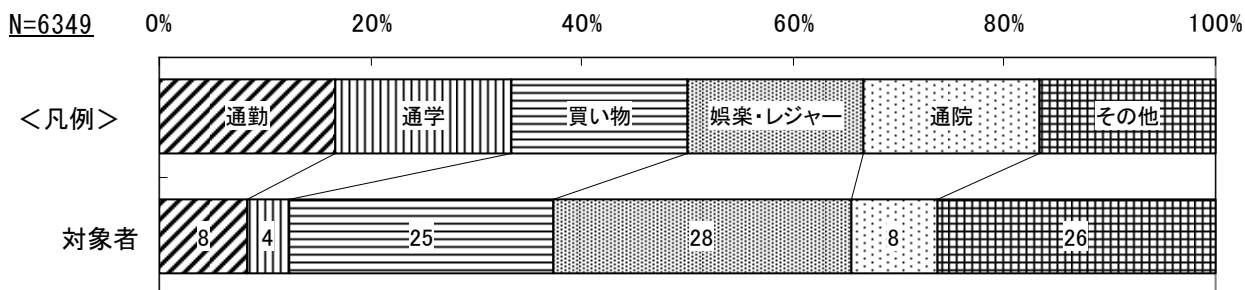
（1）福武線をどのくらい利用されますか。（○は1つ）

○ 沿線住民の概ね半数が福武線を利用している（「週5日以上」から「1年に数回」までを合わせると52%）。その内訳をみると、「1年に数回」の利用が34%と最も多く、月に1日以上（福武線を定期的に利用している）は合わせて18%である。

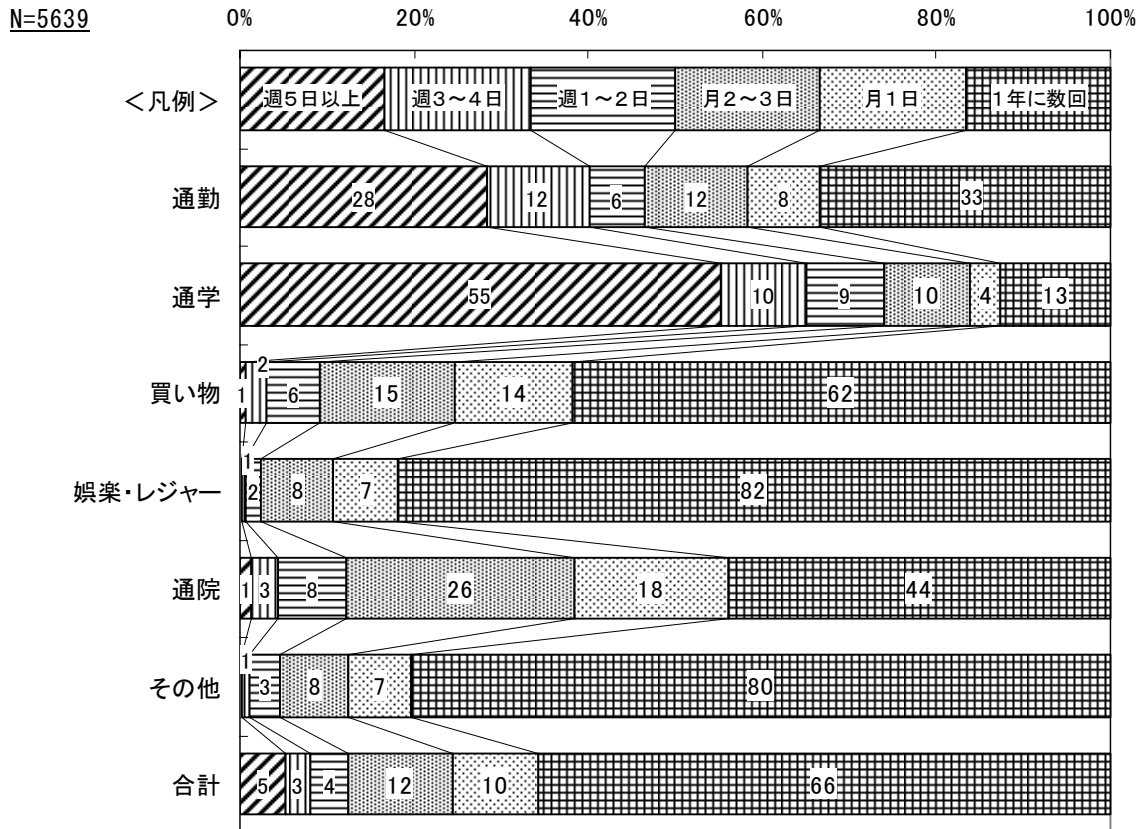


（2）主にどのような目的で福武線を利用しますか。（○は1つ）

○ 1年に数回の利用者が多くを占めるため、「娯楽・レジャー」が28%と最も多い。「通勤」は8%、「通学」は4%、「買い物」は25%である。

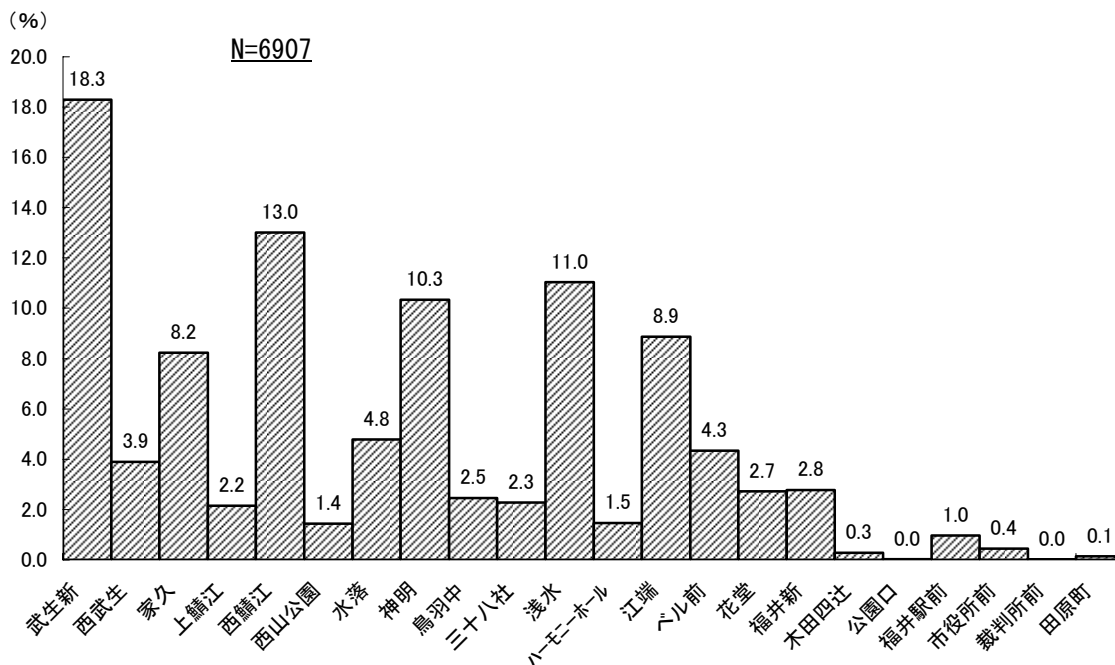


- 目的別に利用頻度をみると、通勤は「週5日以上」が28%を占める一方で、「1年に数回」の利用者も33%と多くみられる。
- 通学は「週5日以上」の利用者が55%と最も多い。
- 買い物や娯楽・レジャーは「1年に数回」の利用者がそれぞれ62%、82%と最も多い。通院は「1年に数回」の利用者が44%と最も多いが、「月に2～3回」の利用者も26%と比較的多い。



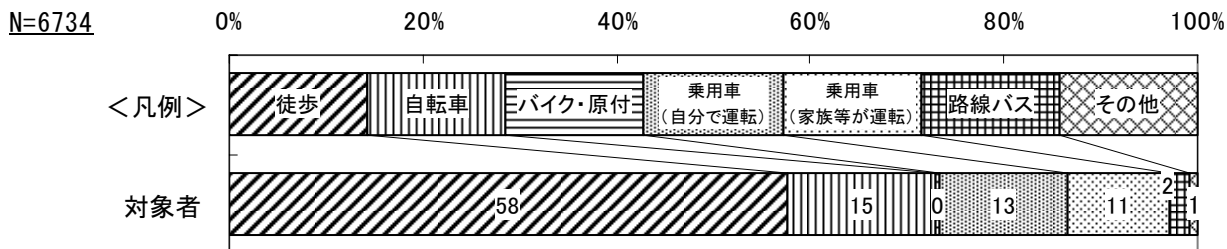
(3) ご自宅からご利用になる駅はどこですか。(〇は1つ)

○ 自宅の最寄り駅は、「武生新」が18%と最も多く、次いで「西鯖江」の13%、「浅水」の11%、「神明」の10%と続く。



(4) 駅までの交通手段は何ですか。(〇は1つ)

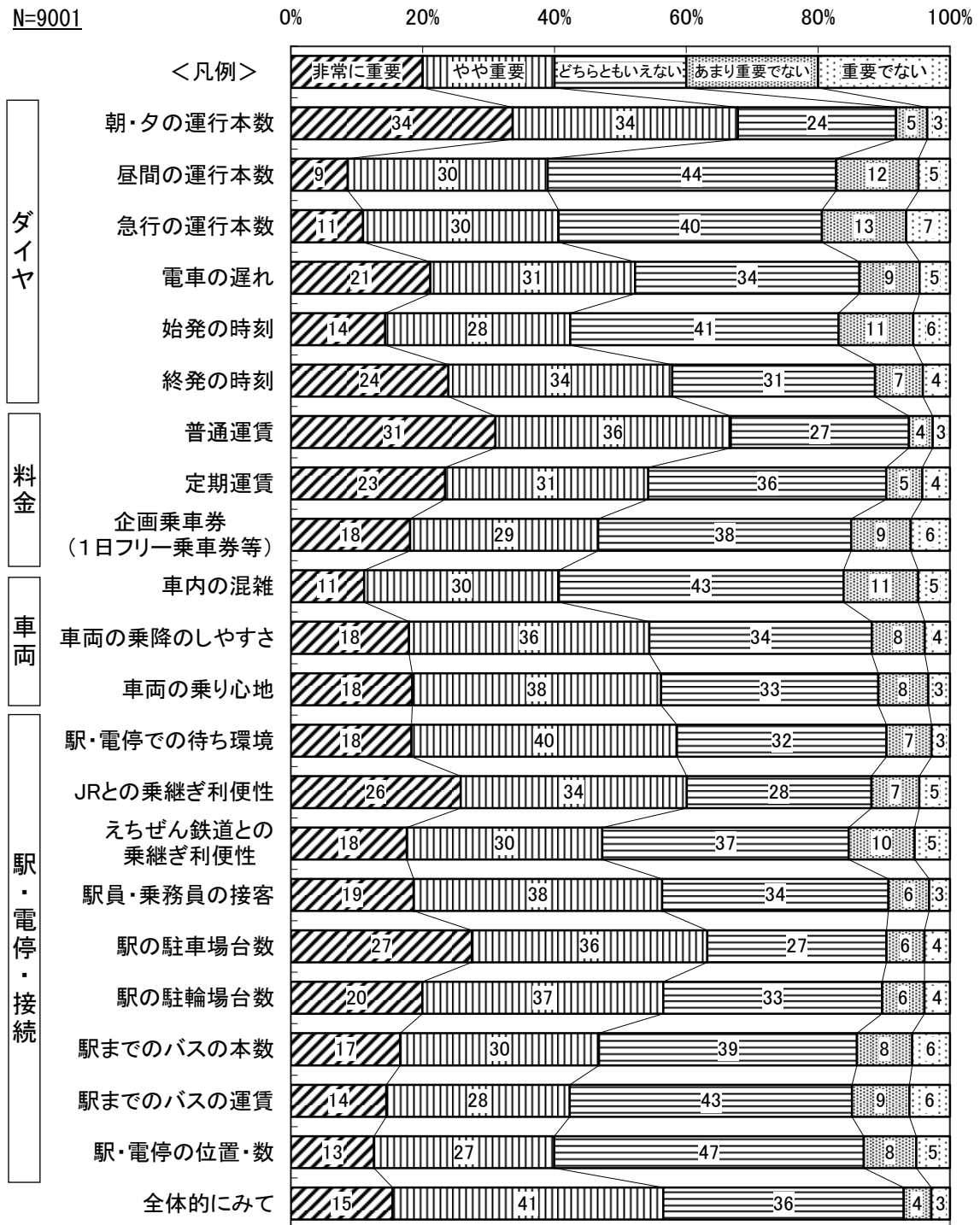
○ 駅までの交通手段は、「徒歩」が58%と最も多く、次いで「自転車」の15%と続く。
 ○ 「乗用車 (自分で運転)」「乗用車 (家族等が運転)」を合わせると24%を占め「自転車」の利用割合を上回り、パーク&ライドやキス&ライドの利用も多い。
 ○ 「路線バス」の利用は2%と少ない。(回答者数で135人)



問2. 福武線のサービス改善について

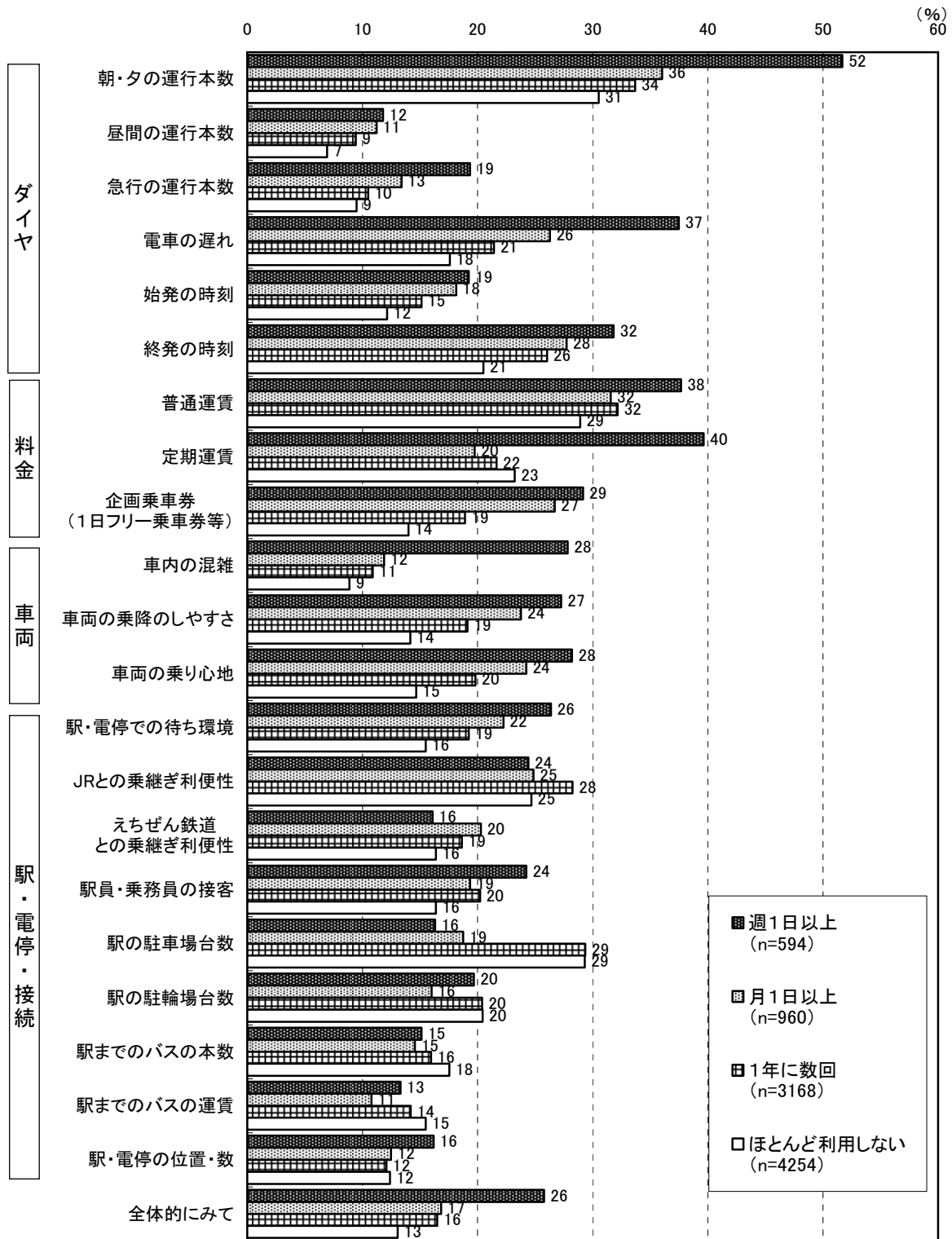
(1) 福武線がより利用しやすくなるには、どのようなサービスを改善することが重要と思いますか。

○ 改善することが「非常に重要」の割合をみると、「朝・夕の運行本数」が34%と最も大きく、次いで「普通運賃」が31%、「駅の駐車場台数」が27%、「JRとの乗継ぎ利便性」が26%、「終発の時刻」が24%と続く。



- 利用頻度別に「非常に重要」の割合をみると、利用頻度が高いほど「運行本数」「電車の遅れ」「運賃」「車内の混雑」「車両の乗降しやすさ」「乗り心地」「駅・電停での待ち環境」等は、改善することが「非常に重要」と回答する割合が高くなっている。
- 一方、「駅の駐車場台数」は利用頻度が低いほど「非常に重要」と回答する割合が高くなっており、利用頻度によって改善要望に違いがみられる。

(改善することが「非常に重要」の割合)

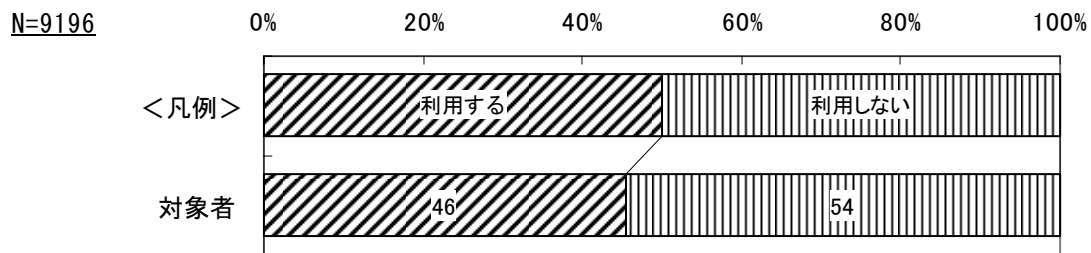


問3. 福武線をより利用しやすくするための各施策について、下記の設問にお答えください。

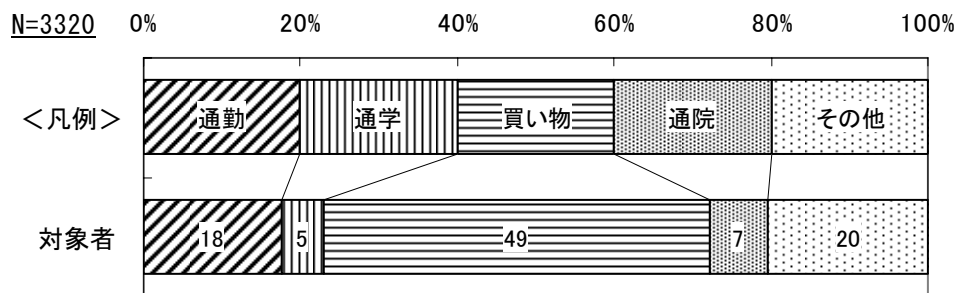
(1) 駐車場の整備について

車でのアクセスが不便な駅（停車スペースがなく送迎ができない、駐車場がないなど）を整備し、車での送り迎えができるようなスペースを設けたり、新たな駐車場を整備すること検討しています。このような施策を実施した場合、福武線の利用が増えたり、これまで利用していた交通手段をやめて福武線を利用するようになりますか？

- 駐車場を整備すれば利用すると回答した人は46%である。
- 利用目的は「買い物」が49%と多い。「通勤」は18%である。
- 整備してほしい駅としては、「神明」「西鯖江」「武生新」「江端」「浅水」等が多い。



(利用する目的)



(整備してほしい駅) N=2473

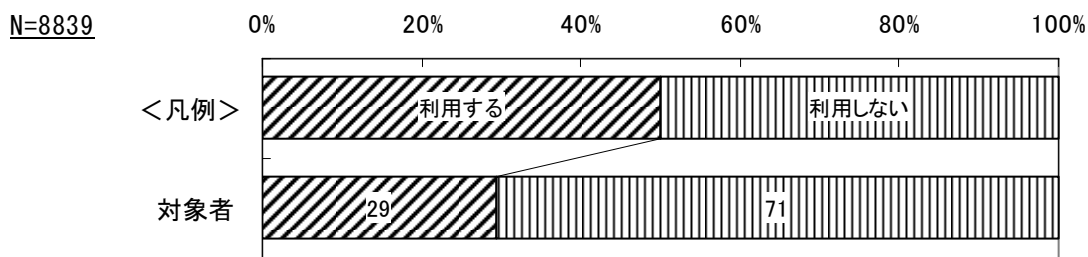
整備してほしい駅	件数
神明	540
西鯖江	435
武生新	366
家久	223
江端	218
浅水	156
西武生	121
花堂	75
ベル前	70
三十八社	68
鳥羽中	58
上鯖江	43
水落	34
福井新	23
西山公園	16
市役所前	9
福井駅前	8
田原町	6
木田四辻	3
公園口	1
合計	2,473

(2) 駅へのバス路線の増便や新設について

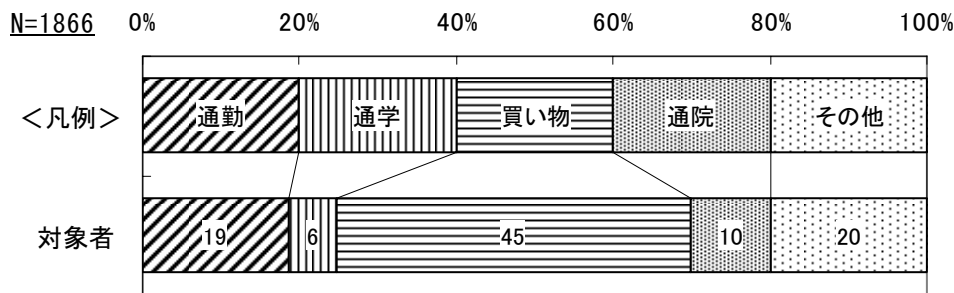
現在、駅までのバス路線があっても本数が少ない、またはバス路線がない駅に、バス路線を増便したり新たにバス路線を導入することを検討しています。

このような施策を実施した場合、福武線の利用が増えたり、これまで利用していた交通手段をやめて福武線を利用するようになりますか？

- バスの利便性が高まれば利用すると回答した人は29%である。
- 利用目的は「買い物」が45%と多い。「通勤」は19%である。
- 整備してほしい駅としては、「神明」「西鯖江」「武生新」等が多い。



(利用する目的)



(整備してほしい駅) N=853

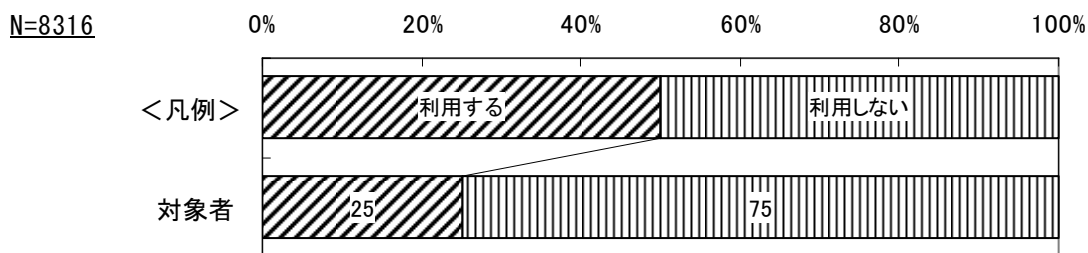
整備してほしい駅	件数
神明	211
西鯖江	173
武生新	164
浅水	91
家久	52
江端	34
水落	24
ベル前	21
三十八社	17
上鯖江	13
花堂	10
西武生	10
鳥羽中	9
福井新	7
田原町	6
西山公園	4
福井駅前	4
市役所前	2
木田四辻	1
合計	853

(3) 駅・電停の移設や新設について

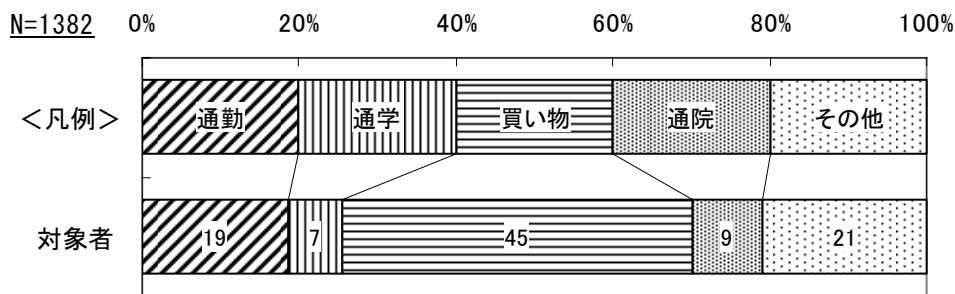
周辺環境により駅・電停の整備が困難な場所については、アクセスがしやすい場所に駅・電停を移設したり、あるいは駅・電停を新設することを検討しています。

このような施策を実施した場合、福武線の利用が増えたり、これまで利用していた交通手段をやめて福武線を利用するようになりますか？

- 駅・電停を整備すれば利用すると回答した人は25%である。
- 利用目的は「買い物」が45%と多い。「通勤」は19%である。
- 整備してほしい駅区間としては、「ハーモニーホール～江端」「西武生～家久」「家久～上鯖江」「三十八社～浅水」等の要望が多い。



(利用する目的)



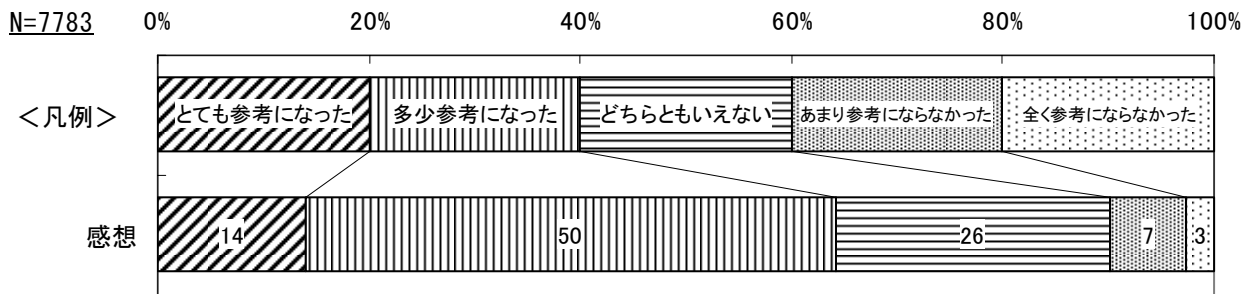
(整備してほしい駅区間) N=310

整備してほしい駅区間	件数
ハーモニーホール～江端	86
西武生～家久	47
家久～上鯖江	39
三十八社～浅水	30
神明～鳥羽中	25
武生新～西武生	13
上鯖江～西鯖江	13
鳥羽中～三十八社	12
水落～神明	10
公園口～市役所前	7
江端～ベル前	6
西鯖江～西山公園	5
市役所前～福井駅前	5
裁判所前～田原町	3
木田四ツ辻～公園口	3
福井新～木田四ツ辻	2
ベル前～花堂	1
花堂～福井新	1
市役所前～裁判所前	1
西山公園～水落	1
合計	310

問4. ここでは普段クルマを利用されている方（同乗を含みます）にお聞きします。同封の「かしこいクルマの使い方」をお開きください。

(1) 同封の「かしこいクルマの使い方」をご覧になって、あなたにとって参考になった情報はありますか。

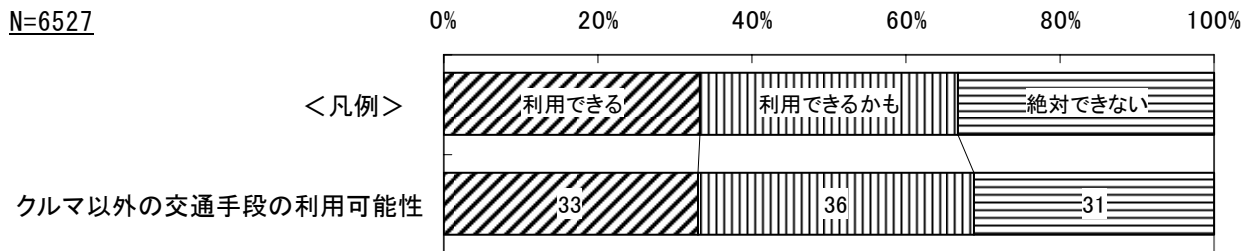
- 「参考になった」と回答した人は合わせると64%であり、冊子の趣旨について概ね理解されたと考えられる。
- 「参考にならなかった」と回答した人は合わせて10%である。



(2) 通勤でクルマを利用している方にお聞きします。

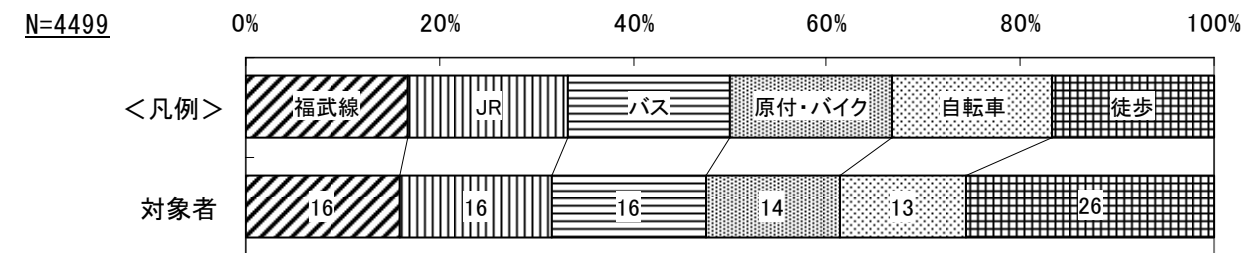
①「通勤」で、クルマ以外の交通手段は利用できそうですか？

- 他の交通手段を「利用できる」「利用できるかも」と回答した人は合わせて69%であり、「絶対できない」の31%を上回る。



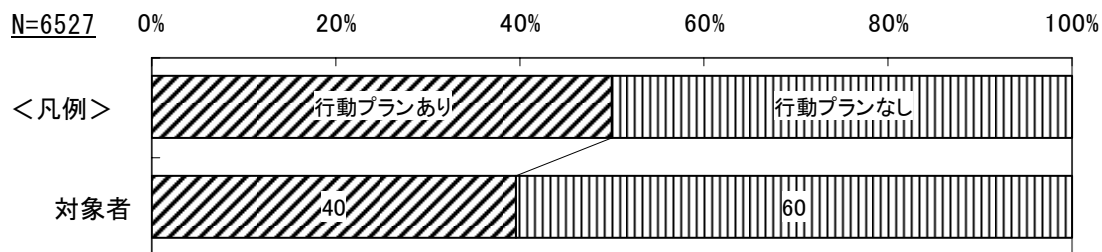
② それはどんな手段ですか？（複数回答）

- 「徒歩」が26%と最も多く、その他の手段は13~16%で差はみられない。
- 「福武線」の構成比は16%である。



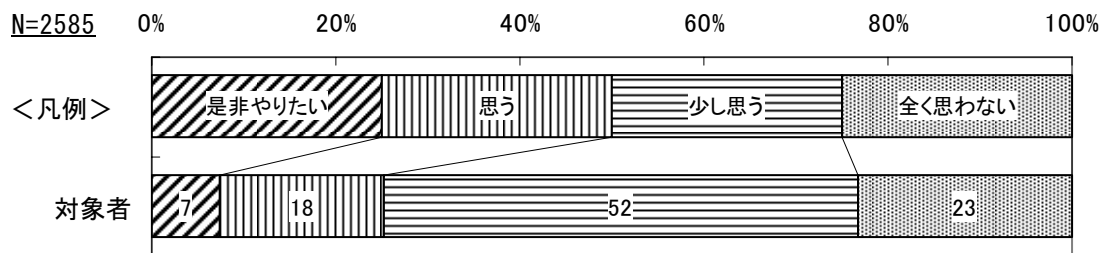
③ 行動プランの記入率

○ クルマ以外による通勤を自ら計画する「行動プラン」の作成を要請した結果、対象者の40%が行動プランを記入した。



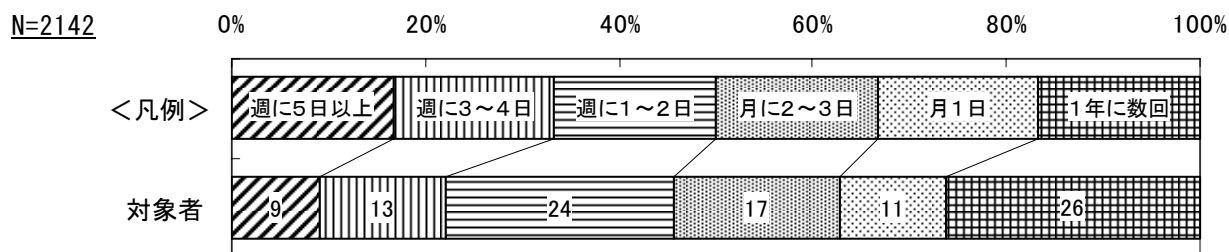
④ 上のような行動を、実際にやってみようと思いますか？

○ 「是非やりやい」「思う」「少し思う」を合わせると77%であり、「全く思わない」の23%を上回る。



⑤ それはどれくらいできそうですか？

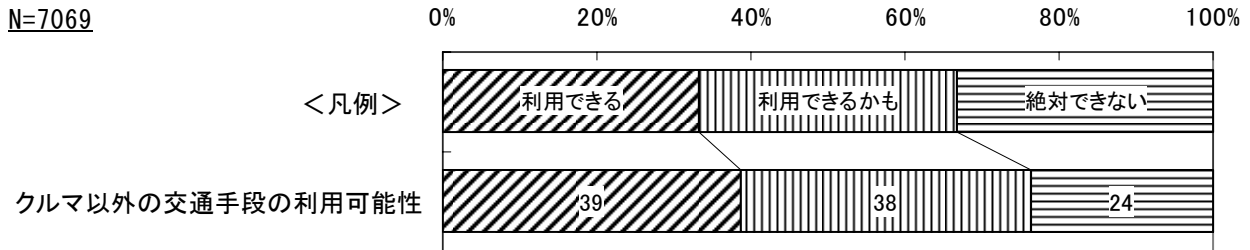
○ 「1年に数回」が26%と最も多く、次いで「週に1~2日」が24%と続く。



(3) 中心市街地に出かける際にクルマを利用している方にお聞きします。

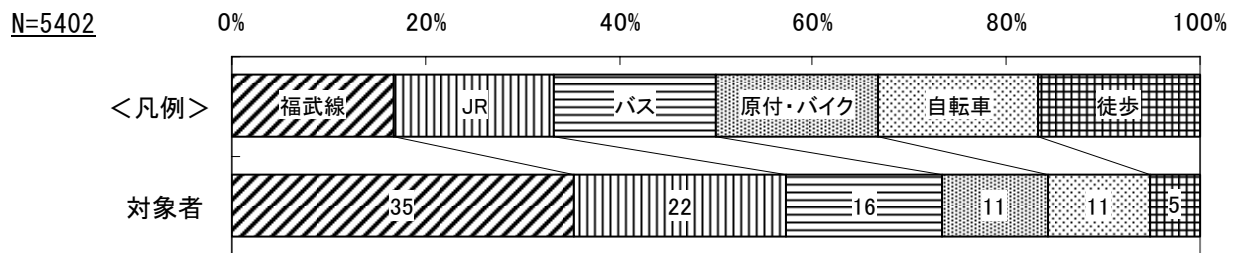
① 「中心市街地に出かける際」に、クルマ以外の交通手段は利用できそうですか？

- 他の交通手段を「利用できる」「利用できるかも」と回答した人は合わせて83%であり、「絶対できない」の26%を上回る。
- 通勤に比べクルマ以外の交通手段の利用可能性が高い。



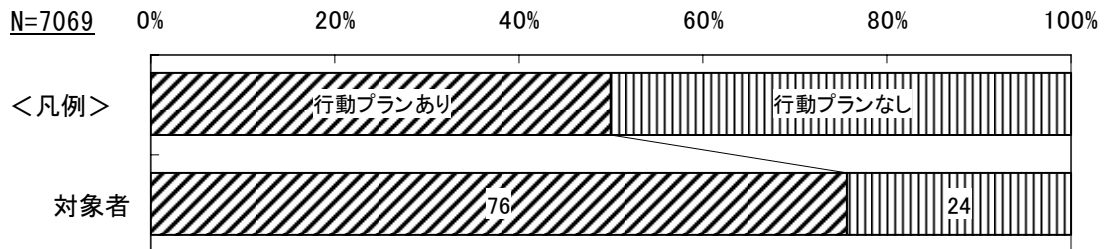
② それはどんな手段ですか？

- 「福武線」が35%と最も多く、次いで「JR」の22%、「バス」の16%と続く。



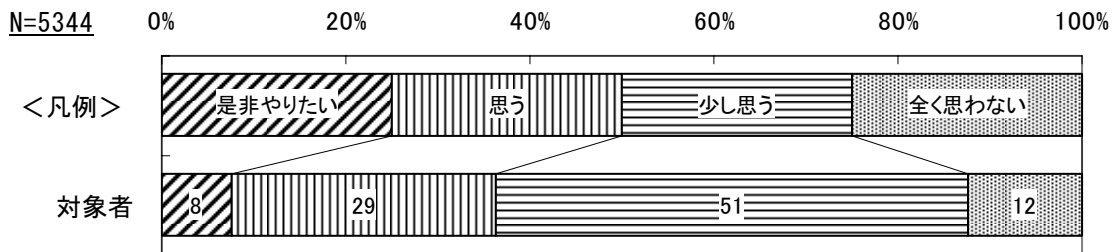
③ 行動プランの記入率

- クルマ以外の交通手段を利用して中心市街地に出かける行動を自ら計画する「行動プラン」の作成を要請した結果、対象者の76%が行動プランを記入した。



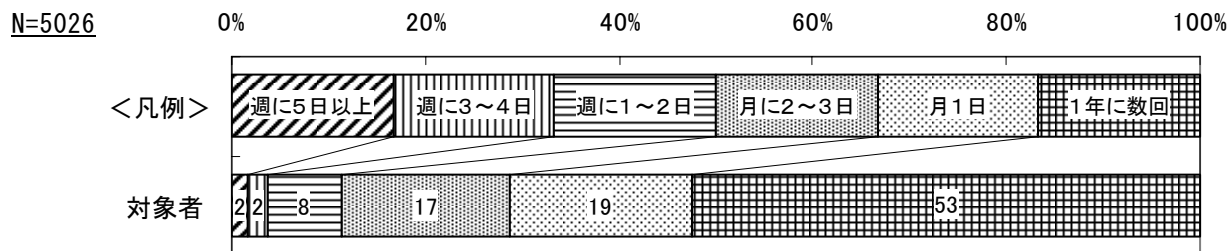
④ 上のような行動を、実際にやってみようと思いますか？

○ 「是非やりやい」「思う」「少し思う」を合わせると88%であり、「全く思わない」の12%を大きく上回る。



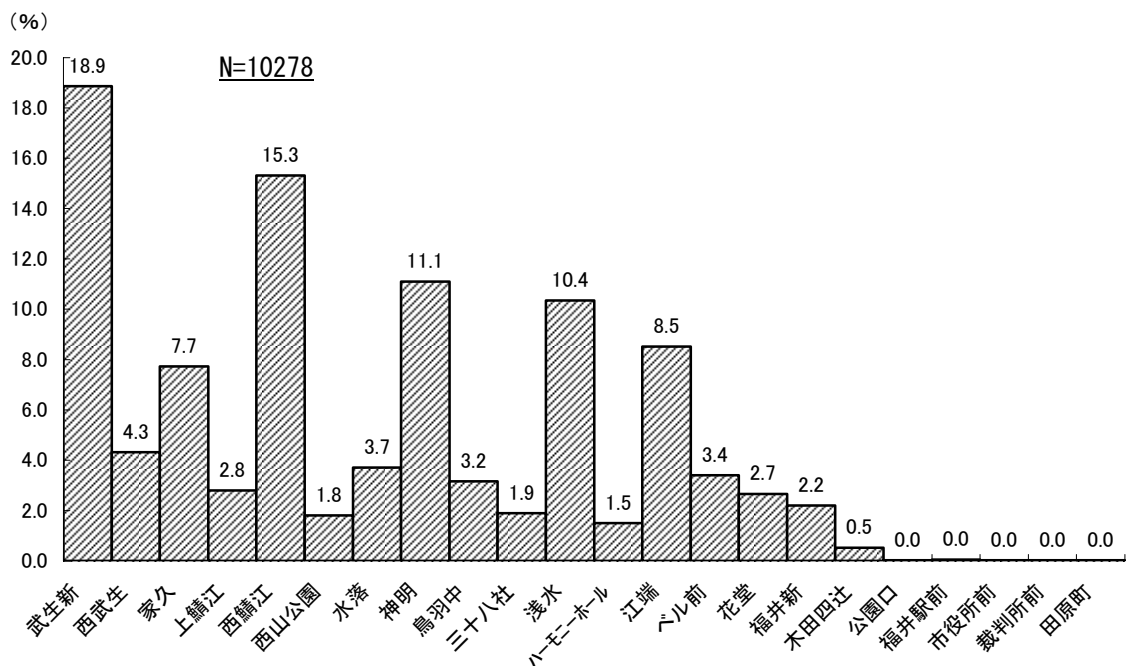
⑤ それはどれくらいできそうですか？

○ 「1年に数回」が53%と半数を占める。
○ 通勤に比べると、利用頻度は比較的低い。

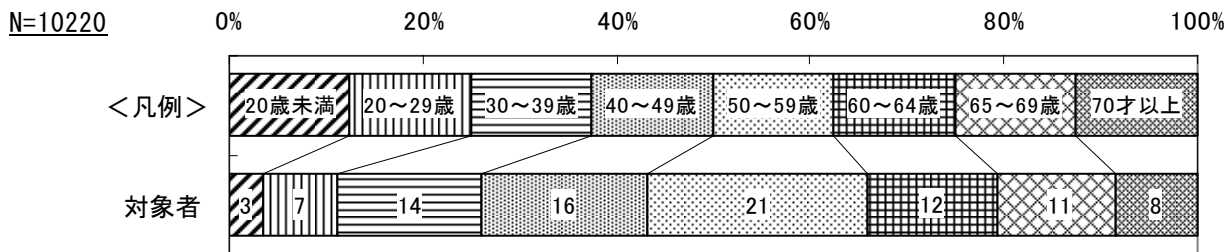
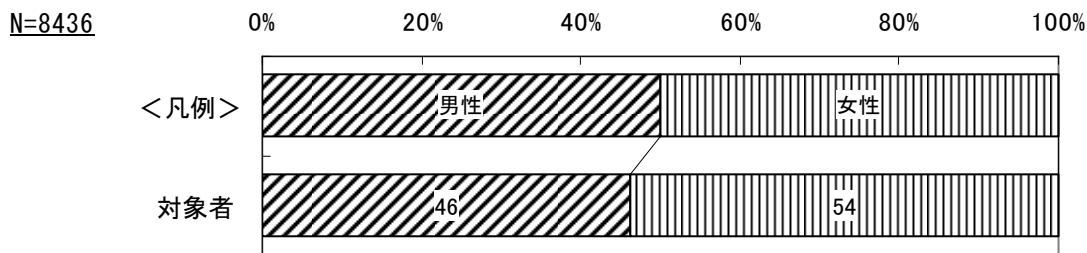


問5. ご住所、性別、年齢などについてお尋ねします。

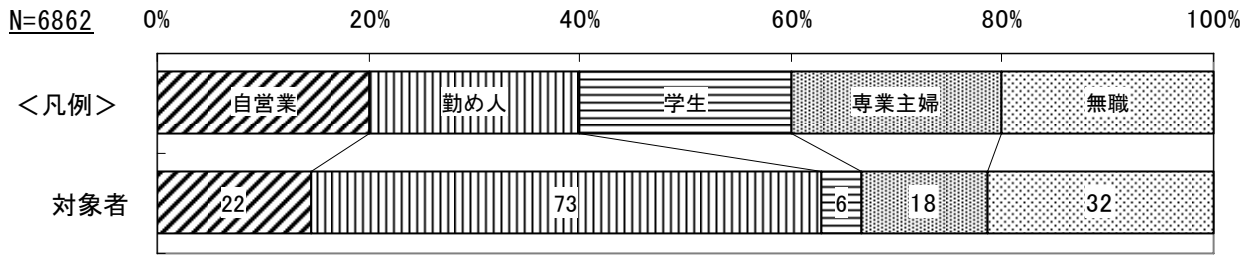
(2) ご自宅の最寄り駅を教えてください。



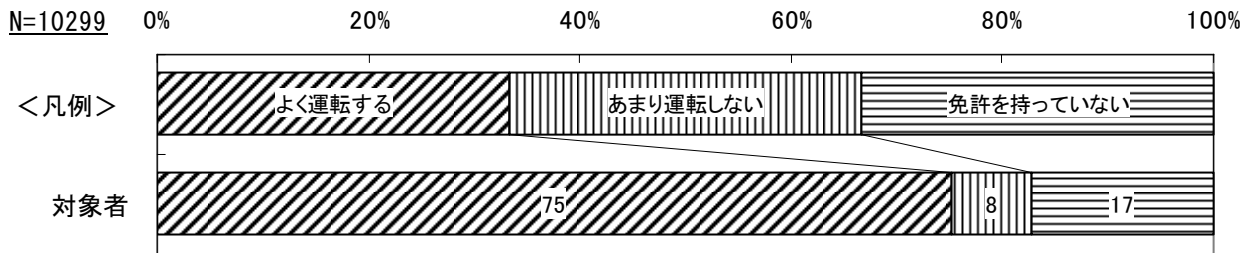
(3) 性別と年齢を教えてください。



(4) 職業を教えてください。(〇は1つ)



(5) 運転免許について教えてください。(〇は1つ)



Ⅱ 沿線地域事業所（従業員）アンケート結果

1. 配布回収結果

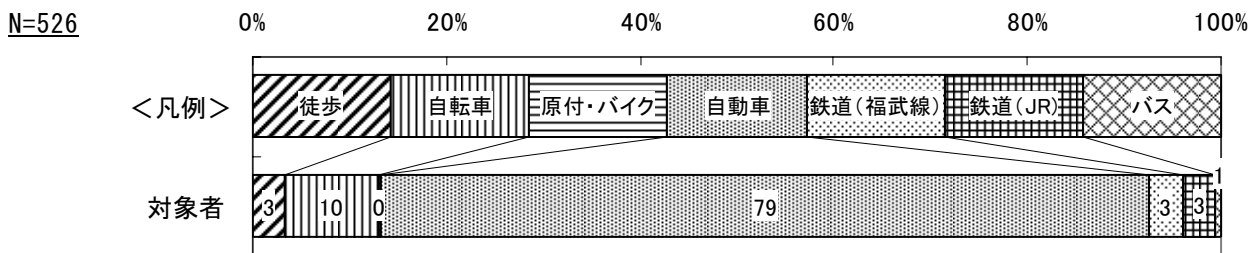
	配布事業所	配布個人票	回収個人票	回収率
福井市	8事業所	200人	168票	84.0%
鯖江市	19事業所	200人	173票	86.5%
越前市	8事業所	210人	191票	91.0%
合計	35事業所	610人	532人	87.2%

2. 集計結果

問1. 通勤手段の利用状況について

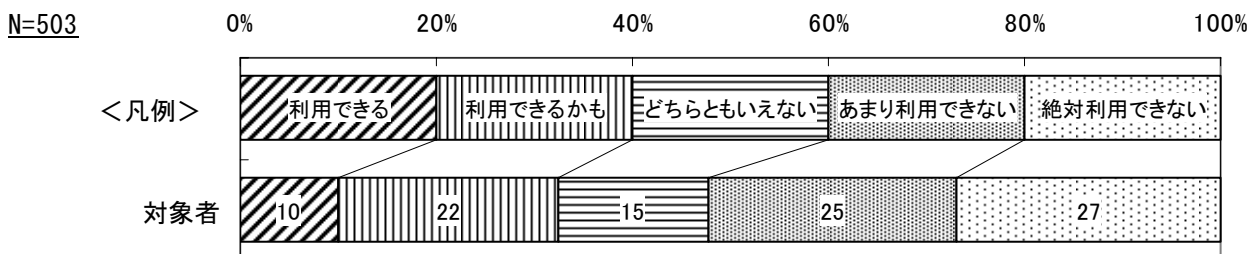
(1) 通勤に利用されている交通手段をお答え下さい。

- 「自動車」が79%を占め最も多い。
- 次いで「自転車」の10%が続き、「福武線」は3%である。



(2) 今後、福武線の利便性が高まれば、通勤に福武線を利用することは可能ですか。

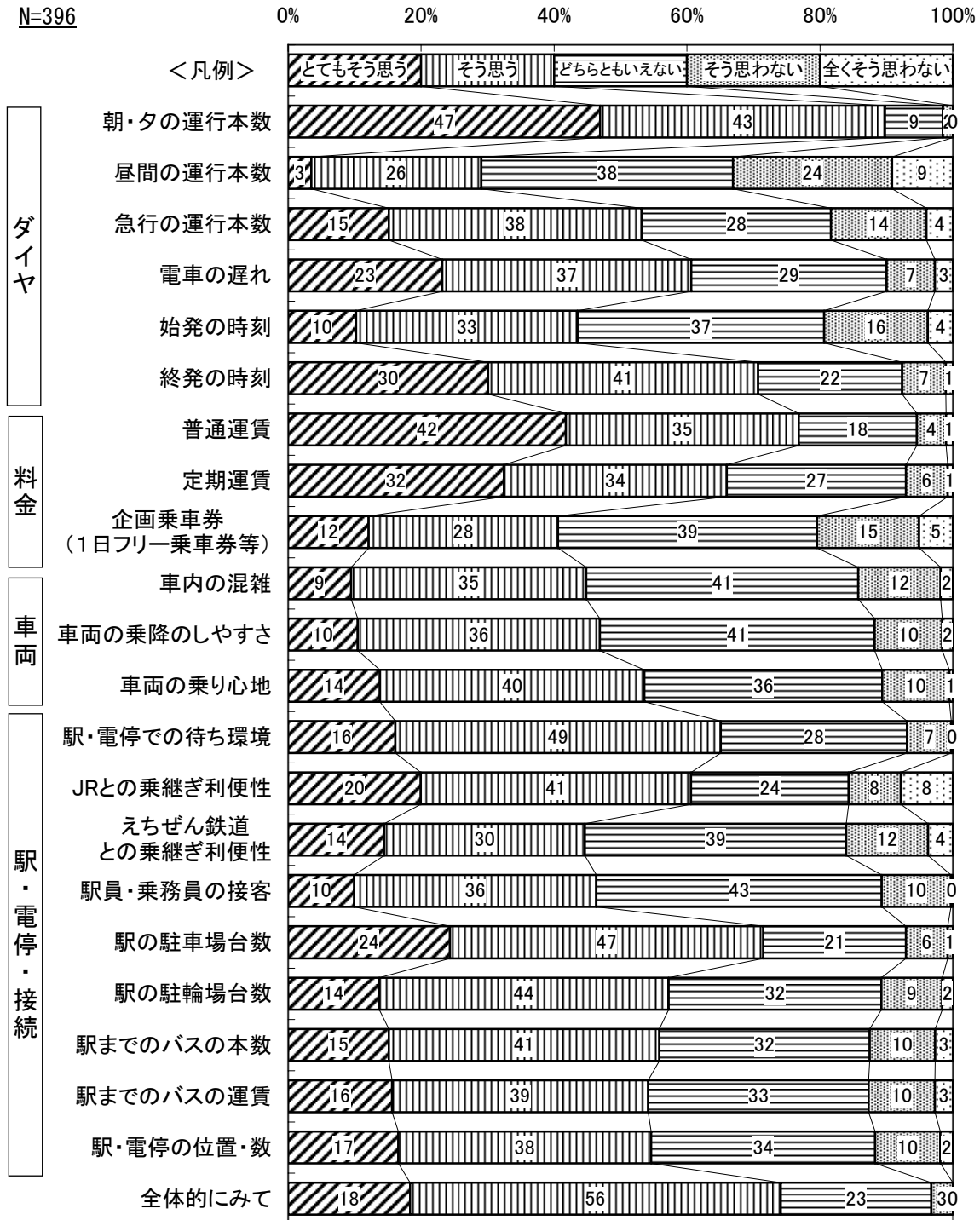
- 「あまり利用できない」が最も多く25%である。
- 「利用できる」「利用できるかも」を合わせると32%であり、潜在的な利用ニーズがみられる。



問2. 福武線のサービス改善について

(1) 福武線がより利用しやすくなるには、どのようなサービスを改善することが重要と思いますか。

○ 改善することが「非常に重要」の割合をみると、「朝・夕の運行本数」が47%と最も大きく、次いで「普通運賃」が42%、「定期運賃」が32%、「終発の時刻」が30%、「駅の駐車場台数」が24%と続く。

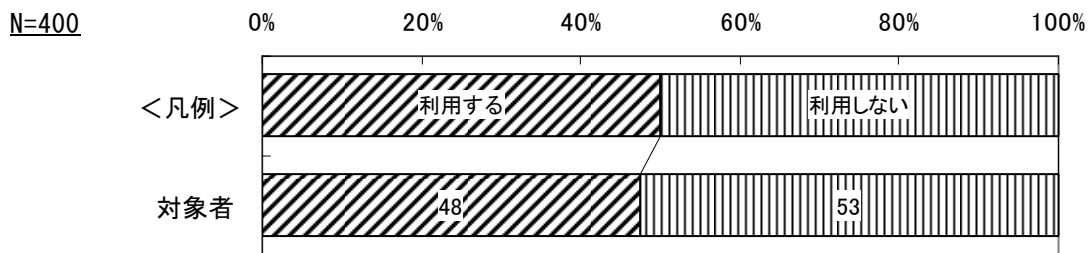


問3. 福武線をより利用しやすくするための各施策について、下記の設問にお答えください。

(1) 駐車場の整備について

車でのアクセスが不便な駅（停車スペースがなく送迎ができない、駐車場がないなど）を整備し、車での送り迎えができるようなスペースを設けたり、新たな駐車場を整備すること検討しています。このような施策を実施した場合、福武線の利用が増えたり、これまで利用していた交通手段をやめて福武線を利用するようになりますか？

- 駐車場を整備すれば利用すると回答した人は48%である。
- 整備してほしい駅としては、「神明」「西鯖江」等が多い。



(整備してほしい駅) N=132

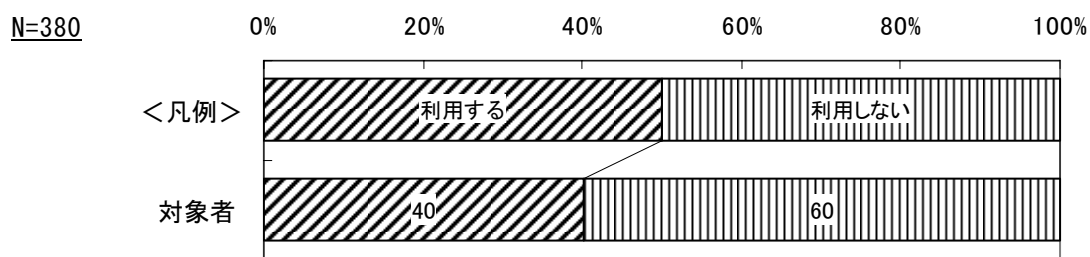
駅名	計
神明	22
西鯖江	22
武生新	13
家久	11
福井新	8
田原町	7
ベル前	7
西武生	6
上鯖江	6
浅水	5
花堂	5
西鯖江	4
三十八社	3
江端	3
福井駅前	3
水落	2
ハーモニーホール	2
江端	2
鳥羽中	1

(2) 駅・電停の移設や新設について

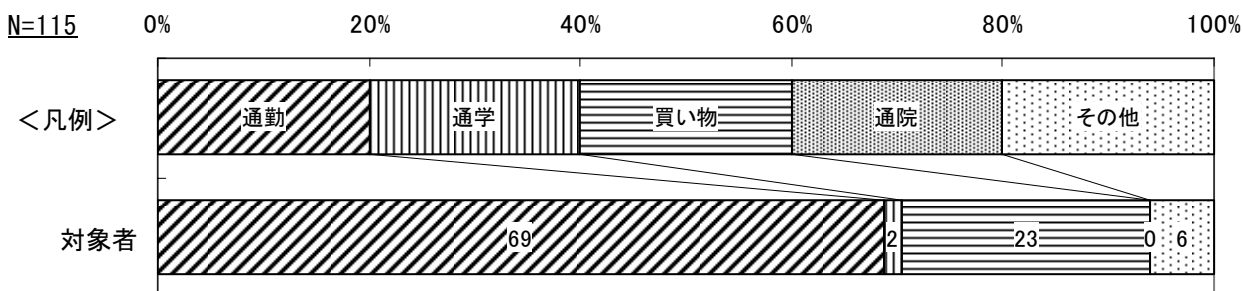
周辺環境により駅・電停の整備が困難な場所については、アクセスがしやすい場所に駅・電停を移設したり、あるいは駅・電停を新設することを検討しています。

このような施策を実施した場合、福武線の利用が増えたり、これまで利用していた交通手段をやめて福武線を利用するようになりますか？

- 駅・電停を整備すれば利用すると回答した人は40%である。
- 利用目的は「通勤」が69%と多い。
- 整備してほしい駅区間は「ハーモニーホール～江端間」が比較的多い。



(利用する目的)

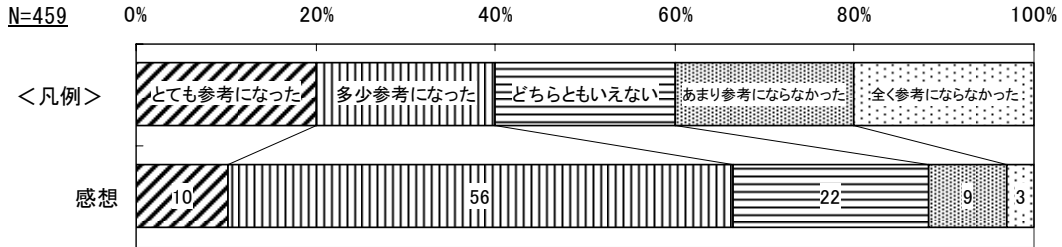


(整備してほしい駅区間) N=38

駅名	件数
ハーモニーホール～江端	12
三十八社～浅水	7
裁判所前～田原町	1
三十八社～ハーモニーホール	1
市役所前～裁判所前	1
神明～ベル前	1
神明～鳥羽中	1
鳥羽中～福井駅前	1
西鯖江～市役所前	1
西鯖江～三十八社	1
西鯖江～江端	1
西鯖江～水落	1
木田四辻～公園口	1

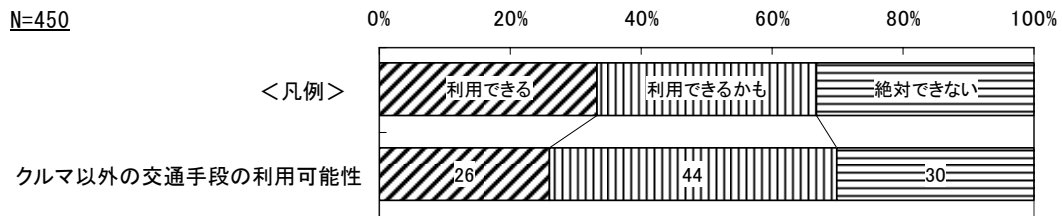
問4. ここでは普段クルマを利用されている方（同乗を含みます）にお聞きします。同封の「かしこいクルマの使い方」をお開きください。

(1) 同封の「かしこいクルマの使い方」をご覧になって、あなたにとって参考になった情報はありますか。

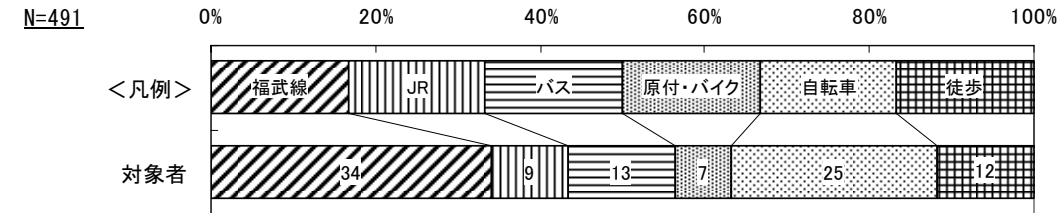


(2) 通勤でクルマを利用している方にお聞きします。

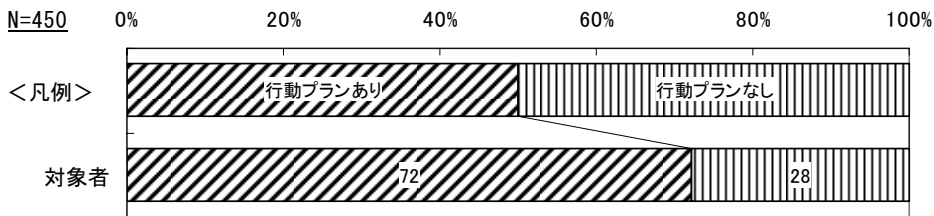
① 「通勤」で、クルマ以外の交通手段は利用できそうですか？



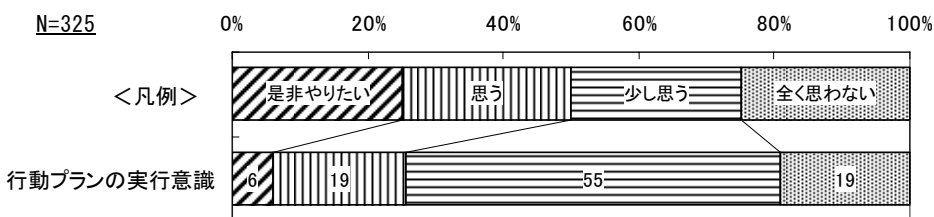
② それはどんな手段ですか？



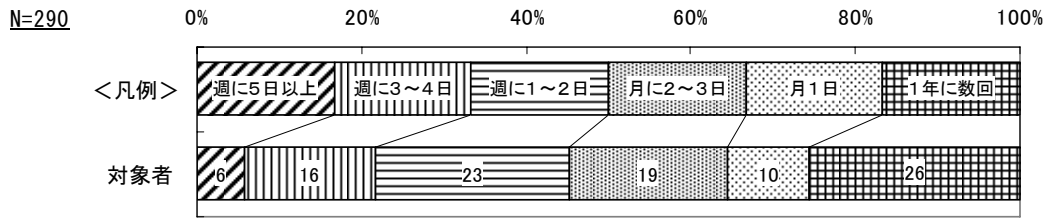
③ 行動プランの記入率



④ 上のような行動を、実際にやってみようと思いますか？

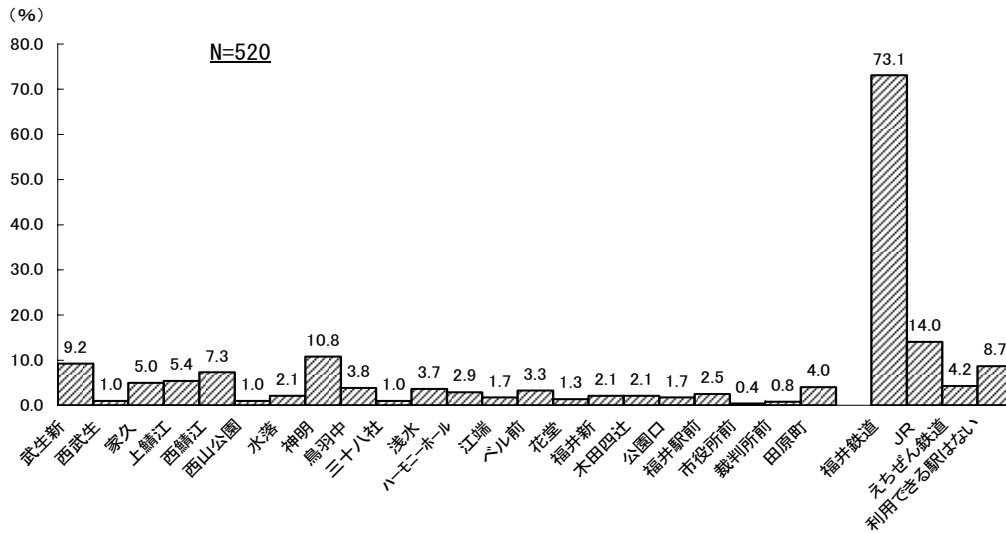


⑤ それはどれくらいできそうですか？

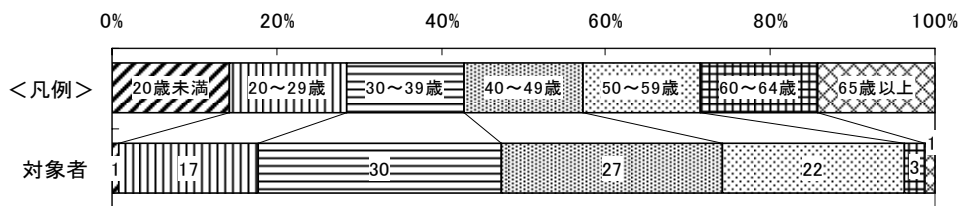
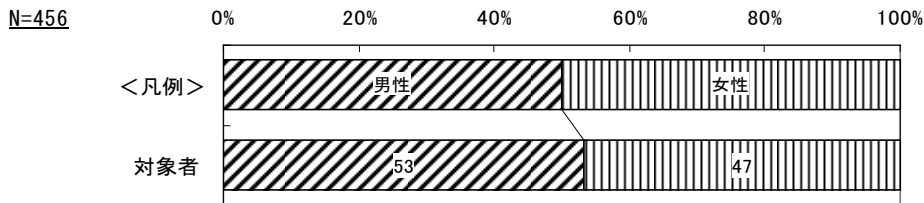


問5. ご住所、性別、年齢、職業などについてお尋ねします。

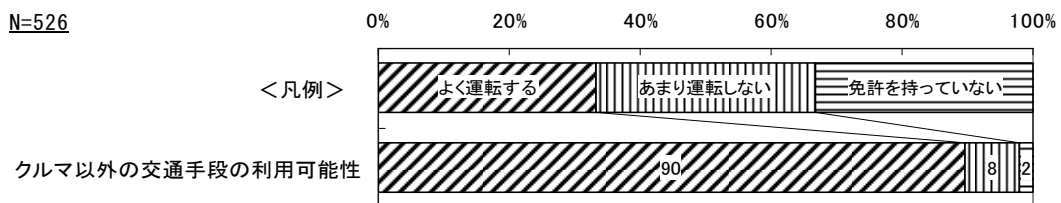
(2) 最寄駅



(3) 性別と年齢を教えてください。



(4) 運転免許について教えてください。(○は1つ)



Ⅲ 沿線地域事業所（企業担当者）アンケート結果（沿線市計）

1. 配布事業所一覧

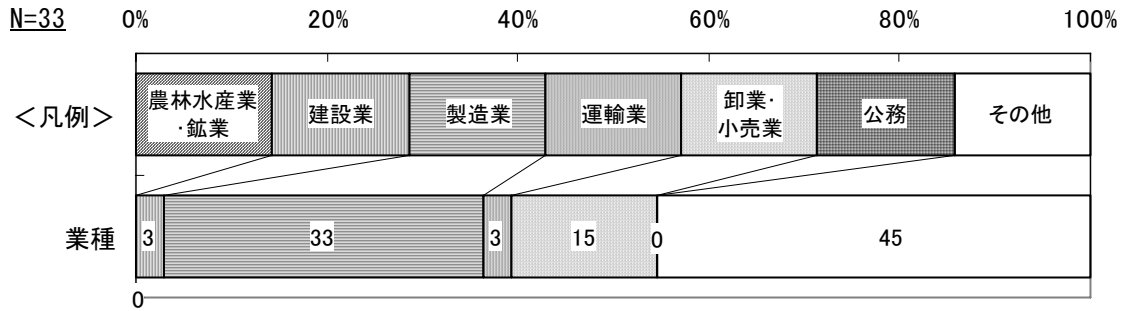
	配布事業所	事業所一覧
福井市	8事業所	(株)ホクコン スバル食品(株) (株)ベル フクビ化学工業(株) (株)サンワコン (株)武田機械 福井ヤクルト販売(株) 福井銀行
鯖江市	19事業所	東洋染化(株) 福井めがね工業(株) (株)チカイ商事 (株)福井銀行 神明支店 (株)ヨシケイ福井 公益センター(株) (有)ニシザワ紙文具 (株)三工光学 (資)相馬タクシー (株)堀電機 (株)福井銀行 鯖江支店 福井信用金庫 神明支店 (株)福邦銀行 鯖江支店 (株)タケベ無線 (資)藤田印刷所 野村税理士事務所 (有)勉強堂 福井信用金庫 鯖江本町支店 福井丹南農業協同組合
越前市	8事業所	ヒット工業(株) 信越化学工業(株) 武生工場 日信化学工業(株) (株)シャトル ギャレックス(株) 武生信用金庫 (株)福邦銀行 武生支店 (株)福井銀行 武生支店
合計	35事業所	

2. 集計結果

問1. 事業所の概要について

(1) 業種

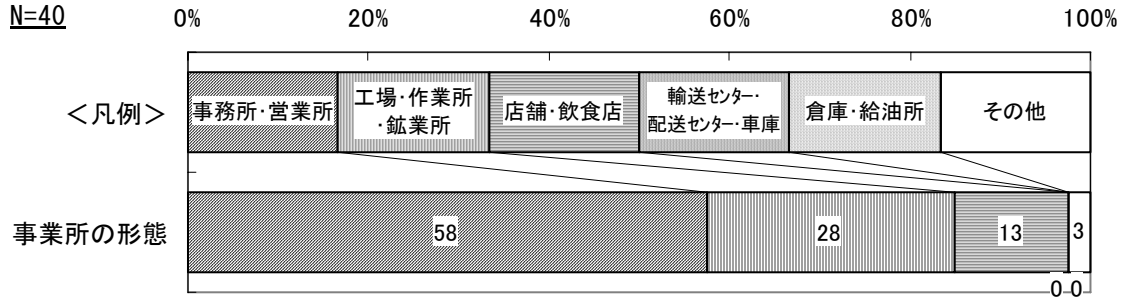
○「製造業」が33%を占め最も多い。「その他」は多くが金融業（銀行等）である。



(2) 事業所の形態

○「事務所・営業所」が58%を占め最も多い。

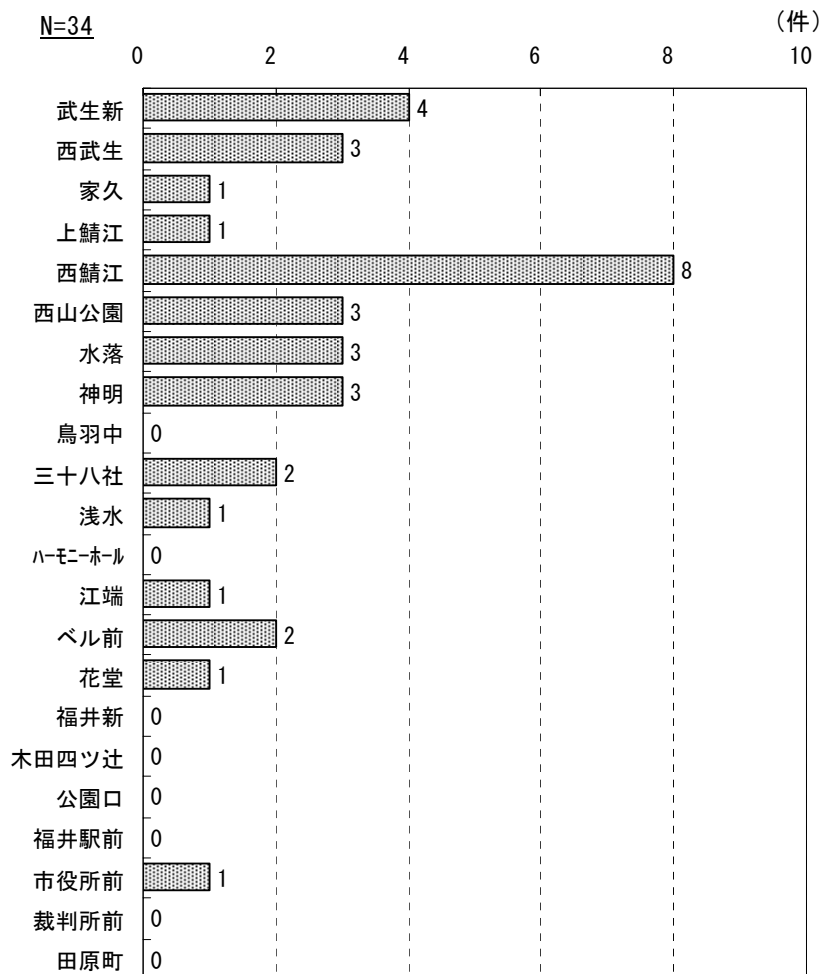
○次いで、「工場・作業所・鉱業所」が28%と続く。



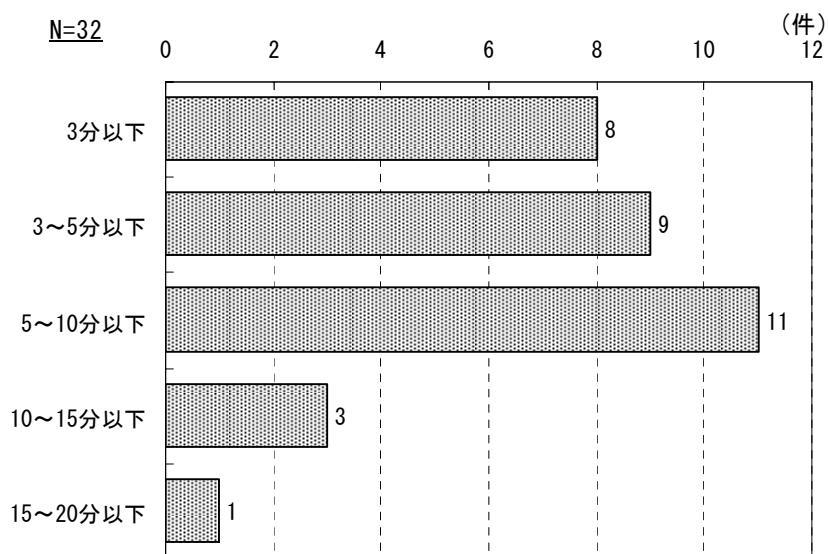
(注)「事務所・営業所」と「工場・作業所・鉱業所」を併設した事業所が7件あった。

(3) 最寄駅・所要時間

- 最寄駅は「西鯖江」が8件、「武生新」が4件と多い。
- 最寄駅までの徒歩時間は10分以下の事業所が多くを占めている。

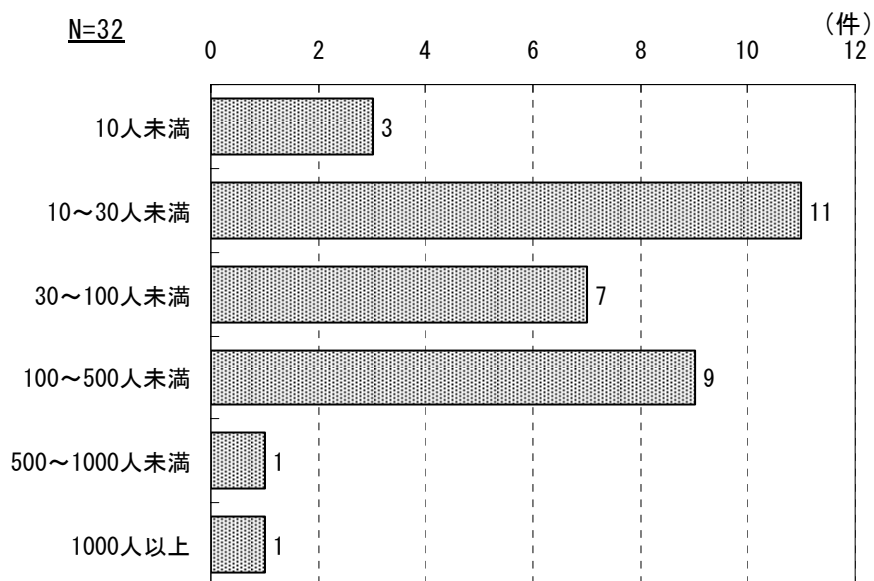


(最寄駅までの徒歩時間)



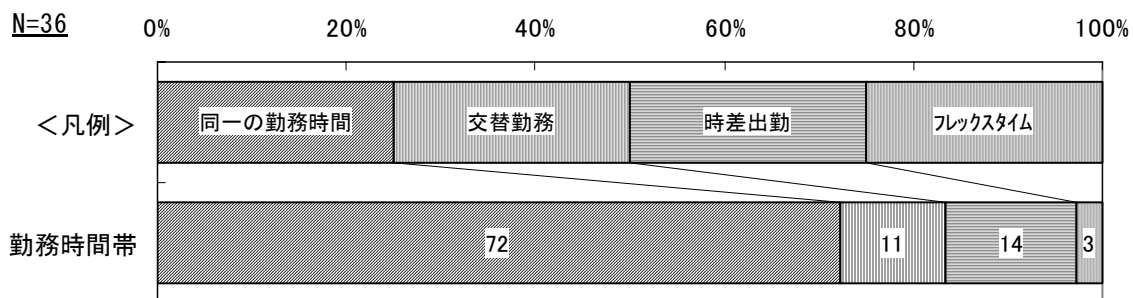
(4) 従業員数

- 従業員数は「10～30人未満」や「100～500人未満」が比較的多い。
- 従業員数が500人以上の大規模な事業所も2件みられる。



(5) 勤務時間帯

- 勤務時間帯は「同一の勤務時間」が72%と最も多い。
- 「交替勤務」は11%、「時差出勤」は14%である。

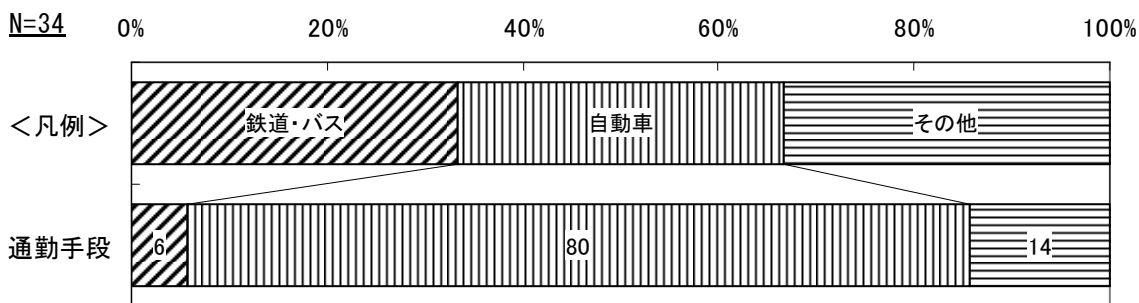


問2 事業所の通勤状況や自動車通勤に対する方針

(1) 従業員の通勤状況

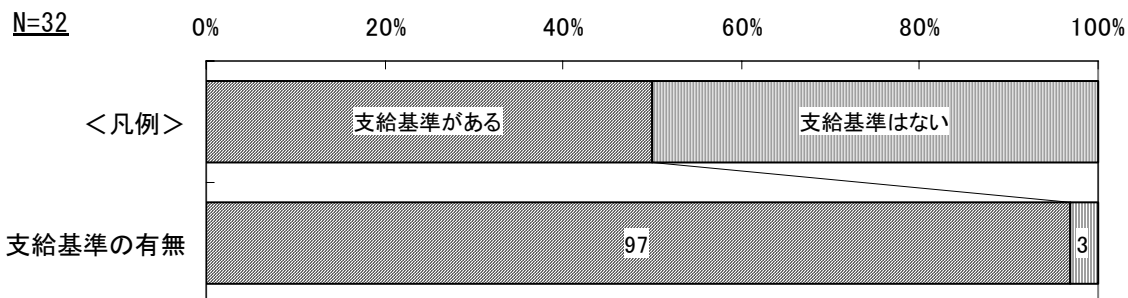
1) 通勤手段

○ 対象事業所における通勤手段別構成は、「自動車」が80%と最も多く、「その他（徒歩や自転車等）」が14%、「鉄道・バス」は6%である。



2) 通勤手当の支給基準の有無

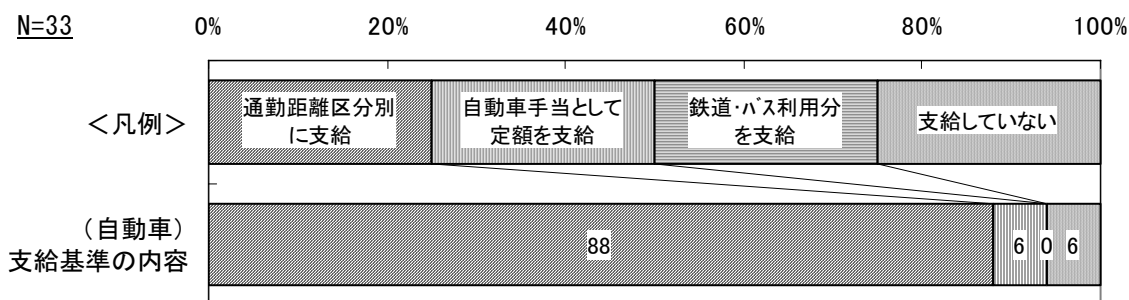
○ 通勤手当の「支給基準がある」事業所が97%を占める。



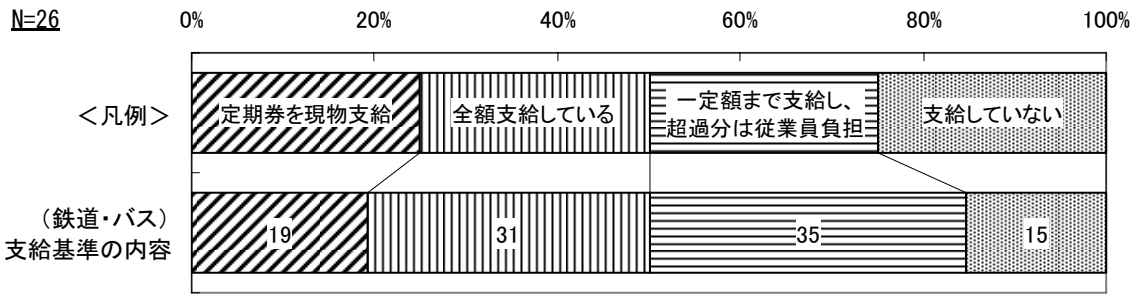
3) 通勤手当の支給基準の内容

○ 自動車は「通勤距離区別に支給」している事業所が88%を占める。
 ○ 鉄道・バスは「一定額まで支給し超過分は従業員負担」が35%、「全額支給している」が31%と多い。「定期券を現物支給」している事業所も19%みられる。

(自動車)



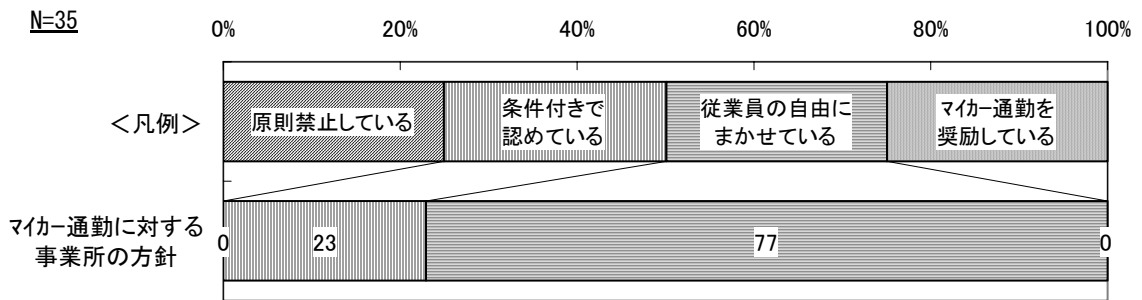
(鉄道・バス)



(2) 自動車通勤に対する方針等

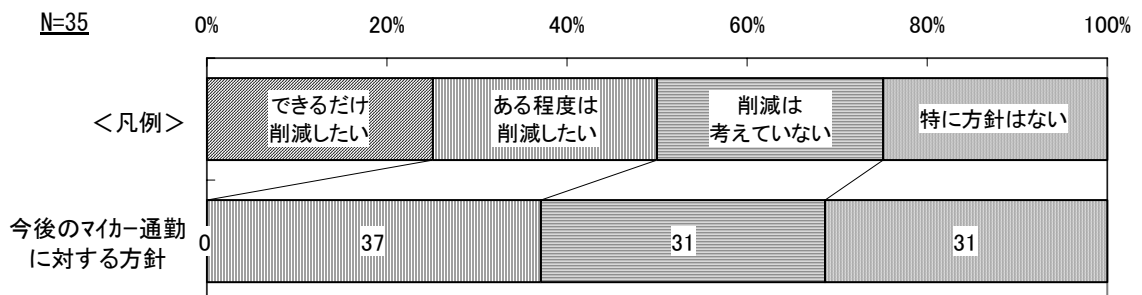
1) マイカー通勤に対する事業所の方針

- 「従業員の自由にまかせている」が77%と最も多い。
- 「条件付きで認めている」は23%である。



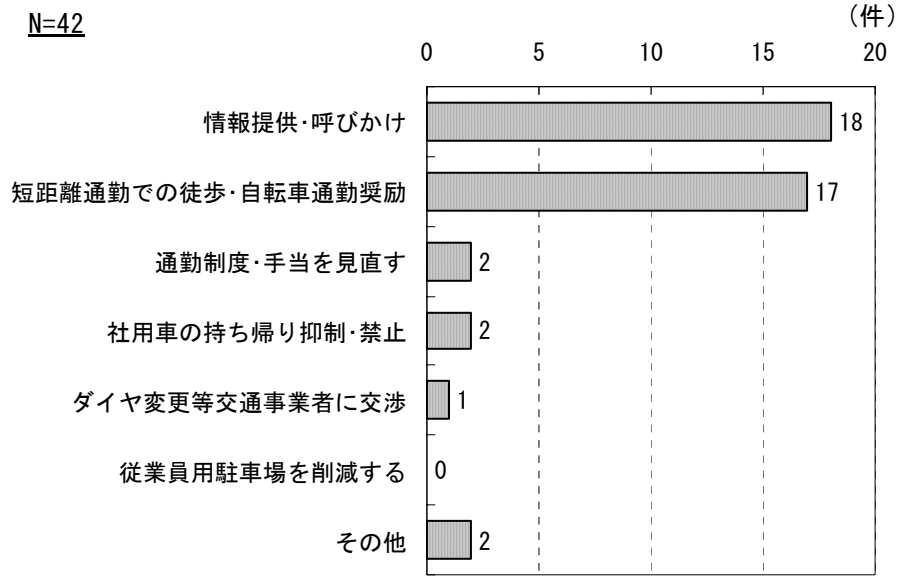
2) 今後のマイカー通勤に対する方針

- 「ある程度は削減したい」が37%と最も多い。
- 「削減は考えていない」「特に方針はない」もそれぞれ31%みられる。



3) マイカー通勤を削減するために、事業所ではどんな取り組みが実施できそうか

○「情報提供・呼びかけ（従業員に鉄道やバスの情報を提供したりエコ通勤を呼びかけたりする）」が18件、「短距離通勤での徒歩・自転車通勤奨励」が17件と多い。



(注) 複数回答

4) 福武線の利用を増やすための意見・提案

- ・ 福武線と並行するバス路線を見直し、駅を拠点とした交通体系にする。
- ・ 駅に駐輪場を確保し、自宅から駅間の自転車通勤通学がしやすい環境を整備する。
- ・ 福井駅前に寄るのは田原町発9時台からにしてほしい。
- ・ 市内の主要交差点（電車が通るところ）を全て毛矢・東下のような信号方式に。
- ・ 23時台に最終電車があると良さそう。
- ・ 福井市街 隣同士の駅利用を一律100円に。
- ・ 浅水駅から会社までのアクセスがあれば利用者も増える。
- ・ 日中（9時～15時）の増便
- ・ 駅間普通運賃の値下げ
- ・ 駅周辺の駐車場を完備してほしい。（利用者は無料）
- ・ 運賃の見直し
- ・ 県の施設が福井市に多いことから、学校教育の一環に組み入れてはどうか。
- ・ 武生新 → 田原町 → 美術館
- ・ 武生新 → ハーモニーホール
- ・ 武生新 → ○○ → 運動公園 等々
- ・ パーク&ライドの推進（駐車場の整備）
- ・ ダイヤの見直し（本数の増加、最終時間等）
- ・ 沿線に住んでいる人に対して安全・安心で経済的な乗り物であることを周知する。
- ・ 水落駅のように無料駐車場を整備する。
- ・ 他の交通機関との連携
- ・ 事業所の証明書により定期券の割引があると良い。
- ・ 中間地点より乗車する場合、運賃が割高。
- ・ 商店街でのイベントや販売促進等への協力。

IV サポート団体からの提案

第3回福井鉄道福武線活性化連携協議会において提案されたサポート団体からの提案事項は以下のとおりである。

(1) 福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会

1. 安全で快適な運行の確保

軌道・鉄道の設備を改修するとともに、新車両を導入して現在課題となっている揺れを解消するなど、安全かつ快適な運行を確保する。

2. 適正な運賃の設定

福井市内～武生新などに比べて割高感がある途中区間の料金を見直し、利用者が納得できる料金とする。また、平日昼間や休日の割引制度を拡充し、利用者の増加を図る。

3. 新駅の設置（既存駅の移設を含む）

① 駅間距離が長い「江端」～「ハーモニーホール」間（1.7km）に新駅「(仮)下荒井」駅を設置する。足羽中学校への通学や下荒井町などの需要が見込まれる。

② 三十八社駅を現位置より北側に移設（もしくは新設）する。アクセス道路の改善により需要が見込まれる。

4. 駅と集落等を結ぶバスの運行

浅水駅と周辺の集落・団地を結ぶバスを運行し、高齢者の足の確保で利用拡大を図る。

5. パーク&ライド環境の充実

① ハーモニーホール駐車場のパーク&ライドが開始されたが、利用しやすい環境の整備や、急行電車との接続改善などにより利用を増やす。

② 三十八社駅の移設（もしくは新設）とアクセス道路の整備に合わせて、パーク&ライド用駐車場を整備する。

③ ベル前駅とショッピングシティベルでのパーク&ライドは、福井市福井鉄道福武線サポート団体連絡協議会と清明地区福井鉄道の存続を支援する会が中心となって推進している。

6. 駅アクセスの改善

ベル前駅に構内踏切を設置し、東側からのアクセス改善を図る。

7. 終発時刻の繰り下げ

上り田原町発22時台の終発時刻を繰り下げて23時台とする。

8. えちぜん鉄道との相互乗り入れ

福井市都市交通戦略で検討されているえちぜん鉄道との相互乗り入れ区間を浅水まで拡大する。

(2) 福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議

1. 運賃料金の改定（値下げ）
2. (無料)駐車場の整備
 - ・鯖江市内の駅周辺には遊休地があるので、利用者ための(無料)駐車場として整備
3. 朝・夕の運行本数の増（通勤・通学の時間帯）
4. 安全・安心（揺れ等）のための快適性向上
5. 終電を遅く
6. 急行本数の増
7. 駅までのバス本数の増
8. サービス向上のための取り組み
 - ・駅員等の接客態度の向上
 - ・自転車に乗せられるように（サイクルトレイン）
 - ・利用者のメリットの充実（65歳以上の高齢者割引制度、フリー切符の制度充実等）
 - ・駅施設の整備（待合室、トイレ等）
9. 各駅舎の美化運動を沿線住民等のマイレール運動として取り組む
10. 親子や子どもが参加する企画イベントの実施
11. 沿線の既存イベントとの連携
 - ・鯖江市では、つつじまつりやもみじまつりと、誠市、ご縁市との事業連携による企画切符等による利用促進
12. 魅力あるまちづくりの推進および商店街活性化
13. カーセーブ運動の取り組み強化および車依存からの意識改革

(3) 越前市・福武線を応援する連絡協議会

1. 車両のゆれ解消

- ・道床交換等の基盤を整備し、車両のゆれを解消する。

2. パーク&ライド駐車場の整備

- ・西武生駅にパーク&ライド駐車場を整備し、利便性の向上並びに利用客の増加を図る。

3. 駅舎の改築及び駐輪場の整備

- ・西武生駅のパーク&ライド駐車場の整備にあわせ、西武生駅の駅舎の改築ならびに駐輪場を整備し、保安面や環境面からも整備し、利便性を向上させる。
- ・家久駅の駅舎を改築する。家久駅については、武生商業高校の女子生徒が多く利用しているが、駅舎が道路よりも低く、また、照明やトイレ等の環境も悪い。保安面からも駅舎を改築し、環境を整備する。あわせて、駐輪場も整備する。

4. 新駅の設置

- ・西武生駅～家久駅間に新駅を設置。芝原、北府、平出、家久町南部の住宅街の需要あり。
- ・家久駅～上鯖江駅間（日野川橋梁西側）に新駅を設置。福井工業高等専門学校、武生商業高校の生徒の需要あり。

5. 武生新⇄福井市内の2点間の所要時間を短くする。

- ・武生新⇄福井市内間の所要時間を短くする。この2点間の移動は、JRと競合している。急行を増やし、例えば昔のように、武生新発は、00分と30分は急行、15分と45分は普通という時刻で運行する。
- ・朝夕の運行本数を増加し、終発を遅くする。

6. 福井鉄道の人材育成

- ・えち鉄のようにアテンダントを乗車させたり、駅の有人化を図ったりして、人材を投入し、安心面の乗客サービスを行う。

7. 市民への情報提供

- ・まずは、新経営陣がどのような福武線をめざすのか、経営方針等を住民に示すべき。
- ・1日フリー乗車券や企画切符、パーク&ライド駐車場等の情報をもっと市民に提供するなど、広報・営業活動に力をいれてほしい。

8. 車両を魅力的に

- ・見た目が大事。車両を魅力的に。できれば車内にトイレを。